| ID番号 | 「B-CASカード」「ID表示」（?ガイド160）で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。 | カードID（B-CASカード番号） |
|---|---|---|
| | | デコーダー ID |


●使いかた・お手入れなどのご相談は …

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-981
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…………………

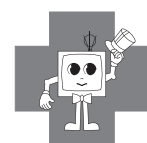
パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。


ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

**愛情点検** 長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

| こんな症状はありませんか | ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。<br>●映像が連続してチラついたりユレたりする。<br>●ジージー・パチパチと異常な音がする。<br>●変なにおいがしたり、煙が出たりする。<br>●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。<br>●内部に水や異物が入った。 | ご使用中止 | 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。 |
|---|---|---|---|

ちょっとした心づかいでテレビの安全

**廃棄時にご注意願います！** 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。


パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号





S0111-1021


# 基本ガイド

●ご使用前に知っていただきたいことや本機の特長などを記載しています。

Panasonic®

# 取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョンプラズマテレビ

品番 TH-P50GT3（50V型）
TH-P46GT3（46V型）

VIERA ビエラ

**VIERA（ビエラ）の操作ガイドは画面に表示されます**

ガイド ? を押すと表示。

よく使う操作は かんたん操作ガイド

外部機器をつなぐときは 接続ガイド

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 「基本ガイド」（本書）、「電子説明書（操作ガイド）」、「接続ガイド」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（☞ 90～95ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。（☞ 37ページ）
- 基本ガイドは、50V型（TH-P50GT3）と46V型（TH-P46GT3）共用です。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

AVCHD™ realD 3D


TQBA0853-1

# もくじ

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

設置・接続 → 設定 → 使うとき

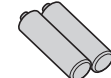
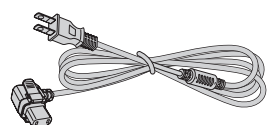


※本機の番組表は、Gガイドを使用しています。

## 付属品

●ヘッドホン・イヤホン、DVDプレーヤーなどの接続コード類、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。

設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。

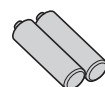
〈 〉は個数です。

□リモコン……〈1〉（☞29ページ）（品番：N2QAYB000589）

□電源コード……〈1〉（☞38ページ）（品番：TXFMX01RKUJ）

□単3形乾電池……〈2〉（リモコン用）（☞29ページ）

□基本ガイド……〈1〉

□かんたん操作ガイド……〈1〉

□B-CAS（ビーキャス）カード…〈1〉（☞39ページ）

表面　裏面

（カードの紛失時は☞39ページ）

□接続ガイド……〈1〉

□据置きスタンド……〈一式〉（☞34ページ）

□転倒・落下防止部品……〈一式〉（☞34、37ページ）

●乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
●付属品の品番は予告なく変更する場合があります。（上記品番と実物の品番が異なる場合があります。）
●付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。（サービスルート扱い）

# もくじ

●この取扱説明書や電子説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●この取扱説明書の説明イラストは、TH-P50GT3を元に作成しています。

**「安全上のご注意」を必ずお読みください**（☞90〜95ページ）



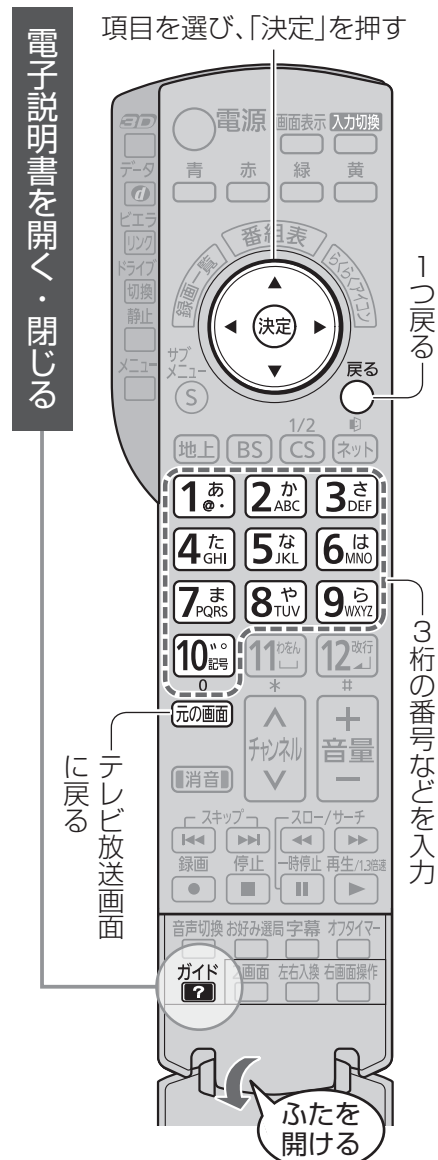


紙の取扱説明書を紛失された場合は、当社ホームページから閲覧やダウンロードができます。（http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html）

本機はインターネット（LAN）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。ただし、電話回線接続による双方向（データ放送）サービスはご利用になれません。

# 電子説明書(操作ガイド)の使いかた

**本機は電子説明書を内蔵しています。**

●テレビ画面で使いかたや解説を読むことができます。

## 電子説明書を表示する

**テレビを見ているときに ガイド ? を押す**

トップページ

●電子説明書のトップページを表示します。（もう一度押すと、テレビ画面に戻ります）

●前回表示した説明ページを表示するか、トップページを表示するかの選択画面が表示されることがあります。

・「説明ページへ戻る」を選んで「決定」を押すと、前回表示した項目を表示します。

・「トップページを表示する」を選んで「決定」を押すと、電子説明書のトップページを表示します。

●テレビ操作画面や電子説明書などが表示されている場合は、元の画面 を押して、テレビ放送画面に戻してから ガイド ? を押してください。


●本書のさらに詳しい説明を見る（3桁の番号の見かた）（☞7ページ）

●見たい情報を探す（☞7ページ）

●電子説明書の便利な機能（☞8ページ）


## 本書のさらに詳しい説明を見る（3桁の番号の見かた）

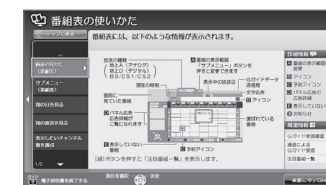
本書に記載の「（? ガイド○○○）」は電子説明書の情報ページの番号です。電子説明書のトップページを表示して3桁の番号を入力すると、その情報ページを表示します。

「電子説明書を表示する」（☞6ページ）で電子説明書のトップページを表示後、

**本書に記載の3桁の番号を押す**

●やり直すときは、「戻る」を押す。（1つ前の画面に戻る）

例）（? ガイド501） 5 → 10 → 1

トップページ

## 見たい情報を探す

電子説明書のトップページ（☞6ページ）から、**見たい項目を選び、「決定」を押す**

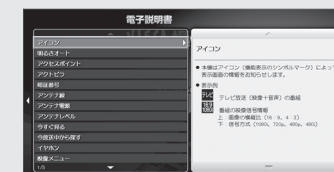
●①と②を繰り返し、見たい情報を確認します。

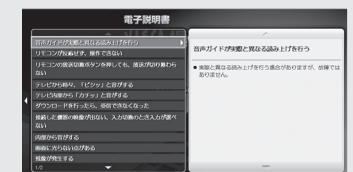
トップページ

**目的でさがす**

「番組を探す」、「録画する」など目的別に情報の一覧が表示されます。

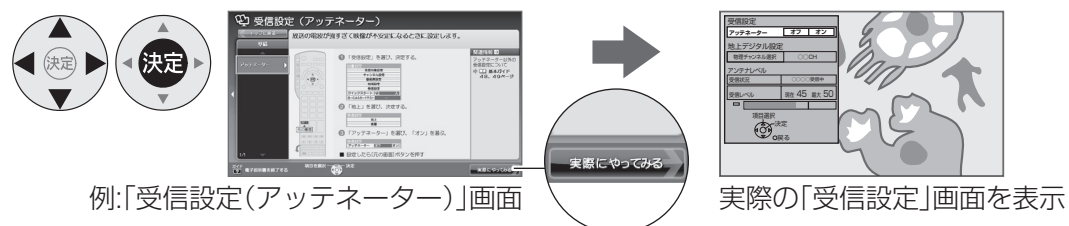
**言葉でさがす**

探したい言葉の行の一覧を表示します。

**困ったとき**

困ったときの解決法やよくあるお問い合わせ「Q&A集」を紹介しています。

# 電子説明書（操作ガイド）の使いかた（つづき）

## 電子説明書の便利な機能

■電子説明書の説明を読んだあと、実際に操作する
画面上の「実際にやってみる」を選ぶと実際の操作画面に切り換わります。
「実際にやってみる」を選び、「決定」を押す

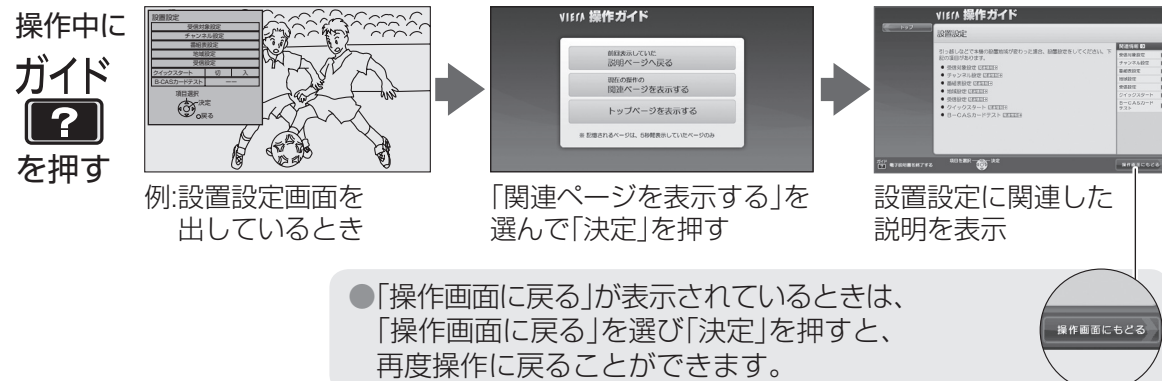
例:「受信設定（アッテネーター）」画面　　実際の「受信設定」画面を表示

■テレビの操作の途中で説明画面に切り換える
操作の途中でわからなくなったときなどに、今の画面に関連した説明を表示します。

操作中に ガイド ? を押す

例:設置設定画面を出しているとき

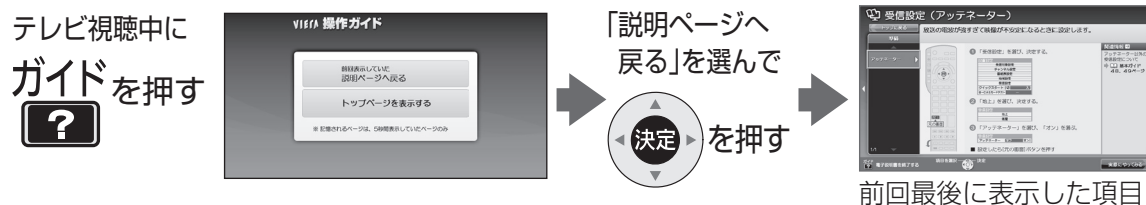
「関連ページを表示する」を選んで「決定」を押す

設置設定に関連した説明を表示

●「操作画面に戻る」が表示されているときは、「操作画面に戻る」を選び「決定」を押すと、再度操作に戻ることができます。

■最後に表示した電子説明書の項目を表示する
前回、最後に表示した電子説明書の項目を表示することができます。

テレビ視聴中に ガイド ? を押す

「説明ページへ戻る」を選んで 決定 を押す

前回最後に表示した項目

●最後に電子説明書を表示してから約24時間が過ぎるか、トップページで電子説明書を終了すると、電子説明書の記録が削除され、ガイド ? を押したとき、電子説明書のトップページが表示されます。

■エラーメッセージの詳しい説明を表示する
エラーメッセージに ? が表示されているときに ガイド ? を押すと、詳しい説明を表示します。



# 電子説明書（操作ガイド）項目一覧

トップページ

## まずお読みください



## 目的でさがす

代表的な項目を記載します。

ガイド ? のあと、3桁の数字（リモコンの数字ボタン）を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

### 番組を探す



### 見る



（次ページへつづく）

# 電子説明書(操作ガイド)項目一覧　(つづき)

ガイド ? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

## 目的でさがす(つづき)

### お好みに調整する

- ●画質を調整する(301)
- ●エコナビを設定する(865)
- ●省エネ設定(350)
  - 放送終了後、自動的に電源を切る(351)
  - 操作しないとき、自動的に電源を切る(352)
  - パネルの焼き付きを防止する(354)
  - USBハードディスクを休止状態にする(675)
- ●録画・視聴設定(348)
- ●タイマーで電源を切る(オフタイマー)(358)
- ●画面の設定を変える(360)
- ●画面モードを選ぶ(921)
- ●画面位置やサイズを微調整する(332)
- ●音声を調整する(311)
- ●音声の設定を変える(365)
- ●音声ガイドを使う(411)
- ●音声や映像信号を切り換える(316)
- ●パソコン画面を調整する(371)
- ●2画面にする(340)
- ●3D設定(440)
- ●システム設定(380)
  - 字幕の設定(381)
  - 選局対象(382)
  - 右画面操作(383)
  - タイトル表示(386)
  - 時計表示(418)
  - 表示の設定(394)
- ●制限項目を設定する(397)

### 録画する

- ●録画予約する
  - ディーガ(251)
  - USBハードディスク(874)
  - SDメモリーカード(879)
- ●探して毎回予約する/毎週予約する(285)
- ●日時を指定して録画予約する(260)
- ●見ている番組を録画する
  - ディーガ(485)
  - USBハードディスク(870)
  - SDメモリーカード(875)
- ●予約の変更・削除をする(予約一覧)(270)
- ●予約の詳細設定をする(280)
- ●その他の設定をする(293)
- ●録画番組をダビングする(645)
- ●録画番組を消去する(671)
- ●録画番組をプロテクトする(435)

## 目的でさがす(つづき)

### 初期設定

- ●かんたん設置設定(701)
  引っ越しなどで設定をやり直すとき
- ●かんたんネットワーク設定(702)
- ●設置設定
  - 受信対象設定(704)
  - チャンネル設定(708)
  - 番組表設定(710)
  - 地域設定(715)
  - 受信設定(アッテネーター)(723)
  - クイックスタート(736)
  - B-CASカードテスト(739)
- ●ネットワーク関連設定
  - 無線LANの設定(763)
  - IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定(753)
  - ネットワーク連携設定(793)
  - くらし機器設定(773)
  - ネットワークプリンター設定(783)
  - ひかりTV設定(862)
- ●省エネ設定(350)
- ●ビエラリンク(HDMI)設定(822)
- ●接続機器関連設定(823)
  - USB HDD機器一覧(856)
  - HDMI RGBレンジ設定(851)
  - HDMI画質連動設定(843)
  - HDMI音声入力設定(825)
  - ビデオ入力表示書換(828)
  - ビデオ2音声入出力設定(842)
  - デジタル音声出力(831)
  - モニター音声出力停止設定(849)
  - 外部入力スキップ設定(837)
  - 画面の見かた(USB HDD機器一覧)(857)
- ●自動更新設定(750)
- ●設定リセット(742)

### 接続機器と連携する

- ●HDMI接続のディーガ画面を操作する(481)
- ●HDMI接続のシアターから音声を出す(488)
- ●ケーブルテレビを操作する(530)
- ●スカパー！ HD対応DVRを操作する(544)
- ●パソコンを操作する(495)
- ●HDMI接続の機器を操作する
  - デジタルビデオカメラを操作する(492)
  - ルミックスを操作する(555)
  - デジタルカメラ(他社製)を操作する(498)
  - プレーヤーを操作する(556)
- ●くらし機器を使う(535)
- ●お部屋ジャンプリンクに対応したディーガを操作する(536)

### その他の機能

- ●らくらくアイコンを使う(150)
- ●テレビでネット(206)
- ●メディアプレーヤー(153)
- ●ネットで使い方ガイドを見る(201)
- ●画面表示(451)
- ●戻る・元の画面(453)
- ●番組内容(454)
- ●ドライブを切り換える(915)
- ●写真を印刷する(575)

こんなことができます

# 基本の使いかた

電源 テレビをつける

入力切換 DVDやビデオを見る（?ガイド110）

## ビエラリンク対応機器を使う

ビエラ リンク

ディーガ

シアター

デジタルビデオカメラ

デジタルカメラ

VIERA Link ビエラリンク
ディーガの操作一覧
REC 見ている番組を録画
STOP 録画を停止する

（?ガイド480）（☞14ページ）

## USBハードディスクやSDメモリーカードの内容を見る

録画一覧

ドライブ 切換

（?ガイド605）（☞20ページ）

## テレビを見る（?ガイド101）

地上 BS CS 放送を切り換える

1 ～ 12 チャンネルを切り換える

地上デジタル放送と地上アナログ放送の切り換え
（?ガイド850）

ガイド ? 電子説明書を見る（☞6ページ）

## 番組表を見る

番組表

番組表の見かた
（?ガイド501）
番組を探す
（?ガイド011）
録画予約する
（?ガイド251、874、879）

## らくらくアイコンを使う（?ガイド150）

らくらくアイコン

画面下に表示

テレビでネット
ディーガ録画一覧
ジャンル検索
注目番組
予約一覧
メディアプレーヤー
画面メモ一覧

## 画面上で選ぶ／決定する

上へ
左へ
右へ
下へ

決定する
（次の画面へ）

## インターネット

ネット

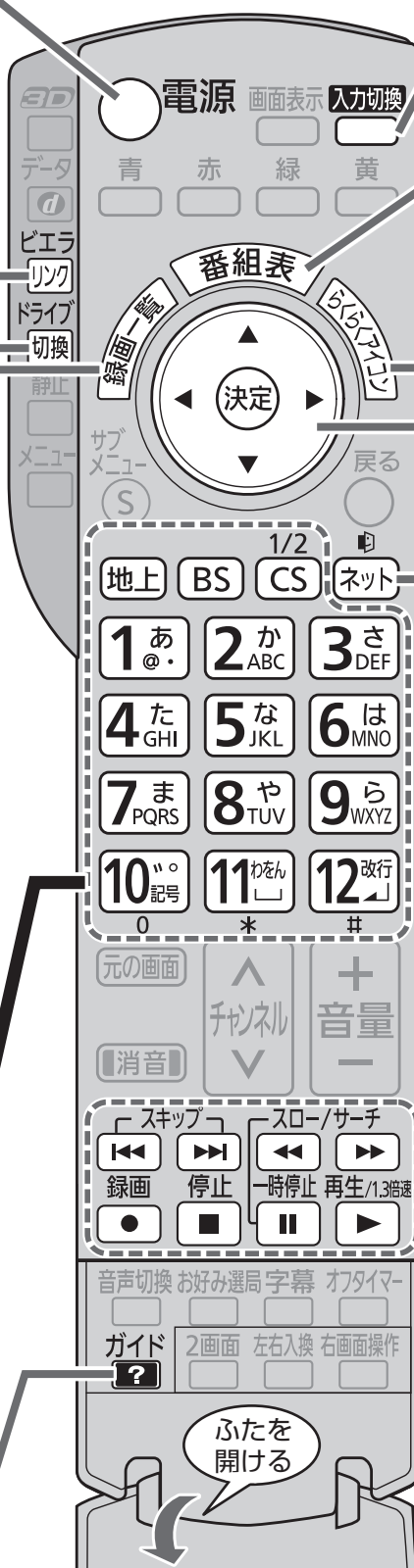
（例：アクトビラ）

（☞25～27、68ページ）

## USBハードディスク、SDメモリーカードを使う（録画する：18ページ 再生する：20ページ）

● 録画する
■ 停止する
❚❚ 一時停止する
▶ 再生する
スキップ
スロー／サーチ 早送り・早戻し

（?ガイド607）

ふたを開ける

こんなことができます

# ビエラリンク(HDMI)を使う

**接続**かんたん!**配線**スッキリ!!

●詳しくは(接続ガイド1～5)

対応機器1つにつき **1本だけ!**

HDMIケーブル(別売品)

スカパー！HD対応DVR

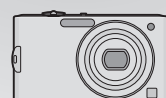
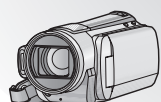
パソコン

ディーガ

ブルーレイディスクプレーヤー

シアター(ARC※対応)(ラックシアター、サウンドセットなど)

●ARC非対応のシアターと接続するときは光デジタルケーブルも必要です。

CATVデジタルSTB(ケーブルテレビデジタルセットトップボックスの略です。)

デジタルビデオカメラ　デジタルカメラ

※ARC(オーディオリターンチャンネル)とは、本機のHDMI入力端子(ARC対応)からシアターのHDMI出力端子(ARC対応)にデジタル音声信号を送る機能で、光デジタルケーブルでの接続が不要です。

連動

連動して**操作**かんたん!

## ディスク再生

(? ガイド484)
(電源オン連動)

ディーガにディスクを入れると、本機の電源が自動で「入」になり、再生が始まります。(設定は下記参照)

電源「切」

自動「切」

## 一斉電源「切」(電源オフ連動)

本機の電源を「切」にすると、接続している機器の電源も一斉に「切」になります。(設定は下記参照)

**使っていない機器の電源を自動で「切」にする(こまめにオフ)**
(設定は下記参照)

**待機電力を最小にする(ECOスタンバイ)**
(設定は下記参照)

## 録画予約

(? ガイド251)

本機の番組表で「ディーガ(ビエラリンク)」に録画予約すると、ディーガに録画予約情報が転送されます。

本機の**リモコン1つ**で操作!

## 本機のリモコンで機器を操作 (例)

ビエラリンクを押す ➡ 「ビエラリンク」メニューから選び、「決定」を押す

VIERA Link ビエラリンク

- ディーガの操作一覧 ― ディーガの画面を操作する(? ガイド481)
- REC 見ている番組を録画 ― 見ている番組をディーガにすぐに録画する(? ガイド485)
- STOP 録画を停止する

## ビエラリンク(HDMI)設定のしかた

●詳しくは(? ガイド822)

① メニュー を押す

②「設定する」を選び、「決定」を押す

③「初期設定」を選び、「決定」を押す

④「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す

⑤「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、「決定」を押す

⑥「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、「する」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定

| 項目 | | |
|---|---|---|
| ビエラリンク(HDMI)制御 | する | しない |
| 電源オン連動 | する | しない |
| 電源オフ連動 | する | しない |
| ECOスタンバイ | する | しない |
| こまめにオフ | する | しない |
| 電源オン時の音声出力 | テレビ | シアター |
| ケーブルテレビ電源オン連動 | する | しない |
| ディーガの操作 | 通常 | 拡大 |

お好みで設定する

■ビエラリンクについてさらに知りたいときや困ったときは
(? ガイドのトップページ「困ったとき」から)

●ビエラリンク(HDMI)を使う

こんなことができます

# 3D／エコナビ／画面メモ　SDメモリーカード

電子説明書の使いかた（☞6ページ）

## 3D（☞50ページ）

別売品の3Dグラスを使って、3D映像が楽しめます。

●本機には3Dグラスは付属していません。

3Dグラス
TY-EW3D2MW
（別売品）

●3D放送やディーガで再生したブルーレイ3D™対応ディスクなどを、3D映像で視聴できます。
●通常放送などの2D映像を3D映像に変換して、視聴できます。

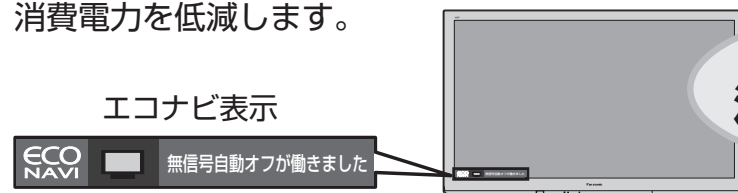
本機に対応している3Dグラス（別売品）（2011年1月現在発売中）

| | |
|---|---|
| TY-EW3D10W（電池式） | TY-EW3D2SW（充電式、サイズ：S） |
| TY-EW3D2MW（充電式、サイズ：M） | TY-EW3D2LW（充電式、サイズ：L） |

## エコナビ（?ガイド865）

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。

エコナビ表示

ECO NAVI　無信号自動オフが働きました

テレビが自動で**消費電力を低減!**

■エコナビ設定時の省エネ効果について

●エコナビ「オン」時は、エコナビ「オフ」時に対して、約10%消費電力を削減します。
（視聴環境, 使用条件により、効果は異なります。）
<測定条件>
●映像メニュー：スタンダード(標準)　●照度：250ルクス　●カラーバー信号受像

## 画面メモ

デジタル放送を視聴中に、気に入った場面(静止画)を、SDメモリーカードに保存することができます。（?ガイド107）

静止 **を押す**

**気に入った場面を保存!**※

※サブメニューからの操作が必要です。

SDメモリーカード

●保存した画面は、らくらくアイコンの「画面メモ一覧」で見ることができます。（?ガイド108）
●本機でSDメモリーカードに保存した画面メモ(静止画)は、本機でのみ再生できます。
他のテレビ（同じ品番のテレビを含む）やパソコンなどで再生することはできません。
●SDメモリーカードへの録画中は、画面メモを保存できません。

## SDメモリーカード

FATフォーマットされたSDメモリーカード、FAT32フォーマットされたSDHCメモリーカード、exFATフォーマットされたSDXCメモリーカードが使用できます。

本機ではSDメモリーカードを使用して、下記のことができます。

**デジタル放送を録画・再生する**（☞18、20ページ、?ガイド605、875、879）

本機側面

入れるとき
ラベル面を本機の前面へ向け、奥までゆっくり差し込む。

取り出すとき　カードの底面の真ん中を押す。

●SDスピードクラス※が10以上のSDメモリーカードをお使いください。
● SDスピードクラスが10未満のSDメモリーカードを使用されると、録画や再生が正常に行われないことがあります。
※連続的な書き込みに関する速度規格です。
●当社製SDXCメモリーカードのご使用をおすすめします。
● SDXCメモリーカード以外では、4 GB(約20分)を超えて連続で録画した番組を再生する場合、4 GBごとに映像が一瞬止まることがあります。
● 512 MB以上のSDメモリーカードが使えますが、録画できる時間は512 MBで約1分です。長時間にわたって録画する場合は、容量の大きなSDメモリーカードをお使いください。（録画時間の目安☞85ページ）

●本機でお使いいただくSDメモリーカードは、新品のSDメモリーカードを本機専用として使用してください。また、本機専用で使用中のカードを他の用途で使用すると、本機での使用（録画や再生など）ができなくなる場合があります。
（他の機器で使用中のSDメモリーカードは、本機では使用できません）

お知らせ

●本機でSDメモリーカードに録画した番組は、本機でのみ再生できます。
他のテレビ（同じ品番のテレビを含む）やパソコンなどで再生することはできません。
●SDメモリーカードに保存した番組は他の機器へはダビングできません。
●SDメモリーカードの使用状況によっては、録画や再生が正常に行われないことがあります。

**デジタルカメラで撮影した写真(画像)、デジタルビデオカメラで撮影したビデオをテレビ画面で見る**（☞21ページ、?ガイド121、580）

### SDメモリーカードに関するご注意

●miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードは、アダプターごと出し入れしてください。
●録画・再生中は本機の電源を切ったり、SDメモリーカードを取り出したりしないでください。
SDメモリーカード内のデータが破損したり、正常に動作しなくなる場合があります。
●規格外のSDメモリーカードやSDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

書き込み禁止(LOCK)スイッチ
スイッチを「LOCK」にすると、誤消去や書き込みを防止できます。
●番組をSDメモリーカードへ録画するときや、録画した番組を再生するときは、「LOCK」にしないでください。

厚さ2.1 mm　32 mm　24 mm

こんなことができます **録画する** USBハードディスク SDメモリーカード

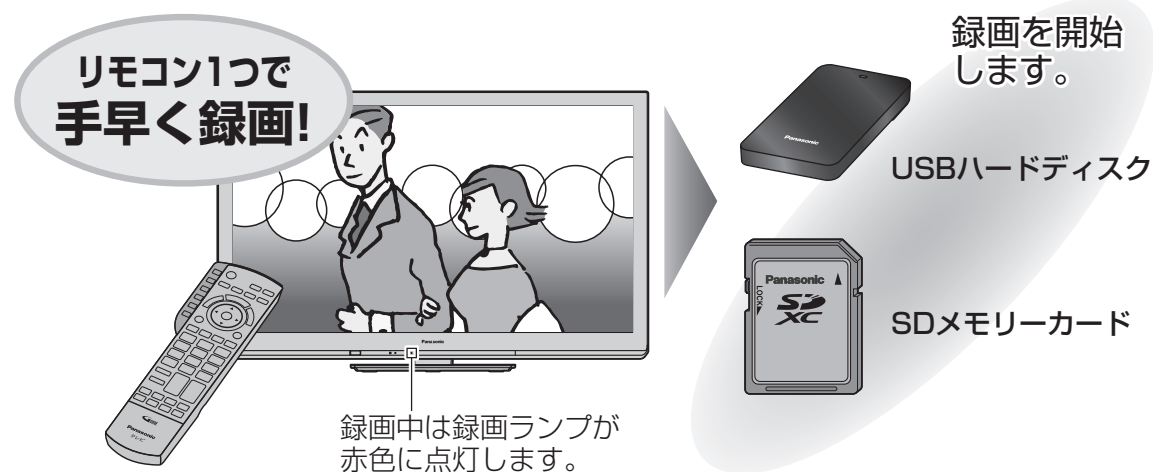
USBハードディスクやSDメモリーカードを使ってデジタル放送番組の録画、再生ができます。(本機は、番組の視聴中に別のチャンネルの番組を録画できます。)
※残容量に余裕がある状態で録画してください。

## 見ている番組を録画

(USBハードディスク：?ガイド870、SDメモリーカード：?ガイド875)

準備：1 USBハードディスクを接続(☞接続ガイド9)、またはSDメモリーカードを挿入(☞17ページ)してください。
2 ドライブ切換 を押し、▲▼で録画先の機器を選んで、「決定」を押す。
●録画先は接続している機器のみ表示します。

デジタル放送視聴中に 録画● を押す(途中で録画を停止するには 停止■ を押す)

録画中は録画ランプが赤色に点灯します。

●録画に使用できるUSBハードディスクは、本機でフォーマットしたハードディスクのみです。(☞60ページ)
●はじめてUSBハードディスクを接続したときには、登録のための確認画面が表示されます。

録画に使用できるSDメモリーカードについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。(2011年1月現在)
http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。「動作確認情報一覧」→『VIERA「プラズマテレビ」』→『「TH-○○○○」の接続検証』から、機器を選ぶ。

●「録画・視聴設定」の「録画ボタン設定」(?ガイド266)で設定した時間(3時間録画または番組の終わりまで)に自動的に停止します。(出荷時の設定：3時間録画)
●地上アナログ放送は録画できません。

●SDメモリーカードに録画中、本体で電源を切ったりSDメモリーカードを抜くと、録画中の番組は保存されません。
●SDメモリーカードでの録画可能時間の目安について(?ガイド869)
●SDメモリーカードやUSBハードディスクの使用状況によっては、録画や再生が正常に行われないことがあります。

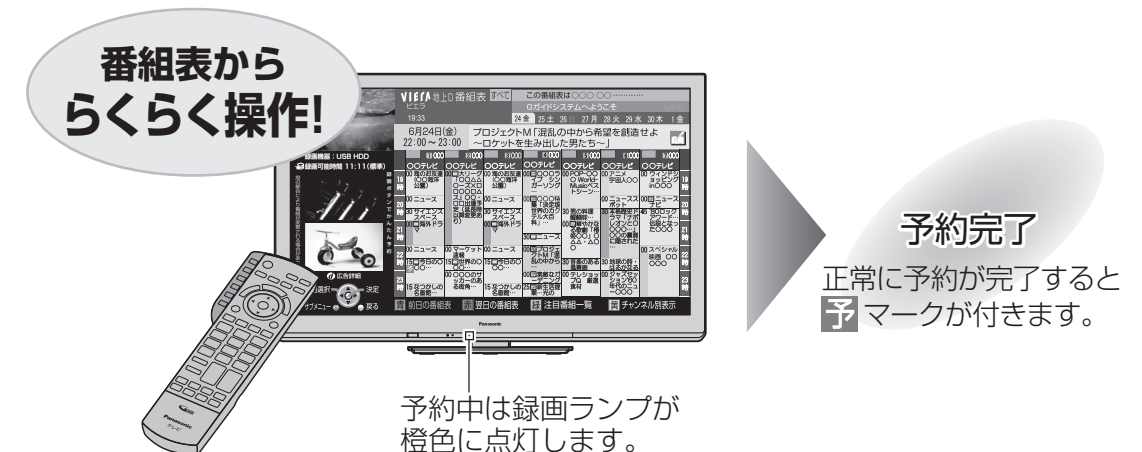
## 番組表で録画予約

(USBハードディスク：?ガイド874、SDメモリーカード：?ガイド879)

番組表からかんたんに録画予約ができます。

準備：1 USBハードディスクを接続(☞接続ガイド9)、またはSDメモリーカードを挿入(☞17ページ)してください。
2 ドライブ切換 を押し、▲▼で録画先の機器を選んで、「決定」を押す。

① 番組表 を押す
② 地上 BS CS(1/2) を押して放送を選ぶ
③番組表から録画予約したい番組を選び、録画● を押す
※ ドライブ切換 で選択した録画先(USBハードディスクまたはSDメモリーカード)へ録画予約します。
録画予約後に録画先を変更したいときは、「予約一覧」画面から切り換えてください。
(☞下記「**■予約番組の確認**」)

予約した時間になると、自動的に録画を開始します。

予約完了
正常に予約が完了すると 予 マークが付きます。

予約中は録画ランプが橙色に点灯します。

●電源を切る場合は、必ずリモコンの電源ボタンで操作してください。
本体で電源を切ると録画ができなくなります。
●地上アナログ放送の録画予約はできません。
●予約した時間に設定した録画先(USBハードディスク、SDメモリーカード)が取り外されていると、録画を開始できません。(録画予約した番組の放送中にUSBハードディスクを接続したりSDメモリーカードを挿入しても、録画は開始しません。)

### ■予約番組の確認

①  を押す

②「予約一覧」を選び、「決定」を押す
●予約一覧が表示されます。

●予約一覧から予約番組の削除や予約内容の変更(録画先の変更など)ができます。(?ガイド270、280)
●実行中の予約録画を途中で停止するには 停止■ を押します。

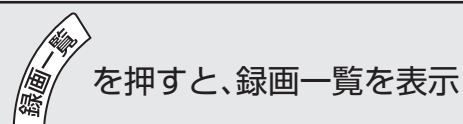
電子説明書の使いかた（☞6ページ）

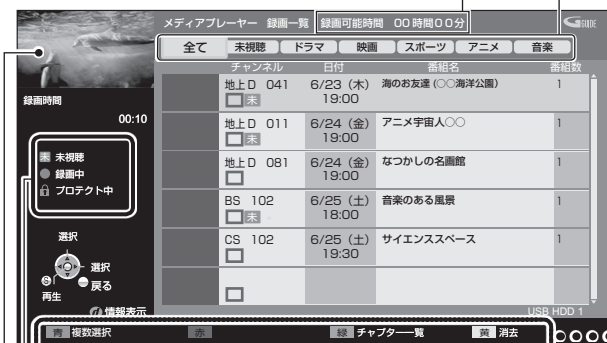
## 録画番組の再生や管理

録画一覧から録画番組の再生や消去、プロテクト設定の操作ができます。

●録画番組のダビングについては（☞22ページ）

準備：❶USBハードディスクを接続（☞接続ガイド❾）、またはSDメモリーカードを挿入（☞17ページ）してください。
❷ドライブ切換を押し、▲▼で再生する機器を選んで「決定」を押す。

録画一覧を押すと、録画一覧を表示

●ドライブやコンテンツを切り換えるときはサブメニューⓈを押して切り換えてください。

例：USBハードディスク録画一覧

**リモコンのカラーボタンで操作**

- 青：番組を複数選択する
- 緑：選択している録画番組のチャプター一覧を表示する（USBハードディスクのみ）
- 黄：選択している録画番組を消去する

※残容量（録画可能時間）は目安です。
放送（転送レート）によって異なります。
残量表示と実際の残容量（録画可能時間）が異なる場合があります。

### ■録画番組の再生（?ガイド605）

再生したい番組を選び、「決定」または再生/1.3倍速▶を押す

### ■録画番組の消去（?ガイド671）

残容量が不足したときに不要な番組を選んで消去します。

消去したい録画番組を選び、黄を押す

### ■録画番組のプロテクト（USBハードディスクのみ）（?ガイド435）

誤消去を防ぐために、録画番組にプロテクト設定できます。プロテクト設定中の番組は消去できません。（フォーマットした場合は、プロテクト設定していても消去されます。）

①プロテクト設定したい録画番組を選ぶ

②サブメニューⓈを押し、「プロテクト設定変更」を選び、「決定」を押す

## 写真・動画の再生や管理

準備：USBハードディスクを接続（☞接続ガイド❾）、またはSDメモリーカードを挿入（☞17ページ）してください。

① らくらくアイコンを押す

②  メディアプレーヤーを選び、「決定」を押す

③ドライブ（USBハードディスク、またはSDメモリーカード）を選択する
（USBハードディスクかSDメモリーカードのどちらかしか使用できないときは、自動的に④へ進みます。）

④コンテンツ（写真一覧、ビデオ一覧、録画一覧）を選択する

例：SD写真一覧（?ガイド127）

**リモコンのカラーボタンで操作**

- 青：スライドショー
- 赤：表示切換
- 緑：ドライブ選択（USBハードディスク、SDメモリーカード）
- 黄：コンテンツ選択（写真一覧、ビデオ一覧、録画一覧）

### ■通常再生 写真（?ガイド121） 動画（?ガイド580）

再生したい写真/動画を選び、「決定」または再生/1.3倍速▶を押す

●3Dの写真や動画を見るときは、別売品の3Dグラスをご使用ください。（☞50、52ページ）

●写真を2枚使って、3Dの写真を作成・保存することができます。（?ガイド229、230）

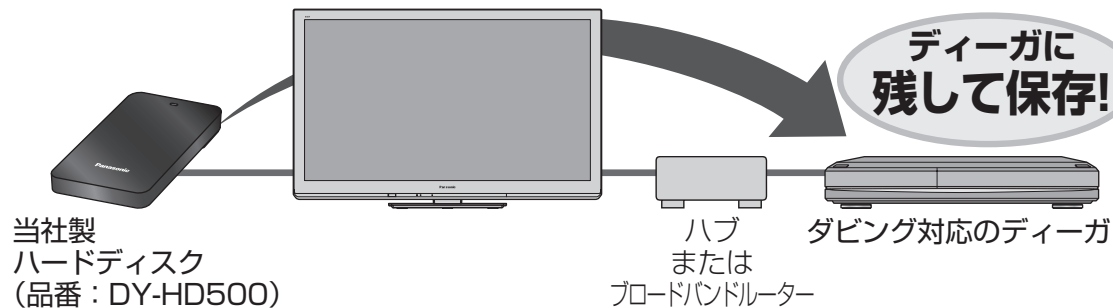
### ■スライドショー再生 写真（?ガイド130）

①青を押す

②「スライドショー開始」を選び、「決定」を押す

こんなことが できます **ダビングする**（USB ハードディスク →ディーガ）

USBハードディスクに録画した番組をハブやブロードバンドルーターを経由して、ダビング対応のディーガにダビングできます。
●SDメモリーカードに録画した番組はダビングできません。

## ディーガ（ダビング先）の接続

●本機に接続したUSBハードディスクにはディーガからのダビングはできません。

ダビング対応のディーガについて（2011年1月現在）
●DMR-BWT3100／DMR-BWT2100／DMR-BWT1100
●DMR-BWT3000／DMR-BWT2000／DMR-BWT1000
●DMR-BW890／DMR-BW690
●DMR-BW880／DMR-BW780／DMR-BW680
●DMR-BW970／DMR-BW870／DMR-BW770

## ダビングするための接続・設定

●ダビング先のディーガの設定も必要な場合があります。
詳しくは、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

**USBハードディスク（ダビング元）を接続する** 60ページ
▼
**ディーガ（ダビング先）を接続する** 64ページ
**かんたんネットワーク設定をする** 42、83ページ
▼
**ダビング操作** 23ページ

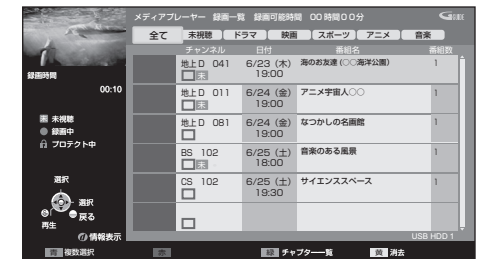
●ディーガの設定で本機のMACアドレスを確認するとき。（? ガイド766）

## ダビングの操作手順（? ガイド645）

① ドライブ切換 を押し、ダビング元のUSBハードディスクを選び「決定」を押す

②  を押す

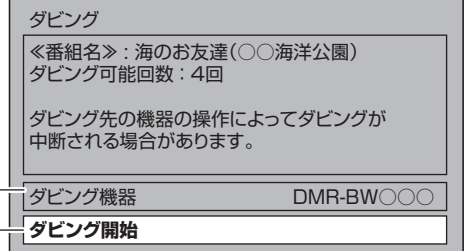
録画一覧画面が表示されます。

USBハードディスク録画一覧画面

③ダビングしたい番組を選ぶ

④ サブメニュー Ⓢ を押す

⑤「ダビング」を選ぶ

⑥「ダビング機器」を選び、ダビング先のディーガを選ぶ

⑦内容を確認したあと、「ダビング開始」を選び、「決定」を押す
●ダビングが始まります。

■ダビングを中止するとき
①本機でテレビ放送視聴中に 停止■ を押す

お知らせ
●ダビング中は録画ランプが赤色に点灯します。
●ダビング中は、本体の電源ボタンで電源を切らないでください。
●録画中のダビングやダビング中の録画はできません。
●複数の番組を選んでダビングすることはできません。
●ダビング（コピー）の制限について（? ガイド655）
本機はダビング10に対応しています。
USBハードディスクに録画したデジタル放送をディーガにダビングした場合、番組に加えられたコピー制御信号によって、ダビングの残り回数が減っていきます。

こんなことが
できます
# 音声ガイド／無線LAN　インターネットを楽しむ

## 音声ガイド

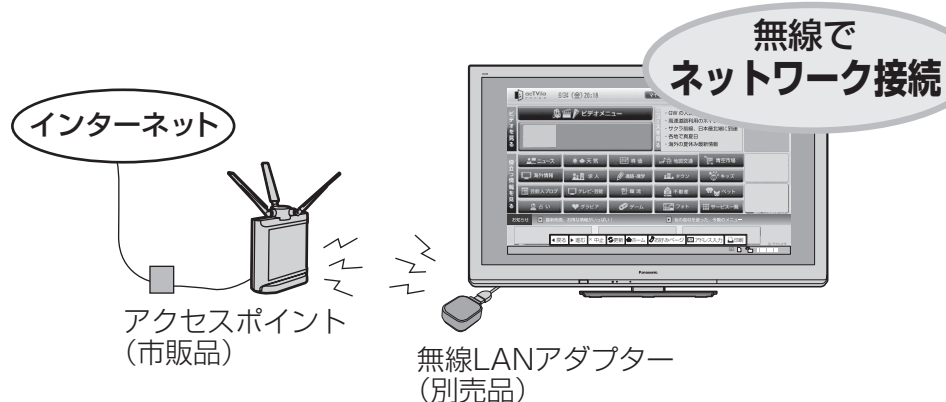
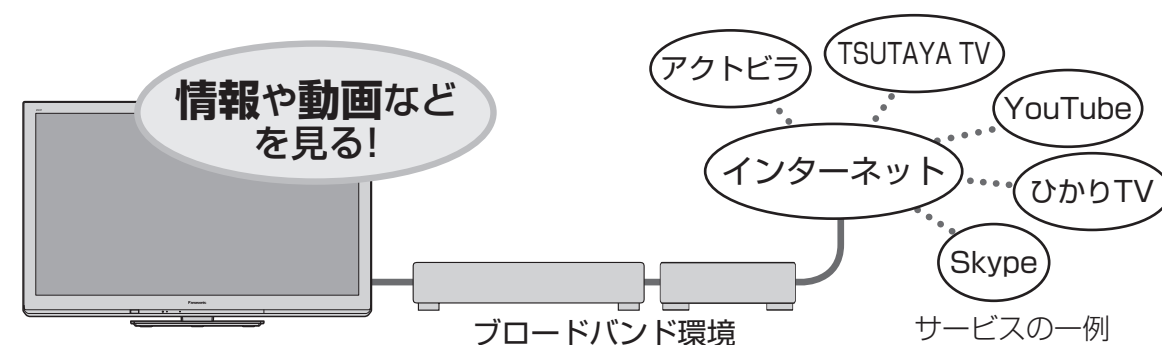
番組表の内容や予約設定、録画一覧、選局時、「入力切換」ボタンを押したときの切り換え先、エラーメッセージなどを読み上げます。

●音声ガイドをもう一度お聞きになりたい場合は、リモコンの「画面表示」ボタンを押してください。
●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。また、2画面時には音声ガイドの読み上げを行いません。

音声ガイドの設定画面を表示するには、お知らせ音がするまで メニュー を押し続ける。

●詳しくは（? ガイド411）

## 無線LAN（☞62ページ）

本機に無線LANアダプター（別売品）を接続すると、無線LANでネットワークに接続することができます。（別途アクセスポイントが必要です。）

●接続のしかた（☞接続ガイド 9）
●無線LANを通じて、インターネットやお部屋ジャンプリンクなどを使うことができます。（☞25～28ページ）
●接続後は、画面に従って設定を行ってください。



ブロードバンド環境で本機をインターネットに接続すると、テレビで通話が楽しめるSkypeや動画共有サイト「YouTube」、映画の視聴などが可能な「アクトビラ」などへ接続できます。

・インターネットのサービスによっては、利用者登録が必要なサービスがあります。
・当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。

### ■インターネットのサービスを使うには

① ネット ボタンを押す。

② 使うサービスのアイコンを選んで、「決定」ボタンを押す。

### ■本機で利用できるサービス内容（2011年1月現在の情報です）

●**アクトビラ**（☞68ページ）
・本機は「アクトビラ ビデオ・フル」に対応しています。
・最新情報は、http://panasonic.jp/support/actvila/ を参照してください。
・ マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。

●**TSUTAYA TV**
・株式会社TSUTAYA TVが提供するテレビ向け動画配信サービスです。
・本機は、TSUTAYA TVのサービスのうち、レンタル（ストリーミング）に対応しています。
・コンテンツ内容の不明点は、TSUTAYA TVホームページよりお問い合わせください。
TSUTAYA TVホームページ　http://tsutaya-tv.jp/

●**Skype**
・別売のビエラ コミュニケーション カメラ（品番:TY-CC10W）を本機に接続すると、インターネット経由のビデオ通話や音声通話を利用できます。
詳しくは、ビエラ コミュニケーション カメラの取扱説明書をよくお読みください。

●**ひかりTV**（☞26ページ）
・光回線（NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線）を利用して多チャンネル放送やビデオなどが楽しめる有料のブロードバンド映像配信サービスです。
ご利用条件やコンテンツ内容の不明点は、ひかりTVホームページよりお問い合わせください。
ひかりTVホームページ　http://www.hikaritv.net/

●**YouTube（ユーチューブ）**
・YouTube社が運営・管理している動画共有サービスです。
コンテンツ内容の不明点は、YouTubeホームページよりお問い合わせください。
YouTubeホームページ　http://www.youtube.com/t/contact_us
・本機には動画を投稿する機能はありません。動画の投稿はパソコンをご使用ください。

※システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。

利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。

こんなことが
できます
# インターネットを楽しむ（ひかりTV）

利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。

## ひかりTV …ご利用には別途契約が必要です。
（NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線が必要です。）

■ひかりTVのサービスについて（2011年1月現在）

テレビ ………80チャンネル以上の放送があります。
（見ることができるチャンネルは、契約内容によって異なります。）

ビデオ ………映画やドラマなど、数多くのコンテンツを見ることができます。
（見ることができるコンテンツは、契約内容によって異なります。）

**まず、**ご確認を。
- ●接続はお済みですか？（☞接続ガイド 9 ）
- ●かんたんネットワーク設定はお済みですか？（☞42、83ページ）
- ●ひかりTV設定はお済みですか？（ ? ガイド862）

■ひかりTVを見る

①［ネット］ボタンを押す。

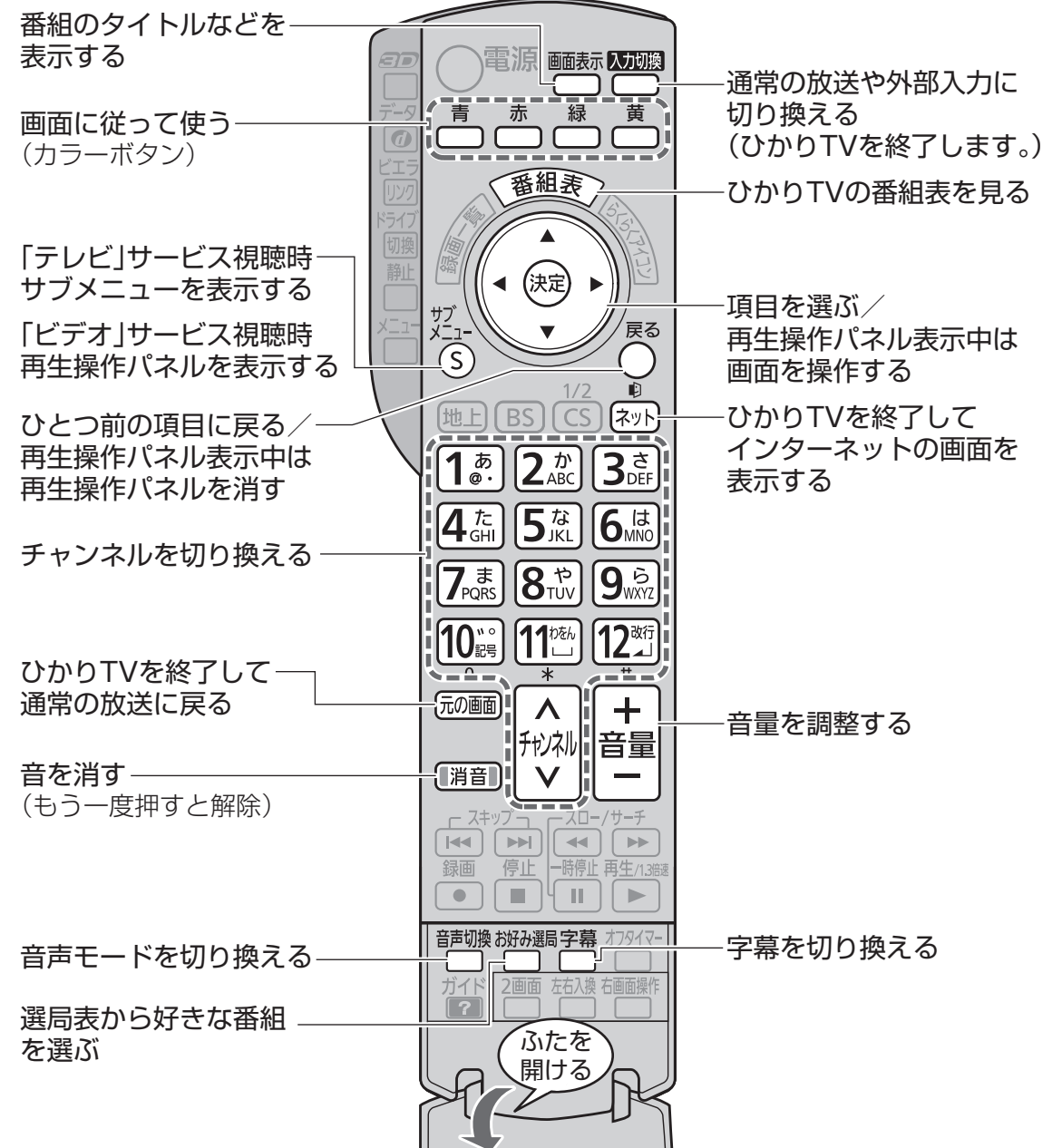
②「ひかりTV」を選んで、「決定」ボタンを押す。

③見たい項目を選んで、「決定」ボタンを押す。

※回線の状態によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

●ひかりTVの視聴を終了するときは、［元の画面］を押す

お知らせ
- ●ひかりTVの番組には、視聴年齢制限が定められている番組があります。必要な場合は「視聴可能年齢」（ ? ガイド397）を変更してください。また、視聴制限のあるチャンネルもあります。
- ●ひかりTVの番組は、USBハードディスクやSDメモリーカードに録画できません。
- ●ひかりTVの番組は、見るだけ予約をすることはできません。
- ●地上デジタル放送やBSデジタル放送の再送信サービスには対応していません。

こんなことができます **お部屋ジャンプリンク/ネットワークプリンター/くらし機器**

## お部屋ジャンプリンク（☞64、66、76ページ）

本機とお部屋ジャンプリンクに対応したディーガをLANケーブルで接続、設定(登録)すると、ディーガのハードディスクに保存した映像や写真を本機で再生できます。また、ディーガへの録画予約を本機からできます。（? ガイド251）

ディーガのコンテンツを見る!

ブロードバンドルーターまたはハブ　お部屋ジャンプリンクに対応したディーガ

●お部屋ジャンプリンクは、DLNAの技術を使用しています。

■接続について

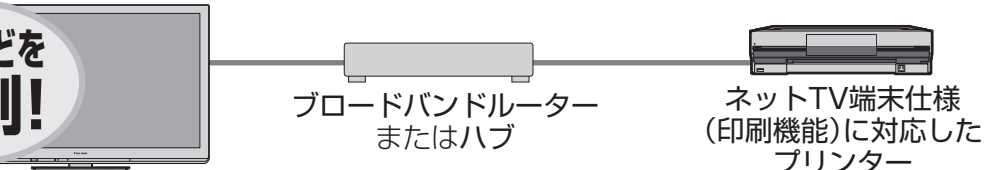
●接続のしかた（☞接続ガイド 9）
●複数のお部屋ジャンプリンクに対応したディーガを接続するときには、ハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。

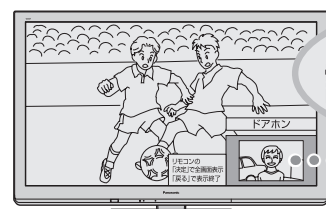
## ネットワークプリンター（☞64、78ページ）

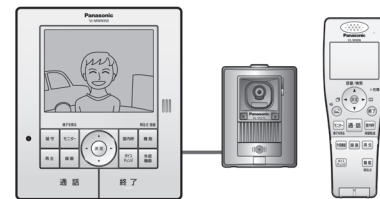
すでにブロードバンド環境をお持ちの場合、ネットTV端末仕様(印刷機能)に対応したプリンターが接続できます。

写真などを印刷!

ブロードバンドルーターまたはハブ

ネットTV端末仕様(印刷機能)に対応したプリンター

●本機とネットTV端末仕様(印刷機能)対応のプリンターをLANケーブルで接続できます。
●デジタル放送やアクトビラを通じて提供される情報、SDメモリーカードなどに保存された写真、本機の画面に表示している電子説明書を印刷できます。
●接続のしかた（☞接続ガイド 9）

## くらし機器（☞64、79ページ）

画面で訪問者を確認!

＼ピーンポーン／

くらし機器とは…

●本機とLANケーブルで接続し、本機の画面で画像の確認ができる機能を持った機器です。
●本機にくらし機器を接続、登録すると…
　●外の様子が気になったときに「ビエラリンク」メニューでくらし機器の映像を見たり、操作するなどできます。
　●ドアホン来客時やセンサーカメラ検知時に、本機の画面に表示できます。

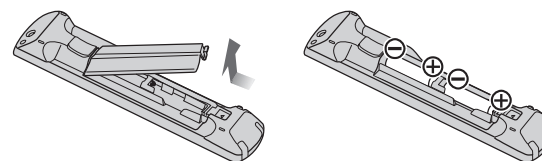


# 各部のはたらき（リモコン）

電子説明書の使いかた（☞6ページ）

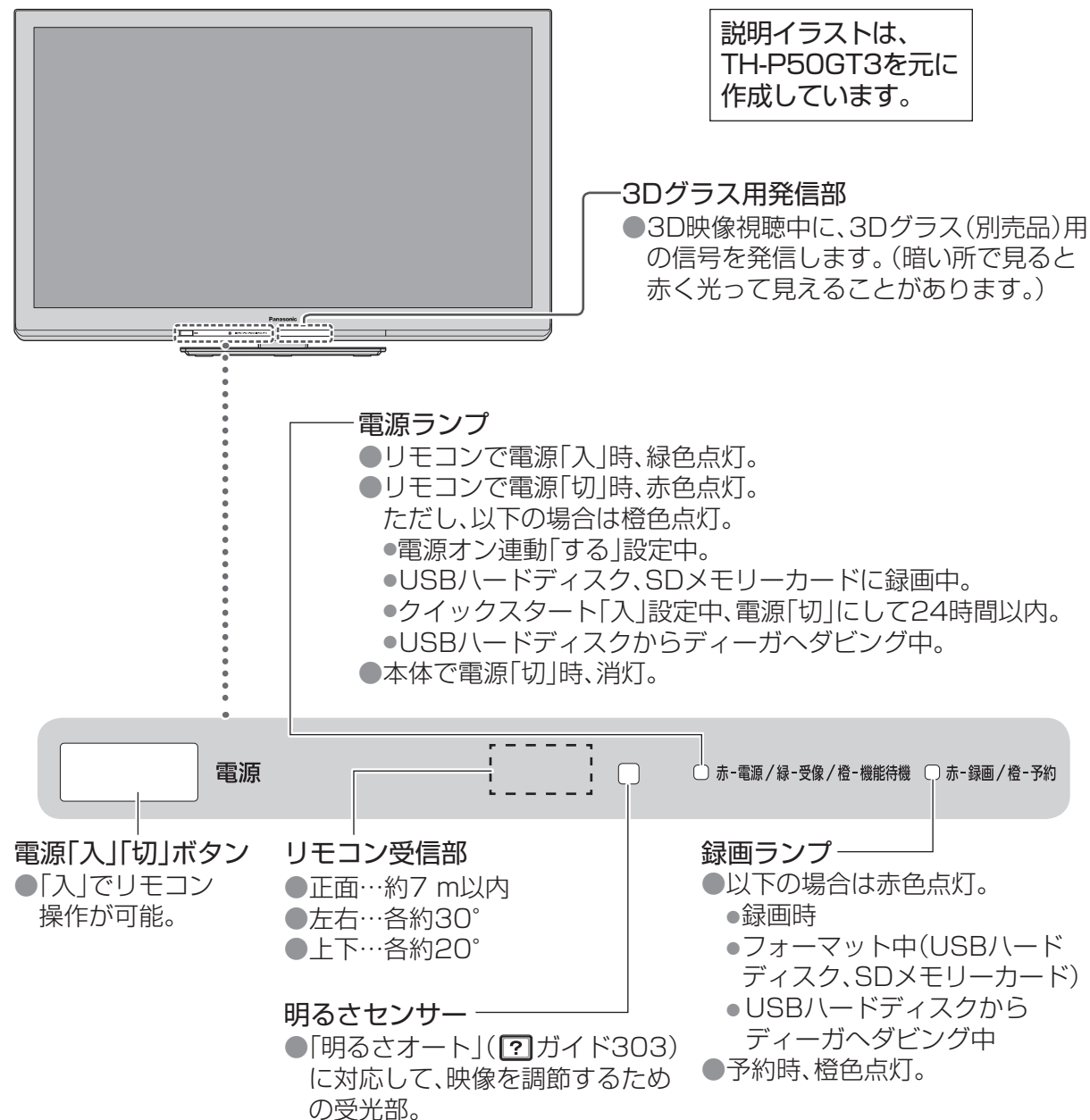
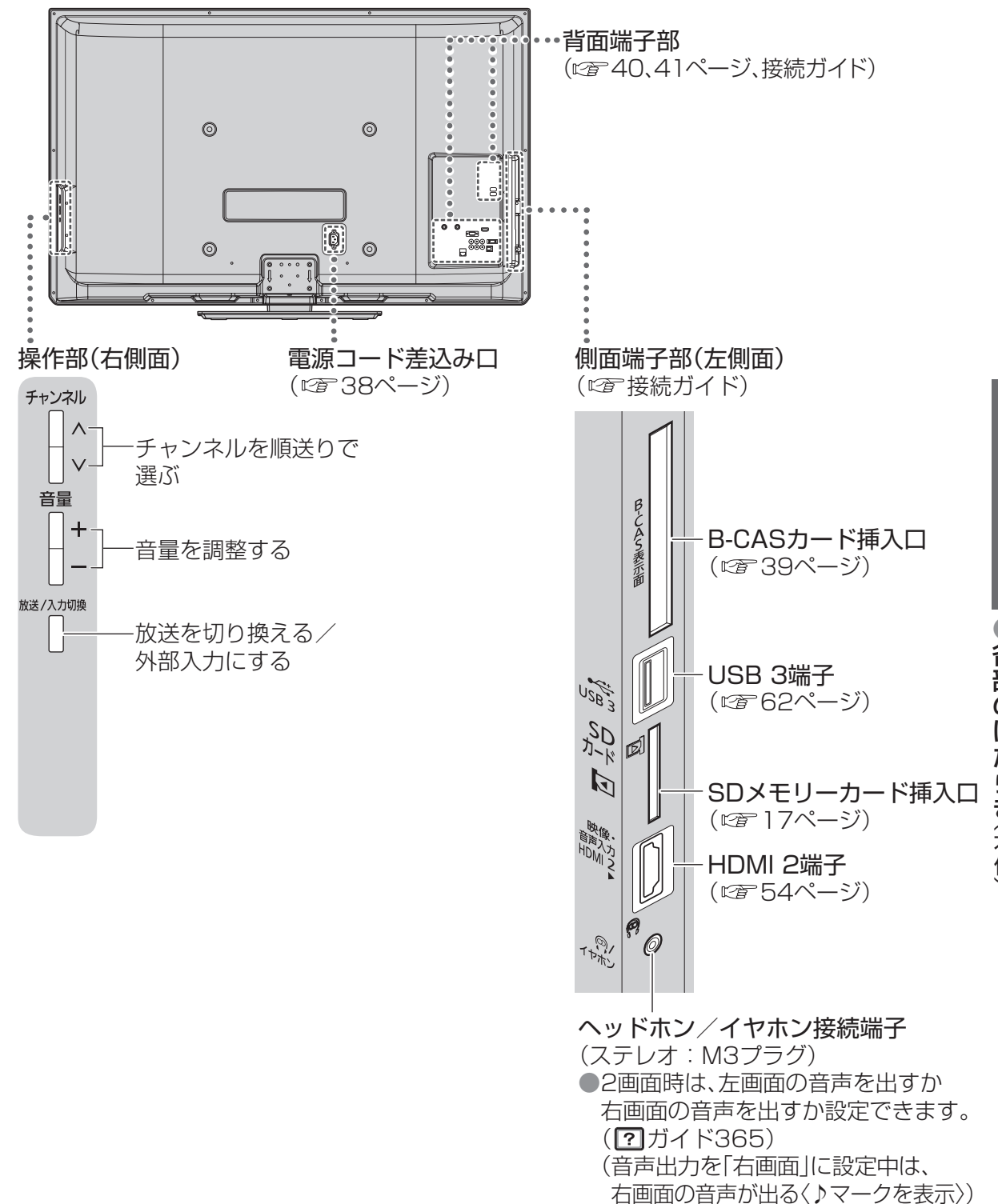
- 映像(2D/3D)を切り換える（☞50ページ）
- データ放送を見る（? ガイド190）
- ビエラリンク対応機器を使う（☞14ページ）
- 録画一覧を表示する（? ガイド605）
- 録画先のドライブを切り換える（☞18、19、20ページ）
- 画面を静止する（デジタル放送のみ）（? ガイド107）
  ●もう一度押すと、放送中の画面に戻ります。
- メニュー画面を表示する
- サブメニューを表示する（? ガイド521）
- 放送を切り換える（放送切換ボタン）（? ガイド101、850）
  ●押すとボタンが点滅。（1～12を押しても点滅）
  ●前回選んだボタンを記憶しています。
  ●見ない放送のボタンを使えないようにできます。(BS・CSのみ)（? ガイド704）
- テレビ放送画面に戻る
- チャンネルを順送りで選ぶ
- 音を消す（もう一度押すと解除）
- 2カ国語/ステレオなどを切り換える（? ガイド316）
- 選局表から見たい局を選ぶ（? ガイド104）
- 本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する
- 番組のタイトルなどを表示する（? ガイド451）
- 外部入力に切り換える（DVD・ビデオなど）（? ガイド110）
- 画面に従って使う（カラーボタン）
- 番組表を見る（? ガイド501）
- らくらくアイコンを使う（☞13ページ）
- 画面上で選ぶ／決定する
- 1つ前の画面に戻る
- インターネットの画面を開く（? ガイド200、207）
- チャンネルを切り換える／文字を入力する
- 音量を調整する（画面下に音量を表示）
- 録画・再生機器を操作する（? ガイド482、607）
- 字幕がある場合に、字幕の「オン」「オフ」を切り換える（? ガイド380）
- オフタイマーを使う（? ガイド358）
- 2画面を操作する（? ガイド340）
- 電子説明書を見る（☞6ページ）

### リモコンに乾電池を入れる

①ふたを開ける。　②単3形乾電池（付属品）を⊖側から入れ、ふたを閉める。

### お願い

●リモコンに液状のものをかけないでください。
●リモコンを落とさないでください。
●本機のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
●不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

# 各部のはたらき（本体）

電子説明書の使いかた（☞ 6ページ）

## 前 面

### お願い

●明るさセンサーや3Dグラス用発信部の前にものなどを置かないでください。
明るさセンサーや3Dグラスが正常に動作しなくなる場合があります。
●リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

### お知らせ

●電源「切」時・電源ランプ赤色点灯時・無点灯時の場合も、一部の回路は通電しています。

## 背面・側面

**背面端子部**
（☞ 40、41ページ、接続ガイド）

**操作部（右側面）**

チャンネル ∧ ∨ — チャンネルを順送りで選ぶ

音量 ＋ － — 音量を調整する

放送／入力切換 — 放送を切り換える／外部入力にする

**電源コード差込み口**
（☞ 38ページ）

**側面端子部（左側面）**
（☞ 接続ガイド）

B-CAS表示面

B-CASカード挿入口
（☞ 39ページ）

USB 3端子
（☞ 62ページ）

SDカード

SDメモリーカード挿入口
（☞ 17ページ）

映像・音声入力 HDMI 2

HDMI 2端子
（☞ 54ページ）

イヤホン

ヘッドホン／イヤホン接続端子
（ステレオ：M3プラグ）
●2画面時は、左画面の音声を出すか右画面の音声を出すか設定できます。
（?ガイド365）
（音声出力を「右画面」に設定中は、右画面の音声が出る〈♪マークを表示〉）

# 本機で楽しめる放送

## 地上デジタル放送について

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。
※本機ではワンセグ放送は受信できません。　(2011年1月現在)

●受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。(地上アナログ放送と方向が違う場合があります。)
●地上デジタル専用のUHFアンテナやブースター、混合器などが必要になる場合があります。(従来の地上アナログ放送用UHFアンテナでは、視聴地域の特定チャンネルに対応していることがあり、受信できない場合があります。)
●受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
●放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信できるエリアが限定されます。
●放送出力が増大された場合に、受信設備(ブースターなど)の再調整、変更が必要になる場合があります。
●地上デジタル放送がケーブルテレビで配信されている場合があります(CATVパススルー方式)。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

**お問い合わせ先(地デジ放送について)**
●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター (地デジコールセンター)
電話番号:0570−07−0101(IP電話等でつながらない場合は、03−4334−1111)
受付時間:平日…9:00〜21:00、土日・祝日…9:00〜18:00
●社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

## ケーブルテレビ(CATV)を受信する場合

●ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
●さらにスクランブル放送(有料)はアダプター(ホームターミナル)が必要です。
●詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
●ケーブルテレビで地上デジタル放送が配信されている場合があります(CATVパススルー方式)。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

## 衛星(BS・110度CS)放送について

### ■BSデジタル放送

放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。
WOWOW(ワウワウ)やスター·チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。
※本機では、BSアナログ放送は受信できません。

### ■110度CSデジタル放送

通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！ e2」への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー！ e2」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

●衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は49ページをご参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
●既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
●本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

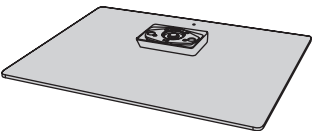
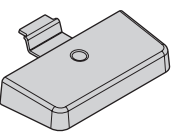
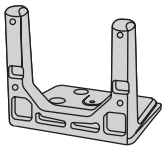
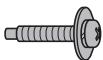
**お問い合わせ先**
●「WOWOW」　公式ホームページ：http://www.wowow.co.jp/
カスタマーセンター：0120−580807　受付時間 9:00 〜20:00(年中無休)
●「スター・チャンネル」　公式ホームページ：http://www.star-ch.jp/
カスタマーセンター：0570−013−111 (ナビダイヤル)
(PHS・IP電話のかたは045-339-0399)　受付時間 10：00 〜18：00
•スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！ e2カスタマーセンターへお問い合わせください。
●「スカパー！ e2」　公式ホームページ：http://www.e2sptv.jp/
カスタマーセンター：0570−08−1212(ナビダイヤル)
(PHS・IP電話のかたは045−276−7777) 受付時間 10：00 〜20：00(年中無休)

本機では、電話回線を利用した新規加入の申し込みはできません。
ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。

## 地上アナログ放送について

●従来からのVHF·UHF放送のことです。
●地上アナログテレビ放送は、2011年7月24日までに終了することが国の法令によって定められています。

# 設置する（据え付け）

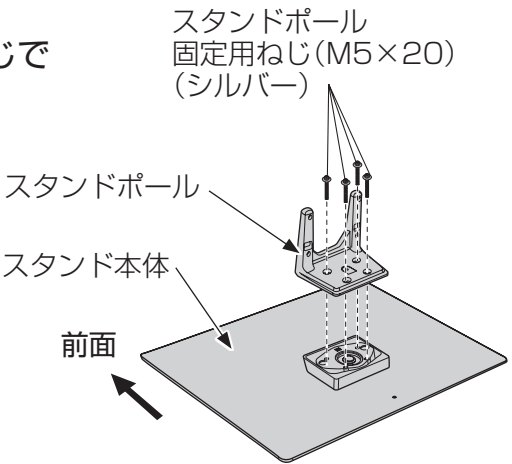
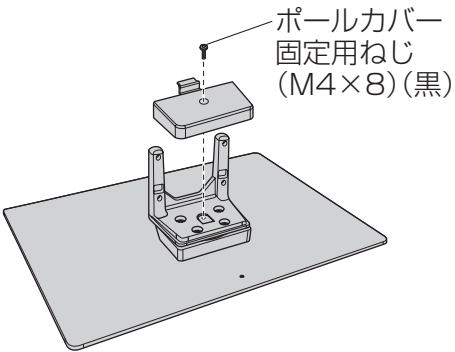
## 本機の設置

本機には据置きスタンドが付属しています。据置きスタンドをご使用の際は、組み立てかたをよくお読みのうえ、しっかりと本機へ取り付けてご使用ください。

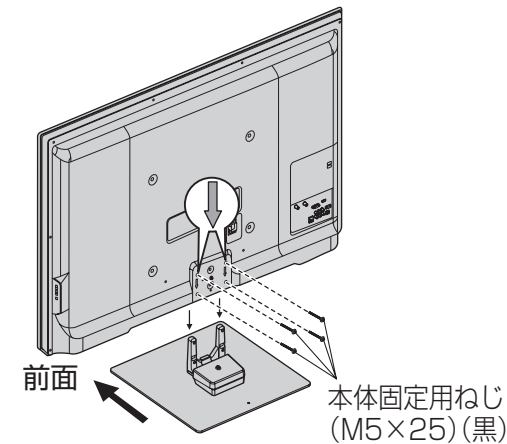
### ■構成部品

〈　〉は個数です。

| | |
|---|---|
| □ スタンド本体 ……………………〈1〉<br>（品番：TBL5ZX0081） | □ ポールカバー ……………………〈1〉<br>（品番：TBL5ZB3095） |
| □ スタンドポール …………………〈1〉<br>（品番：TBL5ZA3065） | □ スタンドポール固定用ねじ ……〈4〉<br>（M5×20）（シルバー）<br>（品番：XYN5+F20FN） |
| □ 本体固定用ねじ …………………〈4〉<br>（M5×25）（黒）<br>（品番：THEL088N） | □ ポールカバー固定用ねじ ………〈1〉<br>（M4×8）（黒）<br>（品番：XSB4+8FNK） |
| □ 転倒・落下防止部品（取り付けかたは☞37ページ）<br>ベルト ………………〈1〉<br>ねじ（ベルト用） ……〈1〉<br>木ねじ…………………〈1〉 | 金具………………………〈1〉<br>ねじ（金具用）……………〈1〉<br>（品番：TXFKL01MSUJ） |

### ■組み立てかた

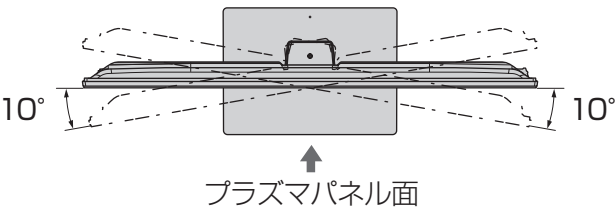
①スタンド本体にスタンドポールを取り付け、スタンドポール固定用ねじで固定する。
- ねじはしっかりと締め付けてください。
- スタンドポールは、倒れないように手で支えて、ねじで固定してください。

②ポールカバーを取り付ける。
- 右図のようにポールカバーをスタンドポールに取り付け、ポールカバー固定用ねじで固定する。

③テレビ本体に取り付ける。
- テレビ本体を包装箱から出して据置きスタンドに設置する。

(1)右図のように、テレビ本体の穴（⇩の底面にあります）をスタンドポールに合わせる。
(2)テレビ本体を止まる位置まで差し込む。
(3)本体固定用ねじを使って、最初に4本のねじを軽く締め、その後、しっかりとねじを締め付けて固定してください。

### ■外しかた

セット箱に収納するときなどは、電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線、転倒・落下防止部品を外したあと、必ず下記の手順通りに据置きスタンドを外してください。

①本体固定用ねじ（M5×25）（黒）4本を取り外す。
②テレビ本体から、据置きスタンドを取り外す。
③ポールカバー固定用ねじ（M4×8）（黒）1本を取り外す。
④ポールカバーを取り外す。
⑤スタンドポール固定用ねじ（M5×20）（シルバー）4本を取り外す。
⑥スタンドポールを取り外す。

### ■回転機能について

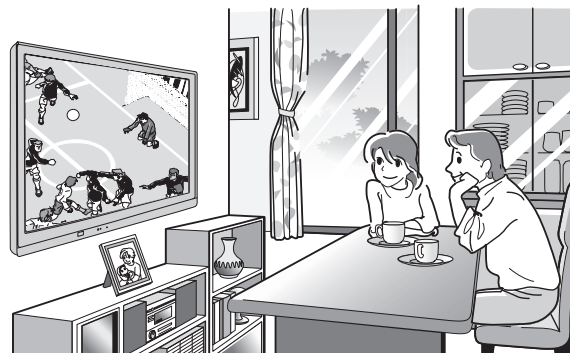
●見やすい角度に合わせてお使いください。

**お願い**

●テレビ本体を左右いっぱいに回転しても、テレビ台などからはみ出さないように設置し、回転範囲内に手や物を置かないでください。
●据置きスタンドをご使用の際は、回転時に電源コードや接続線が断線しないように、余裕をもたせて配線してください。

# 設置する（設置オプション）

## 設置オプションについて（別売品）

別売の壁掛け金具を取り付けて設置することができます。
本機を設置される際は、お求めの販売店にご相談ください。
また、本機専用の壁掛け金具を必ずご使用ください。

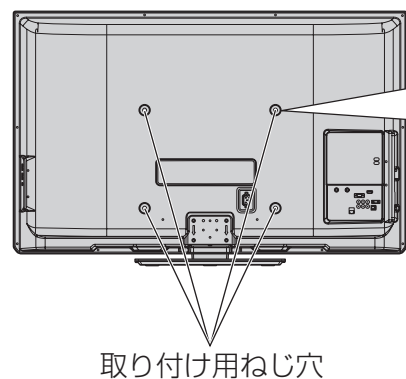
<壁掛け設置のイメージ図>

■壁掛け金具

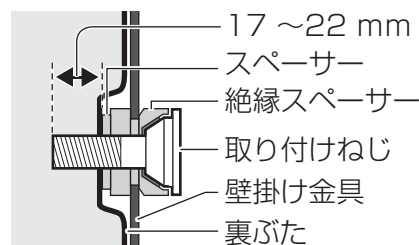
品　番（2011年1月現在）

角度可変型：TY-WK4P1R

●50V型、46V型共用です。

●角度を0°（垂直）、下向き5°、10°、15°、20°に変えられます。

<背面>

専用壁掛け金具に付属している取り付けねじは、壁掛け金具の取り付け面からの長さが以下のように設定されています。付属の取り付けねじ以外は使用しないでください。

<壁掛け金具取り付け部断面図>

**お願い**

●壁掛け金具の取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。

●設置時、衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。

●本機に専用壁掛け金具（別売品）を取り付ける際は、専用壁掛け金具に付属している取り付けねじをご使用ください。

●取り外した部品類は、もとに戻される場合に必要となりますので大切に保管してください。

●先端部が長いHDMIケーブルや同じく先端部が長いパソコン用のミニD-subケーブルを使用時は、壁面にケーブル先端部が干渉し、本機の入力端子を傷めることがあります。
このような場合は、ケーブルの先端が壁面に干渉しないよう、壁掛け金具の角度を調整してください。

# （転倒・落下防止）

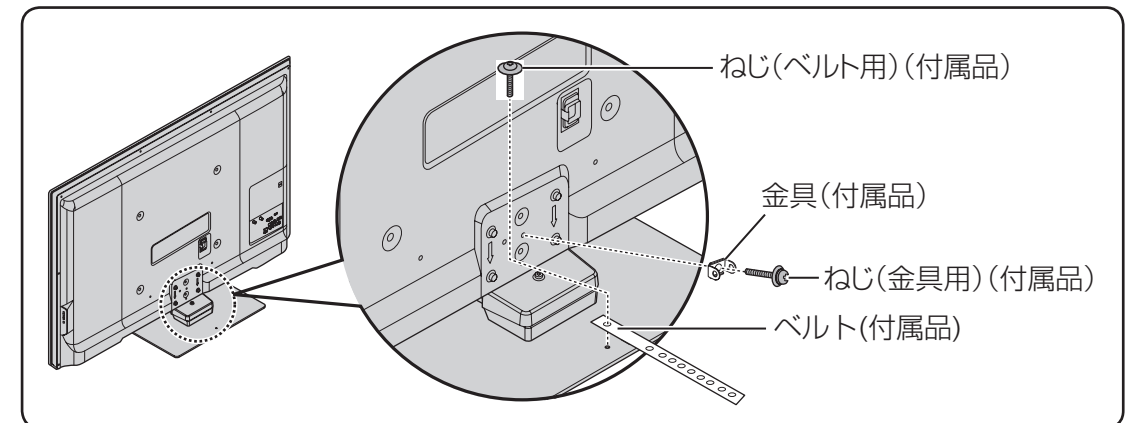
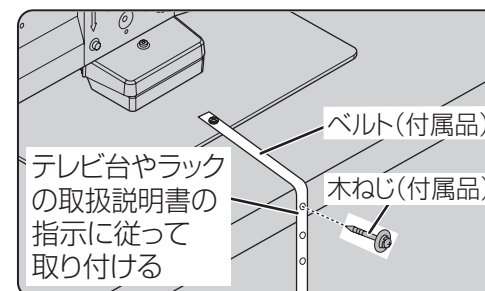
## 安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください

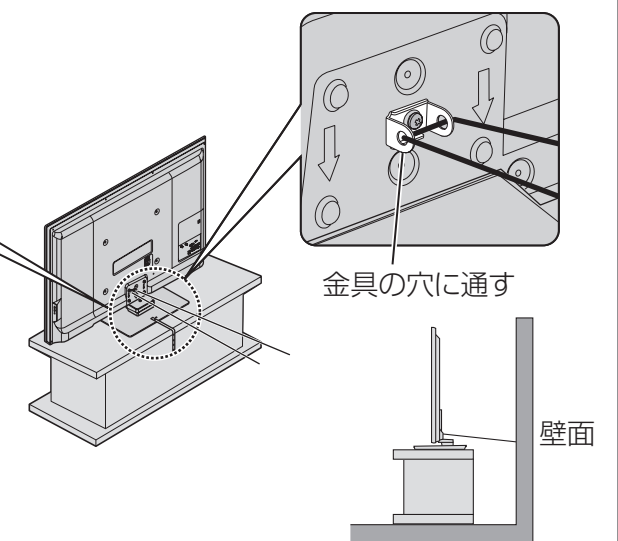
**地震の場合などに倒れるおそれがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。**

●本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

付属品の転倒・落下防止部品（☞34ページ）の取り付け方法は、下記をご覧ください。

●テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

### ①据置きスタンドにベルトと金具（付属品）を取り付ける

### ②テレビ台に固定する

### ③壁面に固定する

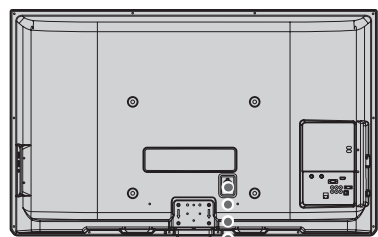
転倒・落下防止部品の金具に、丈夫なひもやワイヤー（市販品）などを通して固定する

**お願い**

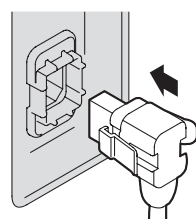
●壁面に固定する場合は、丈夫なひもやワイヤーなどの市販品をご使用いただき、しっかりとした壁や柱に取り付けてください。

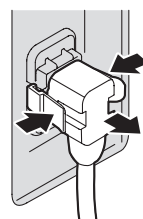
●ひもやワイヤーは本機が回転できるように取り付けてください。

# 設置する（電源コード）

## 電源コードについて

電源コードは本機にアンテナや外部機器をすべて接続したあと、
下記の手順で差し込んでください。

電源コード差し込み口

①電源プラグ（本体側）を
本体に差し込む

差し込みかた

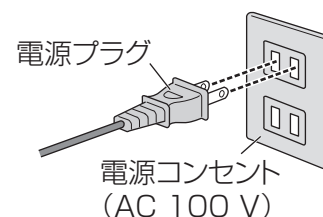
左右のつめがカチッと
音がするまで、しっかりと
差し込む

外しかた

横のつまみを
押しながら抜く

②電源プラグを電源
コンセントに差し込む

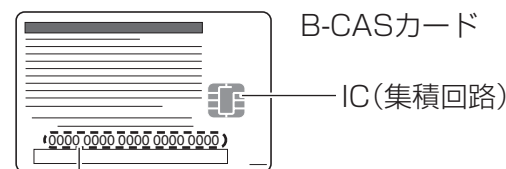
お願い

- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

# B-CAS（ビーキャス）カードの挿入

- カードおよび台紙に記載の文面をよく
お読みのうえ、必ず挿入してください。
- **挿入しないとデジタル放送が映りません。**
- 「使用許諾約款」をよくお読みください。

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるために
B-CASカードが必要です。

### ■B-CASカードについて

- 台紙に添付されています。
※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記入欄にメモしておいてください。

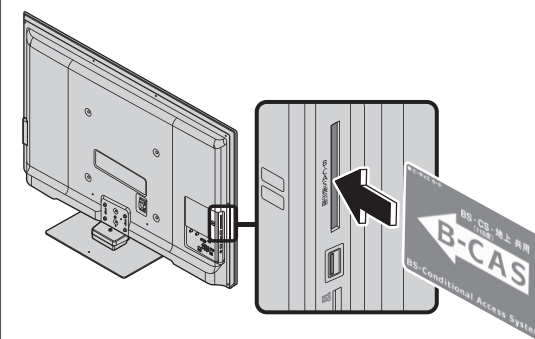
### ■B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

### ■B-CASカードについてのお問い合わせ（故障交換や紛失時など）は

（株）ビーエス・コンディショナルアクセス
システムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

**1** 本体の電源ボタンで電源を切る（☞30ページ）

**2** B-CASカードを挿入する

カードの矢印表示面を背面（画面と反対側）に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む

- B-CASカードは折り曲げないように挿入してください。
- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

### ■B-CASカードのテストをする
（?ガイド739）

- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

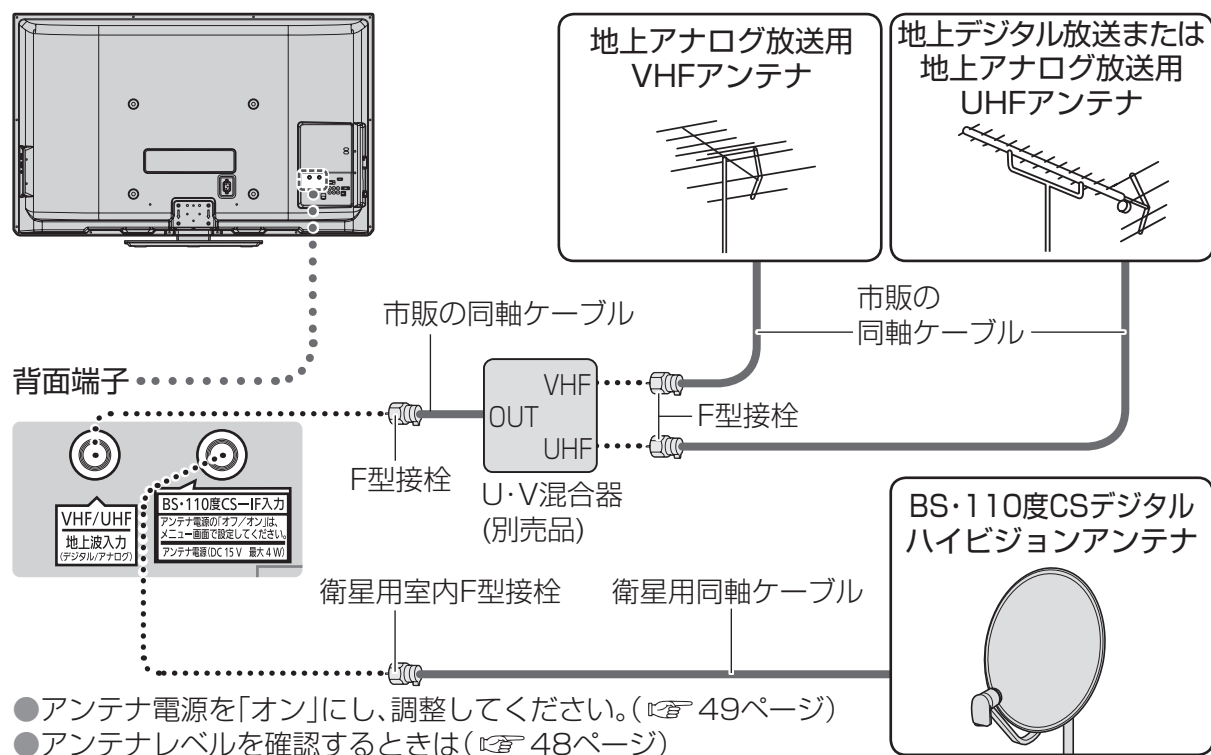
### ■B-CASカードを抜くとき

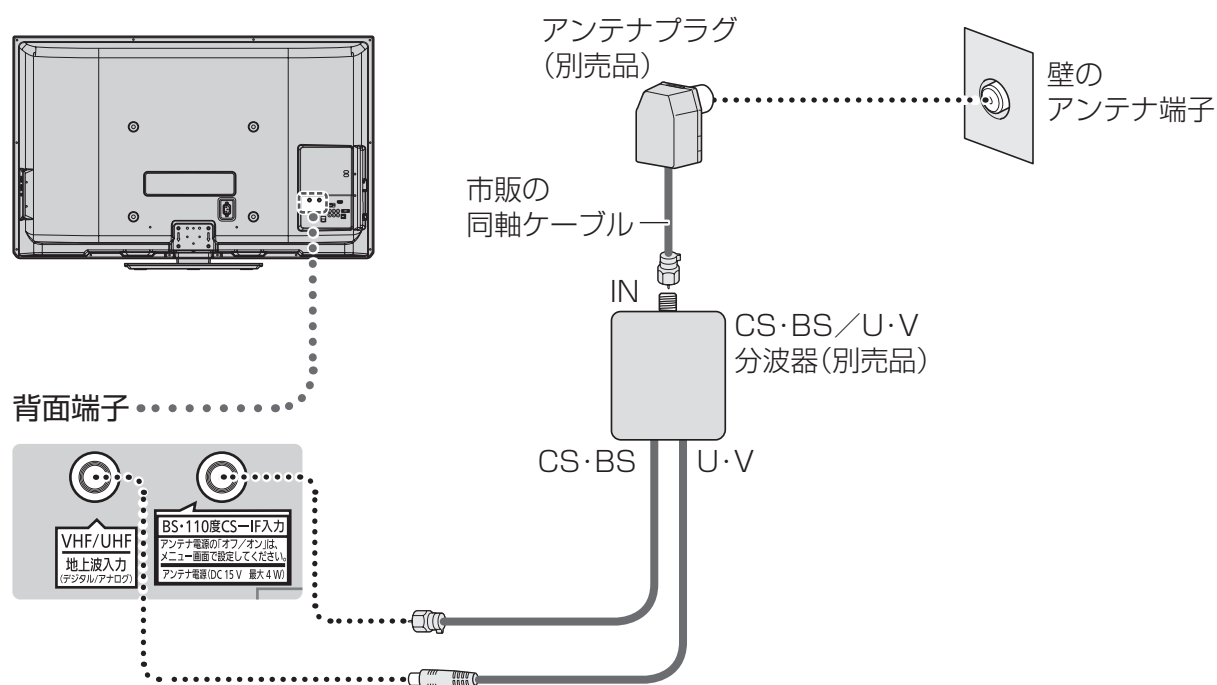
➡ （1）本体の電源ボタンで「切」にする。
（2）B-CASカードを抜く。

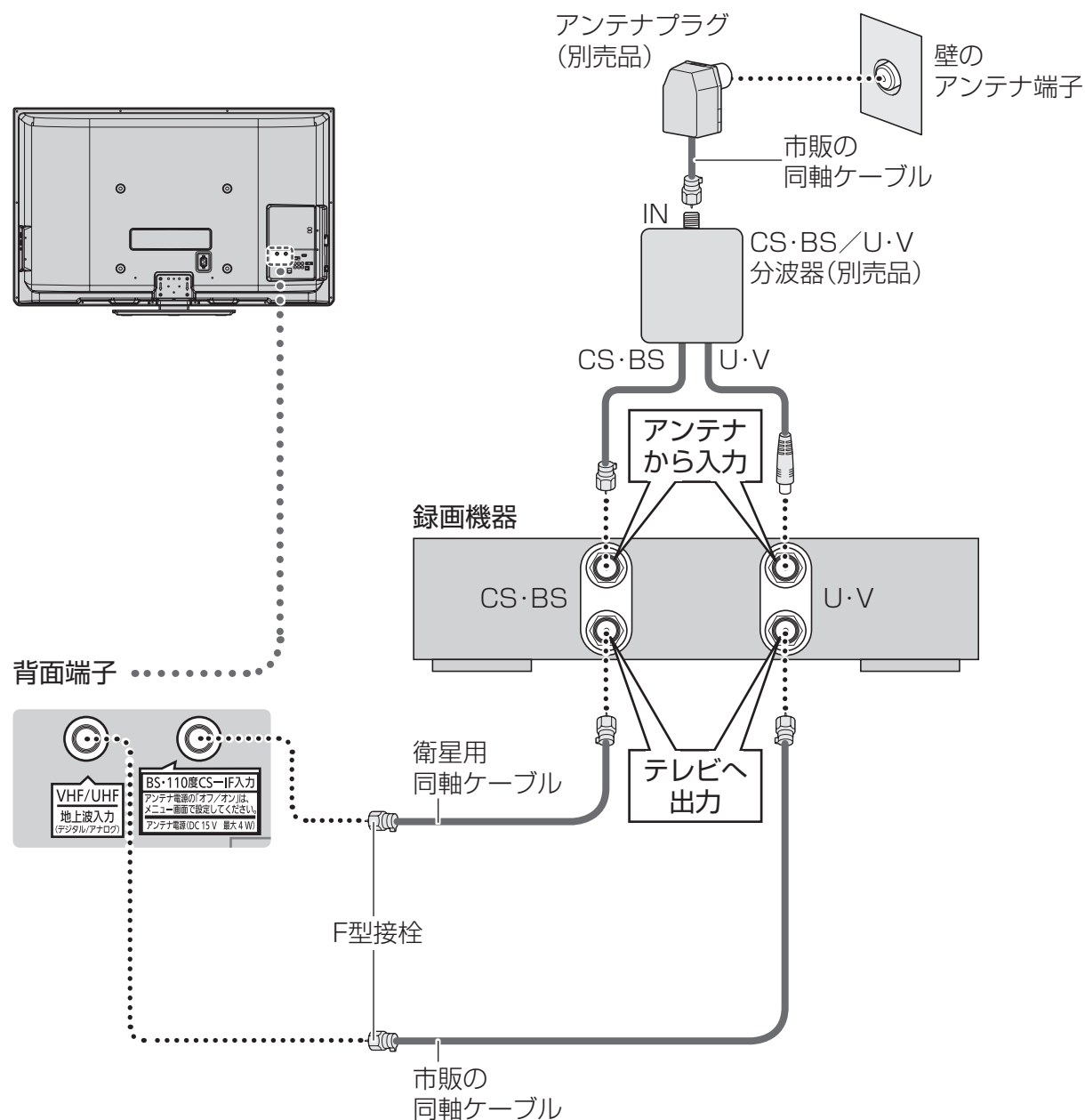
- B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

# アンテナ線の接続 （接続完了後に電源プラグを差し込む。（☞38ページ））

## 一戸建てなど、個別のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オン」にし、調整してください。（☞49ページ）
●アンテナレベルを確認するときは（☞48ページ）

## マンションなど、共同のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オフ」にしてください。（☞49ページ）

## ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、BS･CSチューナー内蔵の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。

お知らせ

●接続図は一般的な例であり、お客様によって新たにご準備いただくもの（ケーブル･分配器･分波器･アンテナプラグなど）は変わります。詳しくは販売店へご相談ください。
●地上デジタル放送／地上アナログ放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。（☞48ページ）

設置設定をやり直す **かんたん設置設定**

電子説明書の使いかた
（☞6ページ）

こんなときに…

●引っ越しなどでテレビ放送の受信地区が変わったとき、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直します。

## 画面に従って順に設定する

**1** メニュー を押す

**2** 「設定する」を選び、「決定」を押す

VIERA メニュー
- 画質を調整する
- 音声を調整する
- 番組を探す/予約する
- **設定する**

**3** 「初期設定」を選び、「決定」を押す

- 3D設定
- 画面の設定
- 音声の設定
- システム設定
- **初期設定**

**4** 「かんたん設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す

（3秒以上）

- **かんたん設置設定**
- かんたんネットワーク設定
- 設置設定
- ネットワーク関連設定

初期設定画面

**5** 画面の指示に従って操作する

■お買い上げ時の状態からやり直すとき

①「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。

②本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

## ネットワークの設定をやり直すとき

上記の手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。

- かんたん設置設定
- **かんたんネットワーク設定**
- 設置設定
- ネットワーク関連設定

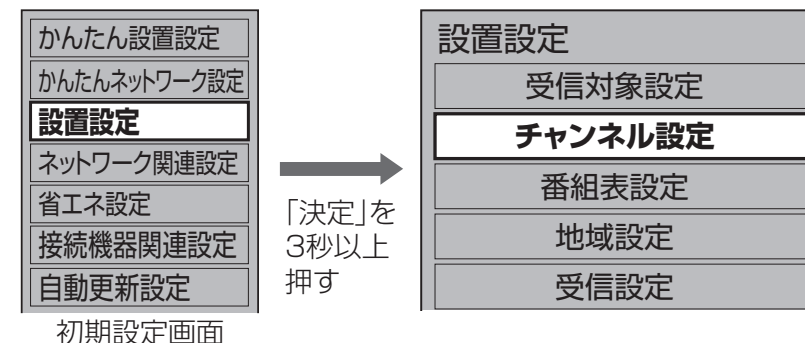
## 個別にやり直すとき

■チャンネル設定

かんたん設置設定でうまくできなかったときや、リモコンの数字ボタンへの割り当てなどを、お好みで変えたいときに行います。

衛星デジタル放送のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、お好みで変更できます。

初期設定画面

「決定」を3秒以上押す

●地上デジタル放送のチャンネル修正※（☞44ページ）

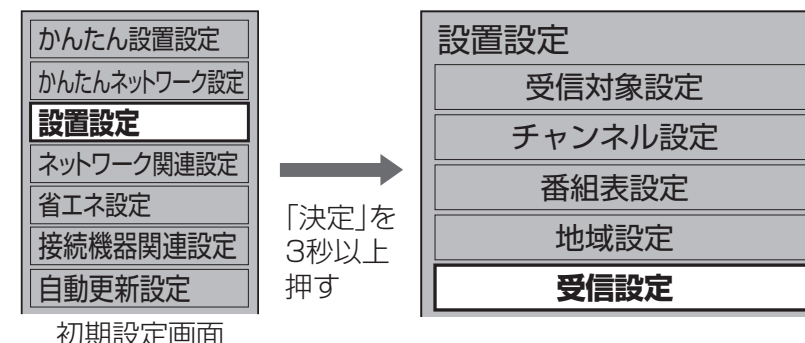
●衛星デジタル放送のチャンネル修正（☞45ページ）

●地上アナログ放送のチャンネル修正（☞46ページ）

■受信設定（個別アンテナ使用時）

アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとにアンテナレベル（受信する電波の質）を確認できます。

初期設定画面

「決定」を3秒以上押す

●地上デジタル放送／地上アナログ放送の受信設定（☞48ページ）

●衛星デジタル放送の受信設定（☞49ページ）

■アッテネーター

地上デジタル放送／地上アナログ放送の場合、放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。（☞48ページ）

■受信対象設定

リモコンの 地上 を押したときに視聴する放送（地上デジタル放送、地上アナログ放送）を変更できます。（? ガイド850）

変更したときは「チャンネル設定」が必要な場合があります。（☞44、46ページ）

■上記以外の項目

電子説明書をご覧ください。（? ガイド703）

※新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変化したときは、再スキャンを行ってください。（☞45ページ）

お知らせ

●地上アナログ放送のチャンネル一覧表·放送局コード一覧表、地上デジタル放送のチャンネル一覧表·Gガイド地域一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。（2011年1月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html を開く。
テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→品番選択の「TH-○○○○」→取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ。

設置設定をやり直す

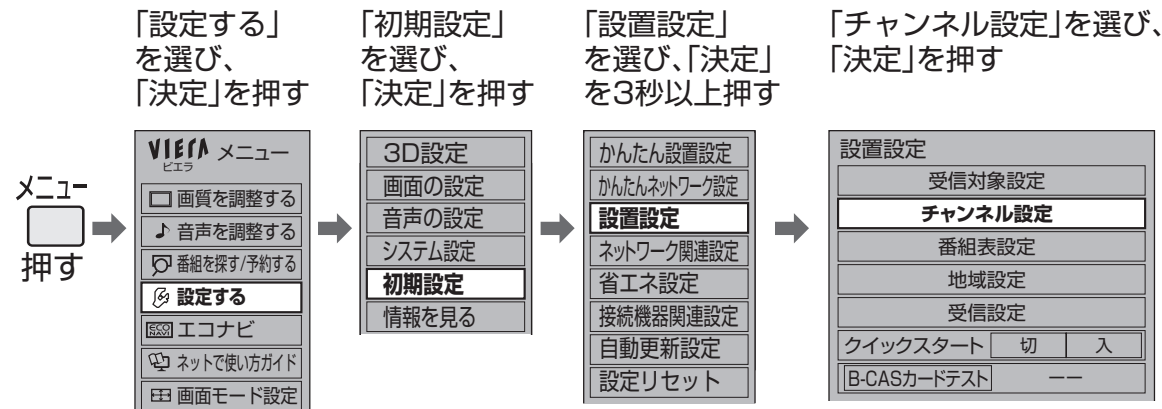
# チャンネル修正（地上デジタル放送／衛星デジタル放送）

## まず、チャンネル設定画面を表示させる

「設定する」を選び、「決定」を押す　「初期設定」を選び、「決定」を押す　「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す　「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

メニュー 押す

かんたん設置設定
かんたんネットワーク設定
設置設定
ネットワーク関連設定
省エネ設定
接続機器関連設定
自動更新設定
設定リセット

設置設定
受信対象設定
チャンネル設定
番組表設定
地域設定
受信設定
クイックスタート 切 入
B-CASカードテスト ーー

## 地上デジタル放送のチャンネル設定（初期スキャン）

受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
CS1

②◀ ▶で「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

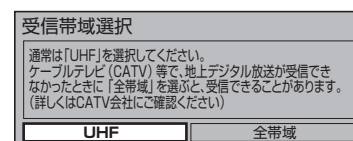
初期スキャン | 再スキャン | マニュアル

③◀ ▶でお住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域選択 東京

④◀ ▶で「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

受信帯域選択
通常は「UHF」を選択してください。
ケーブルテレビ（CATV）等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。
（詳しくはCATV会社にご確認ください）
UHF　全帯域

●通常は「UHF」を選んでください。
●「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。
●今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。
●スキャンには10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

⑤▲▼で内容を確認する

●修正するときは（☞45ページ「マニュアル」手順③、④）
●画面下部に「電波が強すぎます。」と表示された場合は、アッテネーターを「オン」に設定（☞48ページ）し、「再スキャン」（☞45ページ）を行ってご確認ください。

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認　アッテネーター オフ

| リモコン | CH | チャンネル名 | 種類 | アンテナレベル | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 011 | NHK総合 | テレビ | 76 | 高 |
| 2 | 021 | NHK教育 | テレビ | 74 | 高 |
| 3 | ---- | | | | |
| 4 | 041 | 日本テレビ | テレビ | 77 | 高 |

⑥戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

## 地上デジタル放送のチャンネル設定（再スキャン）

地上デジタル放送の受信状況が変わったときに、受信できる局を自動で追加します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「再スキャン」を選び、「決定」を押す

●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
●スキャンには10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

③▲▼で内容を確認する

●修正するときは（☞下記「マニュアル」手順③、④）

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認　アッテネーター オフ

| リモコン | CH | チャンネル名 | 種類 | アンテナレベル | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 011 | NHK総合 | テレビ | 76 | 高 |
| 2 | 021 | NHK教育 | テレビ | 74 | 高 |
| 3 | ---- | | | | |
| 4 | 041 | 日本テレビ | テレビ | 77 | 高 |

④戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

## 地上デジタル放送のチャンネル設定（マニュアル）

地上デジタル放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

初期スキャン | 再スキャン | マニュアル

③▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

地上デジタルチャンネル設定

| リモコン | CH | チャンネル名 | 種類 |
|---|---|---|---|
| 1 | 011 | NHK総合 | テレビ |
| 2 | 021 | NHK教育 | テレビ |

④◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定 1
CH 011
チャンネル名 NHK総合・東京

⑤戻る を押して終了する

■行ごと入れ換えたいとき
1）手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

## 衛星デジタル放送のチャンネル設定

①チャンネル設定画面から▲▼で「BS」「CS1」「CS2」のいずれかを選び、「決定」を押す

チャンネル設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
CS1
CS2

②▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

BSチャンネル設定

| リモコン | CH | チャンネル | 種類 |
|---|---|---|---|
| 1 | 101 | NHK BS1 | テレビ |
| 2 | 102 | NHK BS2 | テレビ |

③◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定 1
CH 200
チャンネル名 スター・チャンネル

④戻る を押して終了する

■行ごと入れ換えたいとき
1）手順①の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

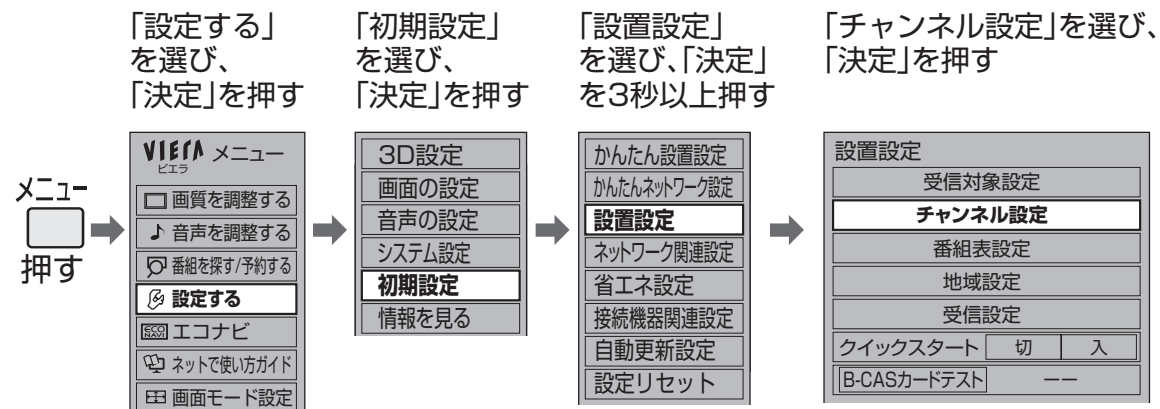
（終わったら 元の画面 を押す）

# 設置設定をやり直す チャンネル修正（地上アナログ放送）

## まず、チャンネル設定画面を表示させる

メニュー 押す →「設定する」を選び、「決定」を押す →「初期設定」を選び、「決定」を押す →「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す →「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定
かんたんネットワーク設定
設置設定
ネットワーク関連設定
省エネ設定
接続機器関連設定
自動更新設定
設定リセット

設置設定
受信対象設定
チャンネル設定
番組表設定
地域設定
受信設定
クイックスタート 切 入
B-CASカードテスト ーー

## 地上アナログ放送のチャンネル設定（オート）

受信できる局を自動で探します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
CS1
CS2

②◀ ▶で「オート」を選び、「決定」を押す

●自動的に設定し直します。
（数分程度、映像が乱れます）

マニュアル オート

③▲▼でチャンネルを選び、内容を確認する

地上アナログチャンネル設定

| リモコン | CH | 表示 | 放送局名 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 1 | ーー |
| 2 | 14 | 14 | ーー |
| 3 | 3 | 3 | ーー |
| 4 | 4 | 4 | ーー |

④放送局名を設定する（☞47ページ手順④、⑤）

⑤ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

## 地上アナログ放送のチャンネル設定（マニュアル）

地上アナログ放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
CS1
CS2

②◀ ▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

マニュアル オート

③▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選ぶ

地上アナログチャンネル設定

| リモコン | CH | 表示 | 放送局名 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 1 | NHK総合東京 |
| 2 | 14 | 14 | MXテレビ |
| 3 | 3 | 3 | NHK教育東京 |
| 4 | 4 | 4 | 日本テレビ |

■行ごと入れ換えたいとき

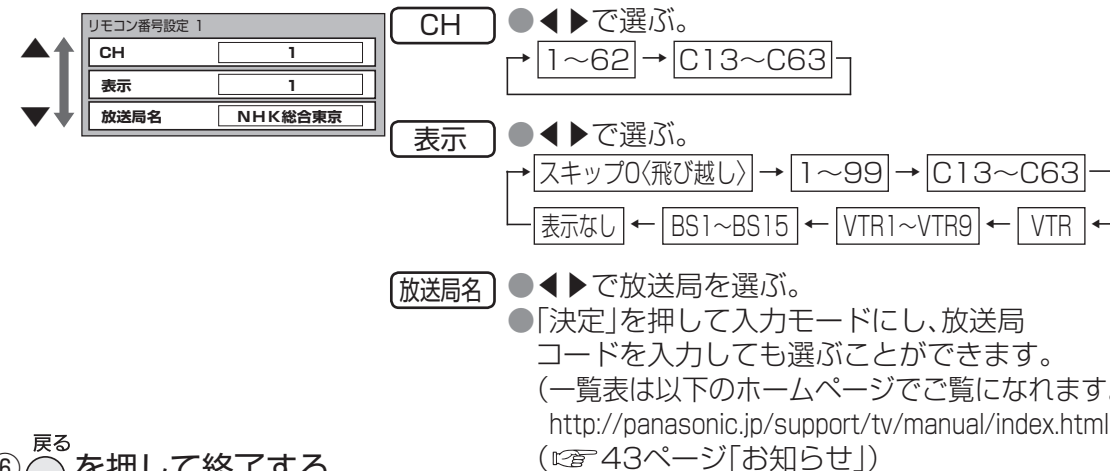
1）手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

■映りが悪いとき（微調整）

1）手順②の操作後、▲▼で調整するチャンネルを選び、「メニュー」を3秒以上押す。
2）◀ ▶で見やすくなるように調整する。（10秒間操作しないと、元の画面に戻る）
3）「戻る」を押す。

④「決定」を押す

⑤▲▼で項目を選び、◀ ▶でそれぞれ修正する

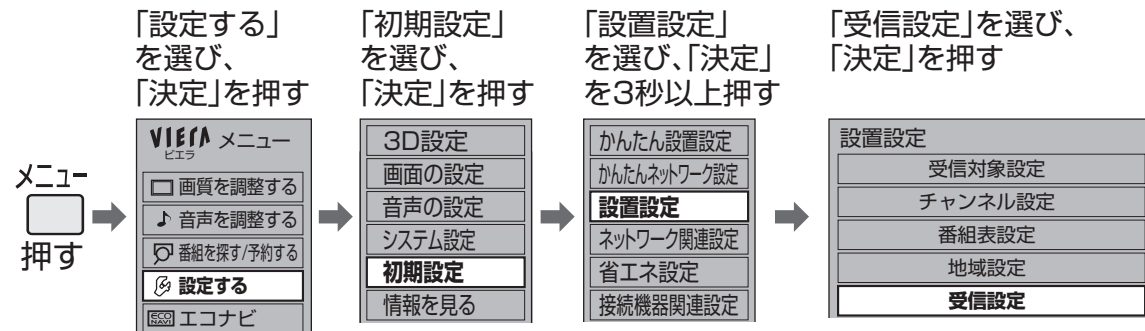
放送局名 ●◀ ▶で放送局を選ぶ。
●「決定」を押して入力モードにし、放送局コードを入力しても選ぶことができます。
（一覧表は以下のホームページでご覧になれます。
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html）
（☞43ページ「お知らせ」）

⑥ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

# 設置設定をやり直す 受信設定（地上デジタル放送／地上アナログ放送／衛星デジタル放送）

## まず、受信設定画面を表示させる

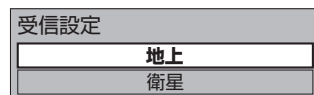
メニュー 押す →「設定する」を選び、「決定」を押す →「初期設定」を選び、「決定」を押す →「設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す →「受信設定」を選び、「決定」を押す

| VIERA メニュー | | | 設置設定 |
|---|---|---|---|
| 画質を調整する | 3D設定 | かんたん設置設定 | 受信対象設定 |
| 音声を調整する | 画面の設定 | かんたんネットワーク設定 | チャンネル設定 |
| 番組を探す/予約する | 音声の設定 | **設置設定** | 番組表設定 |
| **設定する** | システム設定 | ネットワーク関連設定 | 地域設定 |
| エコナビ | **初期設定** | 省エネ設定 | **受信設定** |
| | 情報を見る | 接続機器関連設定 | |

●地上デジタル放送／地上アナログ放送の場合は、設定したい放送に切り換えてから受信設定画面を表示させてください。（切り換えかた ? ガイド850）

## 地上デジタル放送／地上アナログ放送の受信設定

アッテネーターを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

①受信設定画面から▲▼で「地上」を選び、「決定」を押す

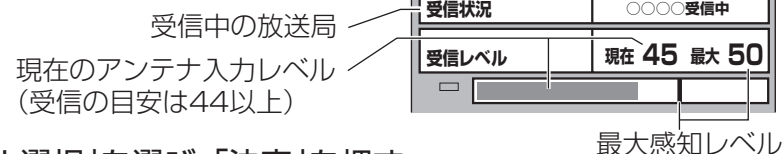
受信設定
**地上**
衛星

②必要であれば「アッテネーター」を設定する

●アッテネーターについて（☞43ページ）

■地上デジタル放送の場合

手順③以降に進んでください。

③アンテナレベルを確認する

●地上アナログ放送選局中に表示してもアンテナのレベルは表示されません。

④▲▼で「物理チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

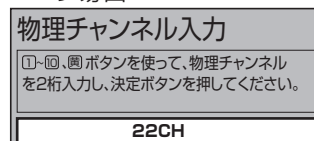
⑤ 1 ～ 10 で物理チャンネルを入力し、「決定」を押す

●間違えたときは「黄」ボタンを押します。

●CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。例えば、「全帯域」（☞44ページ手順④）を選んで、CATVでの「C20」チャンネルを選択する場合は、緑 2 10 と入力します。

（C20の「C」は、リモコンの「緑」ボタンで入力／削除できます。）

例 受信帯域選択が「UHF」の場合

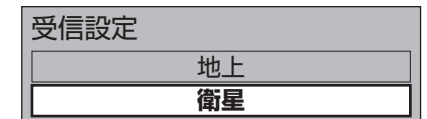
物理チャンネル入力
①～⑩、⑫ボタンを使って、物理チャンネルを2桁入力し、決定ボタンを押してください。
22CH

入力した物理チャンネルのアンテナレベルを表示

⑥アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

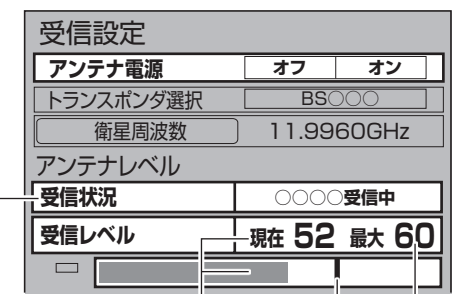
## 衛星デジタル放送の受信設定

衛星アンテナが個別の場合、アンテナ電源の「オフ」「オン」を設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

①受信設定画面から▲▼で「衛星」を選び、「決定」を押す

②アンテナレベルを確認する

③▲▼で「アンテナ電源」を選び、◀▶で「オン」を選ぶ

●「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。（ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときは「オフ」にしてください）

●「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は変えると、視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。

④アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

■アンテナレベルについて

●アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。

●アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。
地上デジタル放送の場合は、さらに「決定」を押すと、受信状況の一覧を確認できます。

●BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

■物理チャンネルについて

●地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13～62ch）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

お知らせ

●アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

# 3D映像を見る

電子説明書の使いかた
（☞6ページ）

別売の3Dグラス（☞52ページ）で3Dに対応した放送などを見ると、3D映像が楽しめます。
●3Dグラス（別売品）を使用されるときは、3Dグラスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

映像(2D/3D)を切り換える

「3D方式切換」画面を表示する

## 3D映像に切り換える

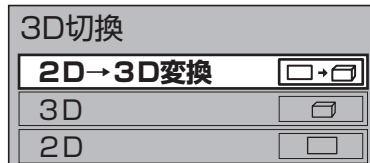
**自動で3D映像に切り換える**

●「3D自動切換」を「オン」に設定していると、3D映像の信号を検出したときに、自動的に3D映像に切り換わります。

**手動で3D映像に切り換える**

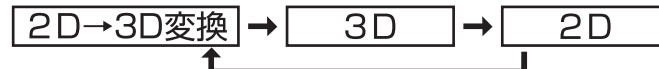
●3Dボタンを使って切り換えることができます。

3D を押す

●「3D切換」画面を表示します。

「2D→3D 変換」の項目は、入力信号によっては表示されないことがあります。

●3Dボタンを押すと、3D映像と2D映像が切り換わります。
（3D対応放送など）

3D ↔ 2D

（通常放送など）

**お知らせ**

●チャンネルや放送、入力を切り換えると、2D映像に切り換わります。また、3D映像が終了すると自動的に2D映像に切り換わります。
●「2D→3D変換」「3D」「2D」は、上下ボタンでも選択できます。「決定」を押すと映像が切り換わります。
●映像によっては、正常に変換されない場合があります。「3D切換」画面表示中に 青 を押して、設定してください。（☞53ページ）

## 3Dグラスを装着する

●3Dグラスの装着方法や操作方法、お取り扱いについては、3Dグラスの取扱説明書をご覧ください。
●3D映像が正しく表示されない場合や3D映像を調整したいときは「3D設定」の内容を設定してください。
（? ガイド440）
●3Dグラスでの立体映像効果には個人差があります。

## 3D映像を見終わったあとは

●3Dグラスはグラスケースに入れ、湿度の高いところや温度が高くなるところを避けて保管してください。
3Dグラスのお手入れについては、3Dグラスの取扱説明書をご覧ください。

## 3D対応の動画・写真を視聴するとき

●3D映像対応機器（ディーガ、デジタルビデオカメラなど）を本機のHDMI端子やD4映像入力端子に接続して視聴できます。3D映像対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
●SDメモリーカードに保存した、3D対応の動画・写真を3Dで視聴できます。
●「3D自動切換」を「オン」に設定していると、動画・写真に3D信号がついていると自動的に3D動画・3D写真に切り換わります。自動で切り換わらないときは「3D」ボタンを押して切り換えてください。

## 2D映像を3D映像に変換するとき

●3D映像に変換できる放送や入力信号について（? ガイド441）

**操作について**

●3D映像の奥行き感を調整するときは「2D→3D変換効果」を切り換えてください。
（? ガイド443）

**お知らせ**

●映像によっては、正常に変換されない場合があります。
●この機能を使うと、機器側での映像変換によりオリジナルの映像と見えかたに差が出ますので、ご留意のうえお使いください。
●本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、当機能を利用して2D映像を3D映像に変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

# 3D映像を見る(つづき)

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

## 3Dグラス(別売品)

3Dグラス
(TY-EW3D2MW)

■品番(2011年1月現在発売中)

TY-EW3D10W
TY-EW3D2SW (サイズ:S)
TY-EW3D2MW (サイズ:M)
TY-EW3D2LW (サイズ:L)

## 使用上のご注意

●3Dグラスの近くで強い電磁波を生じる機器(携帯電話、ハンディ無線機など)を使用しないでください。誤動作の原因となります。

●3Dグラスに、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。正しい3D映像が見られないことがあります。

●高温あるいは低温では3Dグラスは十分な性能を発揮できません。
3Dグラスの取扱説明書に記載されている使用温度範囲をお守りください。

●蛍光灯をご使用の部屋で視聴すると、部屋全体の明かりがちらついて見えることがあります。
このような場合は、3Dリフレッシュレート(?ガイド363)を設定してください。

●3Dグラスは正しく装着してください。上下を反対にしたり、前後を逆にしたりすると、正しい立体像が見られません。

●3Dグラスをかけた状態では、他のディスプレイ(パソコン画面、デジタル時計、電卓など)の表示が見づらくなることがあります。3D映像以外は、3Dグラスを外して見てください。

## 設定・入力信号と映像の見えかたのイメージ

「3D方式切換」画面表示中、項目を切り換えて映像を切り換えることができます。

| 入力信号 / 設定項目 | フレームシーケンシャル | サイドバイサイド | トップアンドボトム | 2D映像(通常放送など) |
|---|---|---|---|---|
| オリジナル | A | A A | A / A | A |
| サイドバイサイド(3D) | A | A (正常な3D映像) | | |
| サイドバイサイド(2D) | A | A | | |
| トップアンドボトム(3D) | A | | A (正常な3D映像) | A |
| トップアンドボトム(2D) | A | | A | |

●接続している機器や放送によっては、上記の内容と違う場合があります。
●フレームシーケンシャル信号は、HDMI接続した3D対応ディーガでブルーレイ3D™対応ディスクを再生したときの3D信号です。
●サイドバイサイド信号は、当社製デジタルビデオカメラ(品番:HDC-TM750/650)で録画した3D映像などに付与されている3D信号です。
●トップアンドボトム信号は、上下に2つ並んだ映像を使って、3D映像に変換します。

# 外部機器の接続・設定

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

## ビエラリンク(HDMI)対応機器

| 接続する機器 | ケーブル [接続する端子] | 注意事項 | 参照 |
|---|---|---|---|
| ディーガ | HDMIケーブル [HDMI 1] | ●HDMIケーブルについて<br>・当社製を推奨します。(☞接続ガイド)<br>・HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。 | 接続ガイド 1 |
| CATVデジタルSTB | HDMIケーブル [HDMI 1] | | 接続ガイド 1 |
| スカパー! HD対応DVR | HDMIケーブル [HDMI 1] | ●接続後は必ずビエラリンク(HDMI)を有効にしてください。(「ビエラリンク(HDMI)制御」?ガイド822) | 接続ガイド 1 |
| シアター | HDMIケーブル [HDMI 1] | | 接続ガイド 2 |
| デジタルビデオカメラ | HDMIミニケーブル [HDMI 2] | ●最初に接続したときは「入力切換」を押して、HDMI入力に切り換えてください。 | 接続ガイド 3 |
| デジタルカメラ | HDMIミニケーブル [HDMI 2] | ●機器の操作をしたときに、本機の電源を「入」にするには「電源オン連動」を設定してください。(?ガイド822) | 接続ガイド 3 |
| ブルーレイディスクプレーヤーなど | HDMIケーブル [HDMI 1] | ●HDMI端子に同じ種類のビエラリンク(HDMI)対応機器を複数接続した場合は、番号の小さいHDMI端子に接続された機器が、ビエラリンク(HDMI)の操作対象になります。 | 接続ガイド 4 |
| パソコン | HDMIケーブル [HDMI 1] | | 接続ガイド 5 |

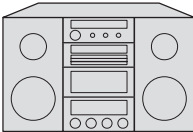
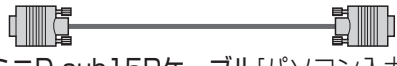
■HDMI端子について

●HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

●HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。アナログ音声をお使いになる場合、HDMI 1とビデオ入力2の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」(?ガイド823)と「ビデオ2音声入力設定」(?ガイド823)が必要です。

●対応している映像信号
480i、480p、720p、1080i、1080p
(24 Hz/59.94 Hz/60 Hz)

●対応している音声信号
種類：リニアPCM
サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

### ビエラリンク(HDMI)が正しく動作しないときは

接続した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。
HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、下記の操作をしてください。

①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す

② 入力切換 を押して、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する

③本機のリモコンで機器を操作してみる(?ガイド481)

### お好みで設定できます「ビエラリンク(HDMI)設定」(?ガイド822)

■電源オン連動
ディーガなどの操作に連動して本機の電源を入れます。

■電源オフ連動
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の電源を切ります。

■ECOスタンバイ
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の消費電力を最小にします。

■こまめにオフ
使わないときに、機器の電源を個別に自動的に切ります。

■電源オン時の音声出力
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、シアターに音声を出力します。

■ケーブルテレビ電源オン連動
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、CATVデジタルSTBの電源を入れます。

■ディーガの操作
ディーガ視聴中、本機のリモコンで操作できるボタンを増やします。

■テスト(ディーガ電源オン／ディーガ電源オフ)
ディーガの動作を確認できます。

■メニュー表示方法
「ビエラリンクメニュー」の表示形式を変更します。

お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)で本機とシアターを接続時、ビエラリンク(HDMI)で接続した他の機器からの音声が5.1chのときは、本機のデジタル音声出力(光)端子とHDMI 1端子(ARC対応)より5.1chで出力します。(ディーガはビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応している機種のみ対応)

# 外部機器の接続・設定（つづき）

## ビエラリンク（HDMI）非対応機器

| 接続する機器 | ケーブル ［接続する端子］ | 注意事項 | 参照 |
|---|---|---|---|
| オーディオ機器 | 光デジタルケーブル<br>［デジタル音声出力（光）］<br>●折り曲げないでください。 | ●デジタル音声入力（光）端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。<br>●ドルビーデジタルやAAC対応のときは「デジタル音声出力」の設定が必要です。（[?]ガイド823） | 接続ガイド 6 |
| オーディオ機器 | ステレオ音声コード<br>［ビデオ入力2/音声出力］ | ●アナログ音声入力端子を持つオーディオ機器に接続することができます。<br>●「ビデオ2音声入出力設定」の設定が必要です。（[?]ガイド823） | 接続ガイド 6 |
| DVDプレーヤーなどの再生機器 | D端子付き<br>D端子映像コード［D4映像入力］<br>ステレオ音声コード［ビデオ入力1］ | | 接続ガイド 7 |
| DVDプレーヤーなどの再生機器 | D端子なし<br>映像/音声コード［ビデオ入力2］ | | 接続ガイド 7 |
| DVDプレーヤーなどの再生機器 | HDMI対応<br>HDMIケーブル<br>［HDMI 1］ | ●HDMI端子について（☞54ページ）<br>●DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルを使い、ビデオ入力2の音声入力端子にステレオ音声コードを接続し、「HDMI音声入力設定」（[?]ガイド823）と「ビデオ2音声入出力設定」（[?]ガイド823）を行ってください。 | 接続ガイド 7 |
| ビデオカメラ<br>デジタルカメラ | 映像/音声コード<br>［ビデオ入力2］ | ●専用ケーブルが必要な場合があります。 | 接続ガイド 7 |
| パソコン | ミニD-sub15Pケーブル［パソコン入力］<br>音声コード（音声出力があるとき）<br>［ビデオ入力2］ | ●本機が対応しているパソコン信号（[?]ガイド113）<br>●音声出力がある場合は、「ビデオ2音声入出力設定」の設定が必要です。（[?]ガイド823） | 接続ガイド 8 |

## お好みで設定できます

**■HDMI RGBレンジ設定**
（[?]ガイド823）
HDMI端子から入力された映像の暗い部分を見やすく設定します。

**■HDMI画質連動設定**
（[?]ガイド823）
HDMI端子から入力された映像に合わせて、画質を調整します。

**■HDMI音声入力設定**
（[?]ガイド823）
DVI対応機器でビデオ入力２の音声入力端子に接続したとき、アナログ音声が楽しめます。

**■ビデオ入力表示書換**
（[?]ガイド823）
「入力切換」ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えます。

**■ビデオ2音声入出力設定**
（[?]ガイド823）
ビデオ入力2の音声端子を出力端子として使用するか、入力端子として使用するかを設定します。

**■デジタル音声出力**
（[?]ガイド823）
ドルビーデジタル、AAC対応のオーディオ機器を接続したとき、出力の種類を選びます。

**■モニター音声出力停止設定**
（[?]ガイド823）
ビデオ2の音声端子に接続した録画機器への音声出力を停止するときに使います。

**■入力自動スキップ**
（[?]ガイド823 外部入力スキップ設定）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、接続していない端子を飛ばします。

**■PCスキップ**
（[?]ガイド823 外部入力スキップ設定）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「PC」を飛ばします。設定後にパソコンを接続したときは、「オフ」に戻してください。

**■HDMIスキップ**
（[?]ガイド823 外部入力スキップ設定）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「HDMI」を飛ばします。設定後にHDMI対応機器を接続したときは、「オフ」に戻してください。

**■ビデオ入力端子について**

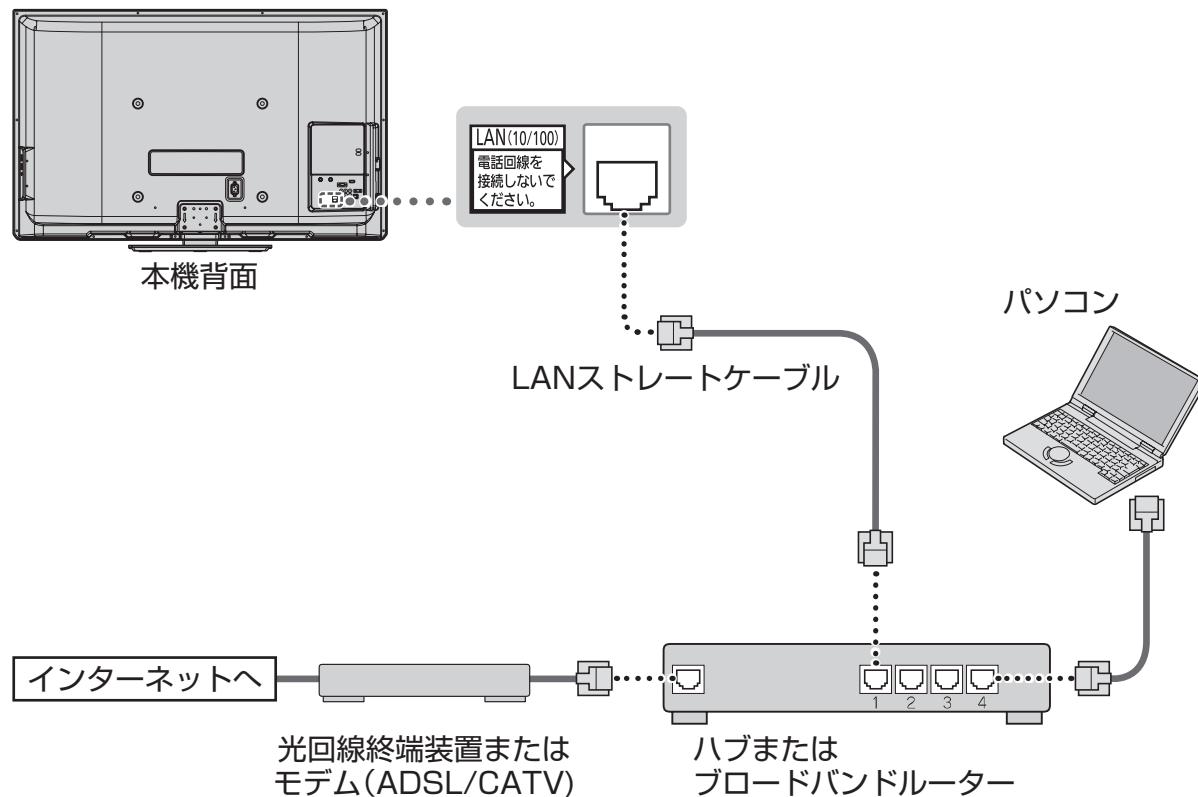
背面　：ビデオ入力1～2
●DVDプレーヤーなどの映像と音声の出力端子に接続します。

D4映像入力端子（ビデオ入力1のみ）
●映像入力端子よりも、色のにじみが少なく高画質に再生できます。
●DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
●ビデオデッキなどの「Y、$P_B$、$P_R$」「Y、$C_B$、$C_R$」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ーピン映像コード（RP-CVCDG15：別売品）で接続できます。
●対応している信号：480i、480p、720p、1080i
●「D4映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「D4映像」の画像が優先されます。
●「D4映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

ビデオ入力2の音声端子について
●音声出力端子として使うことができます。「ビデオ2音声入出力設定」の設定が必要です。（[?]ガイド823）
●アナログアンプなどの音声入力端子に接続します。
●以下の信号を視聴時に出力します。
・本機で受信できる放送の音声（ハイビジョン放送はアナログ放送と同程度の音質になります）
・ビデオ入力に接続した機器の音声
・D端子に接続した機器の音声
・HDMI入力に接続した機器の音声

# インターネットへの接続・設定

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

## インターネットへ接続するときの一例

●上記は一般的な接続例です。詳しくはご契約回線の利用規約などに従い接続・設定をしてください。
●ルーター機能がない光回線終端装置またはモデムをご利用の場合は、ブロードバンドルーターをご用意ください。
光回線終端装置またはモデムにルーター機能が付いているかご不明な場合は、光回線終端装置またはモデムの取扱説明書をご確認いただくか、ご契約の回線事業者またはプロバイダーにお問い合わせください。
(ルーター機能がついている機器が2台以上あると、正常に動作しません。)
●無線LANで接続するときの一例は、62ページをご参照ください。

## インターネット

### 接続後の設定

■かんたんネットワーク設定
●42ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。
(かんたんネットワーク設定の内容☞83ページ)
●個別に設定するとき:IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定(?ガイド753)

■設定に必要なとき
●本機のMACアドレスを確認する。(?ガイド766)

お知らせ

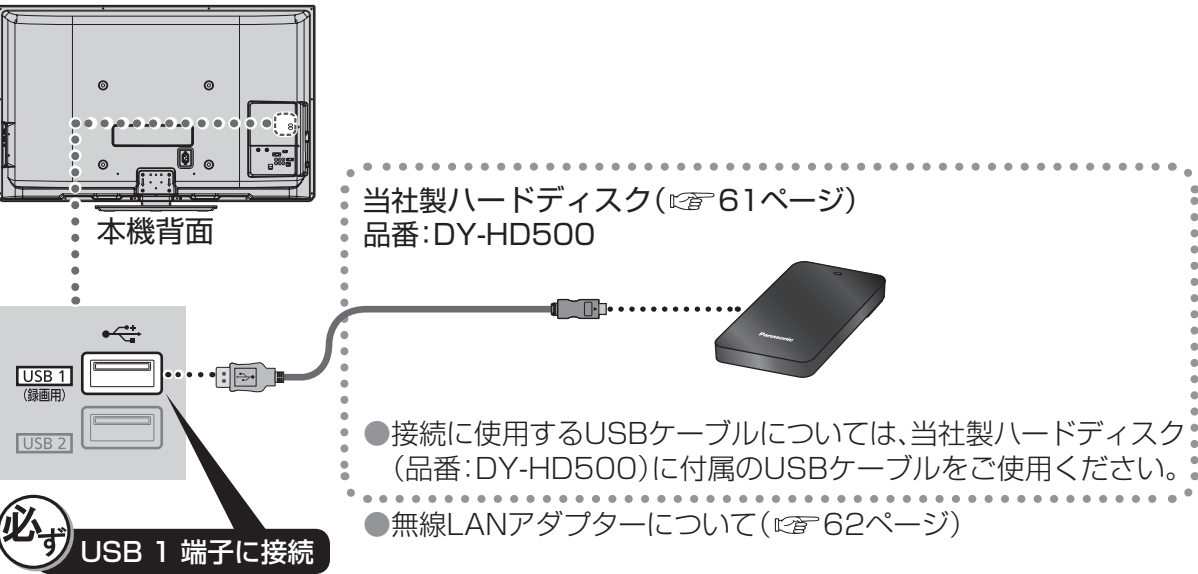
●光ファイバー(FTTH)、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約(有料)していただく場合があります。詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。
●プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
●電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
●ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。(100BASE-TX用の機器を使用する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。)
●本機ではインターネット(LAN)接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
●本機に接続したDHCPでのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
●本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。
時間をおいて(約3分間)再度試してください。
●SDメモリーカード挿入口に、無線LAN対応カードを接続しても使えません。

動画視聴についてのお知らせ

●動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTTH)でのブロードバンド環境が必要です。
・100BASE-TX対応のハブまたはブロードバンドルーターと、「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。
・PLCを使わずにLANケーブルまたは別売の当社製無線LANアダプターでのご使用をおすすめします。

# USB機器の接続・設定

電子説明書の使いかた（☞6ページ）

## USBハードディスクを接続するときの一例

■USB端子について

●当社製ハードディスクなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。本機で動作確認済の機器について（☞61ページ）

●USB端子から機器を外すときは、メニュー操作で機器を取り外せる状態にするか、本体の電源を「切」にしてから行ってください。〔USB HDD機器一覧（?ガイド856）〕

本機ではUSBハードディスクを使用して、下記のことができます。

**デジタル放送を録画・再生する**（☞18、20ページ、?ガイド605、870、874）

●録画用として登録してご使用ください。（?ガイド856）

●録画用として使用できるのは容量が160 GB以上のUSBハードディスクです。

●本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でしか再生できません。他のテレビ（同じ品番のテレビを含む）やパソコンなどに接続して再生することはできません。

●本機でお使いいただくUSBハードディスクは本機専用として使用してください。本機専用で使用中のUSBハードディスクを、他の機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存したデータがすべて削除されます。

お知らせ

●USBハードディスクを本機に接続して録画用として登録すると、本機専用のハードディスクとして初期化します。それまでUSBハードディスク内に保存していたデータはすべて消去されます。

●登録を一度解除したUSBハードディスクを録画用として再使用する場合は、もう一度登録・フォーマットが必要です。録画していた番組はすべて消去されます。

**パソコンなどでハードディスクに保存した写真(画像)や動画を、テレビ画面で見る**（☞21ページ、?ガイド121、580）

●録画用として登録しないで、そのままご使用ください。登録すると本機専用にフォーマットされるため、保存されている写真や動画などがすべて削除されます。

## USBハードディスク

| 接続する機器 | 特長 | 参照 |
| --- | --- | --- |
| 当社製<br>ハードディスク<br>品番：DY-HD500 | ●本機に接続して番組を録画したり、録画した番組などを再生できます。<br>また、録画した番組はネットワーク経由でディーガにダビングできます。（☞22ページ）<br>●録画可能時間の目安<br>・BS HD（24 Mbps）約43時間<br>・地上D HD（17 Mbps）約60時間 | 接続ガイド 9 |

●本機で動作確認済のUSB機器については、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2011年1月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。「動作確認情報一覧」→『VIERA「プラズマテレビ」』→『「TH-○○○○」の接続検証』から、機器を選ぶ。

### 接続後の設定

初めてUSBハードディスクを接続したときは、録画用として登録・フォーマットするかどうか確認の画面が出ます。録画用として使うときは、画面の表示に従って、登録・フォーマットしてください。（本機に登録できるUSBハードディスクは8台までです。）
録画用として登録しないときは、USBハードディスクに保存された動画や写真を見ることができます。

■USB HDD機器一覧

●本機に登録したUSBハードディスクの管理（登録の削除・取り外しなど）をしたいとき。（?ガイド856）

### USBハードディスクに関するご注意

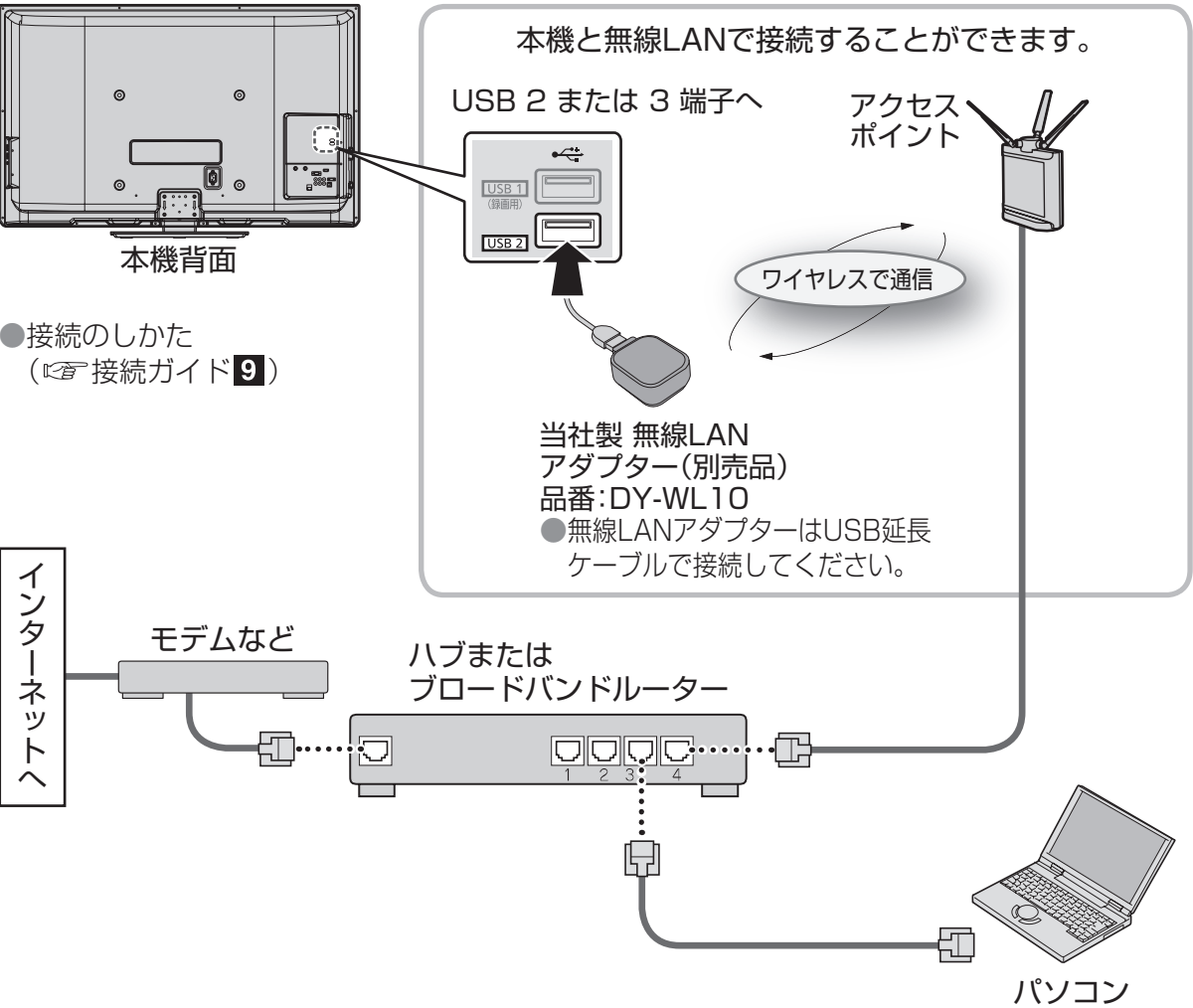
●録画できる最大番組数は3000番組です。

●USBハードディスクの動作中は、USBケーブルを抜いたり本機の電源を切らないでください。保存した内容が消えたり、USBハードディスクが故障することがあります。USBハードディスクの取扱説明書も合わせてご覧ください。

●USBハブを使って複数のUSBハードディスクを同時に接続することはできません。（本機に登録できるUSBハードディスクは8台ですが、一度に使用できるUSBハードディスクは1台です。）

●当社製ハードディスクは、付属のUSBケーブルが届く範囲で安定した水平な場所に設置してください。
（壁掛け設置時などはUSBケーブルが当社製ハードディスクの設置場所に届かないことがあります。）

# 無線LANの接続・設定

●接続のしかた
(☞ 接続ガイド **9**)

■USB端子について

●当社製無線LANアダプターなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。
本機で動作確認済の機器について(☞63ページ)

●USB端子に機器を接続したり、USB端子から機器を外すときは、本体の電源を「切」にしてから行ってください。

## 無線LAN機器

| 接続する機器 | 特長／対応機器 | 参照 |
|---|---|---|
| 無線LANアダプター | ●USB端子に接続すると、無線LANでネットワークに接続できます。<br>(別途、無線LANアクセスポイントが必要です)<br>当社製無線LANアダプター　DY-WL10 | 接続ガイド **9** |

●上記の品番は2011年1月現在発売中のものです。
●本機との接続に対応した無線LANアダプターとアクセスポイントが別途必要です。
対応した無線LANアダプターについては、以下のホームページでご覧になれます。
(2011年1月現在)
http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。「動作確認情報一覧」→『VIERA「プラズマテレビ」』→『「TH-○○○○」の接続検証』から無線LANアダプターを選ぶ。

### 接続後の設定

■かんたんネットワーク設定

●42ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。
(かんたんネットワーク設定の内容☞83ページ)

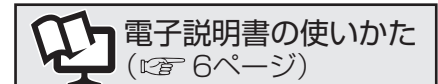
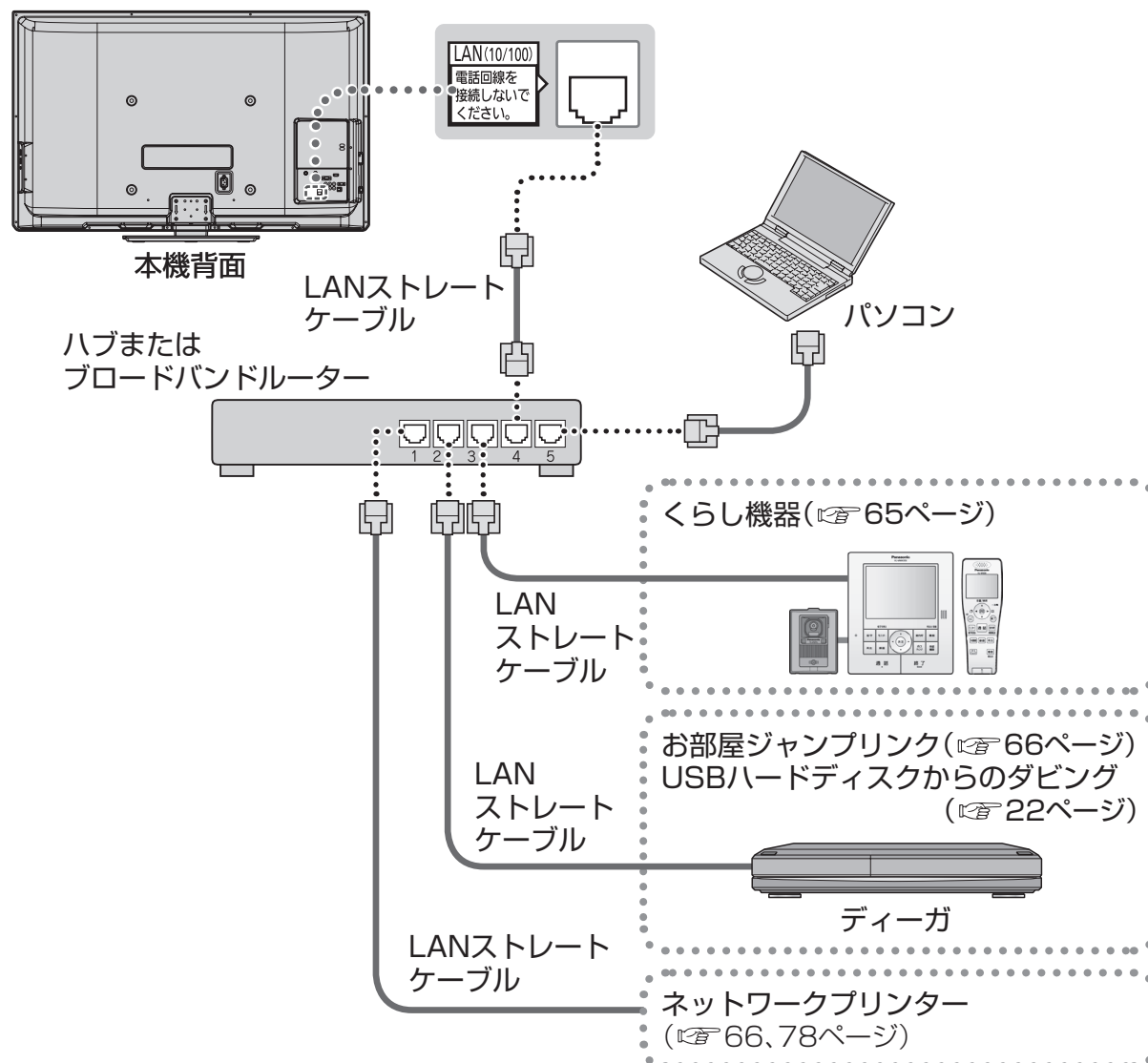
●個別に設定するとき:LAN接続形態(? ガイド764)

■無線LANについて

●アクセスポイントはAOSS™かWPS※対応であることをご確認ください。(AOSS™、WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。)詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
●無線LANアダプターとアクセスポイント間の無線方式は、11n(5 GHz)を推奨します。
11a、11b、11g、11n(2.4 GHz)でも通信できますが、通信速度が遅くなることがあります。
●アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコンなど)が接続できなくなることがあります。
●無線LANアダプターはUSB延長ケーブルで接続してください。
●無線LANアダプターは良好な電波状態が確保できる場所に設置してください。
●通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
●無線LANのセキュリティ設定(暗号化設定)を行っていない場合、USBハードディスクから無線LANを経由してのダビングはできません。
●電波を使う機器から離してください。
電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。
•電子レンジ　•他の無線LAN機器　•Bluetooth® 対応機器　•その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器(デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)

※「WPS」は「Wi-Fi Protected Setup™」の略です。

# ネットワーク機器の接続・設定

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

## ネットワーク機器を接続するときの一例

お知らせ

- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
- ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。(100BASE-TX用の機器を使用する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。)
- 本機に接続したDHCPでのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- 本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続していると き、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。
時間をおいて(約3分間)再度試してください。
- くらし機器によっては、インターネットへの接続が必要な場合があります。くらし機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。(インターネットへの接続・設定☞58ページ)



## くらし機器

| 接続する機器 | 特長／対応機種品番 | 参照 |
|---|---|---|
| 当社製<br>テレビドアホン | ●本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。<br>ワイヤレスモニター付　VL-SWN350KL<br>VL-SWN352KL<br>パーソナルファクス付　VL-SWN355KL | 接続ガイド 9 |
| 当社製<br>センサーカメラ | ●デジタルビデオカメラなどにセンサーを搭載し、反応したときに撮影します。<br>●本機に接続すると、テレビ画面に画像を表示して、屋外や離れた部屋の様子を確認できます。<br>H.264対応センサーカメラ　VL-CM210、VL-CM240、VL-CM260 | |
| 当社製<br>ドアホン用<br>PLCアダプター | ●本機とテレビドアホンをPLCアダプターを利用して接続すると、テレビドアホンからの画像をテレビ画面に表示します。<br>●PLCとは、既存の電力線(屋内電気配線)を利用して、データ通信を行う技術です。<br>●電力線の使用状態によっては、使用できないまたは、通信が不安定なコンセントがあります。<br>ドアホン用PLCアダプター　VL-SP880<br>※対応するテレビドアホンはドアホン用PLCアダプターの取扱説明書をご覧ください。 | |
| パナソニック電工株式会社製<br>ネットアダプタ<br>(玄関番用)<br>ライフィニティ システム<br>(くらし安心ホームパネル／宅内コントロールアダプタ) | ●本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。<br>●「ライフィニティ」とは、住戸内の各設備機器をLANで接続することで実現する、安心・便利なくらしの形です。<br>対応機器の詳細については<br>http://panasonic.jp/Lif をご覧ください。 | |

●上記の品番は2011年1月現在発売中のものです。

### 接続後の設定

■かんたんネットワーク設定
- 42ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。(かんたんネットワーク設定の内容☞83ページ)
- 個別に設定するとき：くらし機器を有効にする(?ガイド773)
くらし機器を登録する(?ガイド779)
ビエラリンクメニューに表示する(?ガイド782)

■くらし機器映像の自動表示(?ガイド773)
呼び出し時に、自動で画像を表示したいとき。

■通知時の表示サイズ(?ガイド773)
呼び出し時の画像の表示サイズを選びたいとき。

■通知表示設定(?ガイド773)
ドアホン来客時やセンサーカメラ検知時に、通知を受けたいとき。

# ネットワーク機器の接続・設定（つづき）

## お部屋ジャンプリンク

| 接続する機器 | 特長／対応機種 | 参照 |
|---|---|---|
| ディーガ | ●本機にLANケーブルで接続（☞64ページ）すると、ディーガのハードディスクに保存した映像などを本機で再生できます。<br>また、録画予約情報をディーガに転送できます。<br>対応する機種については、以下のホームページでご覧になれます。（2011年1月現在）<br>http://panasonic.jp/support/ を開く。<br>「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。 | 接続ガイド 9 |

### 接続後の設定

■ネットワーク連携設定（?ガイド793）
- ●本機の名称変更
- ●お部屋ジャンプリンク リモート制御
- ●お部屋ジャンプリンク リモート音量制御
- ●ネットワークリモコン

■設定に必要なとき
- ●本機のMACアドレスを確認する。（?ガイド766）

※ディーガ側の設定も必要です。
詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。

## ネットワークプリンター

| 接続する機器 | 特長／対応機種 | 参照 |
|---|---|---|
| ネットTV端末仕様（印刷機能）に対応したプリンター<br>（ネットワークテレビの仕様の1つである印刷機能に対応しているプリンターのことです。） | ●デジタル放送やアクトビラを通じて提供される情報、SDメモリーカードに保存された写真、表示中の電子説明書の内容を印刷できます。<br>接続できる機器については、以下のホームページでご覧になれます。（2011年1月現在）<br>http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。<br>「動作確認情報一覧」→「ネットTV対応」→「ネットTV対応ビエラ一覧/対応プリンター」を選ぶ。 | 接続ガイド 9 |

### 接続後の設定

■かんたんネットワーク設定
- ●42ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。（かんたんネットワーク設定の内容 ☞83ページ）

■ネットワークプリンター設定（?ガイド783）
用紙の設定やプリンターの切り換えなどをしたいとき。



# インターネットを使う

本機をブロードバンド環境に接続すると、テレビ向けのインターネット・サービス「アクトビラ」を楽しむことができます。

## 本機をネットワークに接続する

すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、本機のLAN端子とルーターなどのLAN端子を接続してください。

**LANストレートケーブルでの接続**（☞接続ガイド 9）
- ●本機のLAN端子へ接続（接続・設定 ☞58、59ページ）

**無線LANアダプターでの接続**（☞接続ガイド 9）
- ●本機のUSB端子へ接続（接続・設定 ☞62、63ページ）

## 本機の設定をする

**かんたんネットワーク設定をする**（☞42ページ）
- ●画面の指示に従って操作してください。（かんたんネットワーク設定の内容 ☞83ページ）

「アクトビラ」の操作については ☞68ページ

# インターネットを使う(アクトビラ)

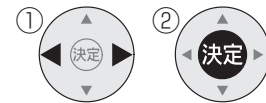
電子説明書の使いかた(☞6ページ)
※「アクトビラ」中は表示できません。

**まず、ご確認を。**
●接続はお済みですか?(☞58ページ、接続ガイド9)
●かんたんネットワーク設定はお済みですか?(☞42、83ページ)

## アクトビラの基本操作

**1** ネット を押す

●インターネットの画面を表示。

**2** 「アクトビラ」を選び、「決定」を押す

(イメージ例)

●ポータルサイトを表示。

**3** 見たい項目を選び、「決定」を押す

選んでいる項目が強調される

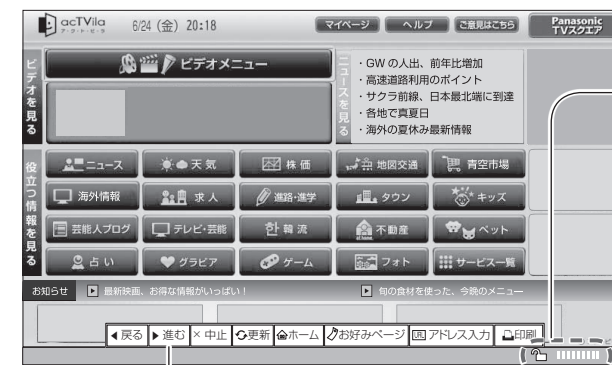
●①と②を繰り返し、見たい情報のホームページへ。

■終了するとき 元の画面 または チャンネル を押す。
(テレビ画面に戻る)

## 初めて使うときは

上記手順2で「アクトビラ」を選ぶと端末情報が送信されます。
アクトビラのご案内画面の指示に従ってください。

●長期間ポータルサイトを表示しなかったときも、ご案内画面が表示されることがあります。
●端末情報は、郵便番号(かんたん設置設定で登録)や端末の識別ID(本機に組み込まれた番号)が含まれます。

■画面の見かた

ステータス表示(画面表示を押すと表示)

ページの読み込み状況(読み込みに時間がかかる場合があります)

ページのセキュリティ
：通常
：セキュリティで保護

ネット操作パネル(サブメニュー S を押すと表示☞70ページ)

■動画コンテンツについて
●有料サービスの場合があります。
●ご利用環境・通信速度などにより、映像が乱れたり途切れる場合があります。
●購入履歴など個人情報の削除は「個人情報リセット」(? ガイド742)

■ページの音声再生について(音声コンテンツがある場合)
●モノラルで再生されます。動画コンテンツは、コンテンツの音声形式に従って再生されます。
●再生できる音声形式は(? ガイド200)

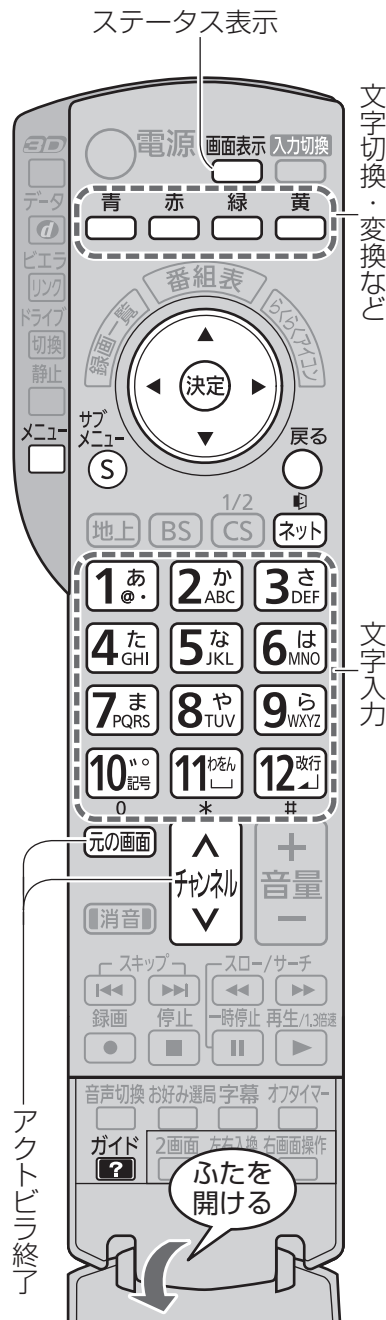
■個人情報について
●クレジットカードの番号や氏名などを入力するときは、ページの提供者が信用できるか十分注意してください。
●登録した情報は、ホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合は登録時の規約などに従って、必ず消去してください。

## インターネットの閲覧制限機能について

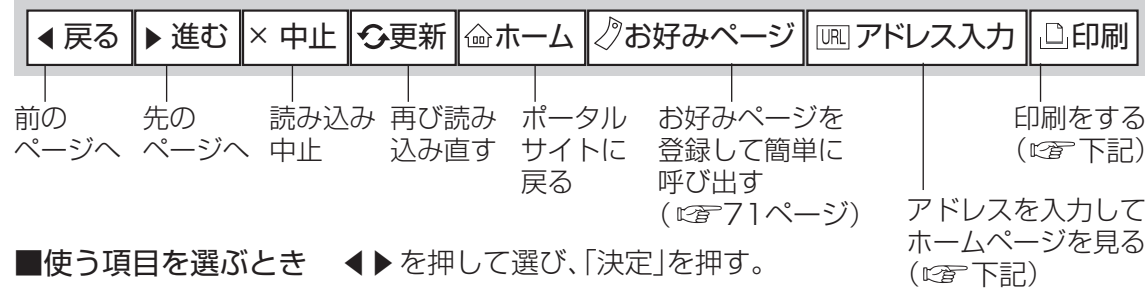
本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

■表示させるホームページを制限したいとき(パスワードロック機能)
①「メニュー」を押す。
②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す。
③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す。
④▲▼で「制限項目設定」を選び、「決定」を押す。
⑤暗証番号を入力する。(? ガイド387)
⑥▲▼で「ブラウザ制限」を選び、◀▶で下記の制限内容を選ぶ。

| | |
|---|---|
| すべて制限 | インターネットの利用に暗証番号の入力が必要 |
| アドレス入力制限 | アドレス入力に暗証番号の入力が必要 |
| 無制限 | 接続制限なし(暗証番号の入力が不要) |

⑦「元の画面」を押して、テレビ画面に戻す。
(設定内容は、一度インターネットを終了しないと反映されません)

# ネット操作パネルを使う(アドレス入力)

「アクトビラ」中に サブメニュー(S) を押すと、
画面下に「ネット操作パネル」を表示

| ◀戻る | ▶進む | × 中止 | 更新 | ホーム | お好みページ | URL アドレス入力 | 印刷 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 前のページへ | 先のページへ | 読み込み中止 | 再び読み込み直す | ポータルサイトに戻る | お好みページを登録して簡単に呼び出す(☞71ページ) | アドレスを入力してホームページを見る(☞下記) | 印刷をする(☞下記) |

■使う項目を選ぶとき　◀▶を押して選び、「決定」を押す。

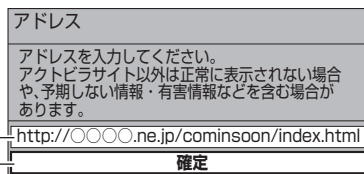
■消すとき　サブメニュー(S) を押す。

## アドレスを入力してホームページを見る

①上記の「ネット操作パネル」から◀▶で「アドレス入力」を選び、「決定」を押す

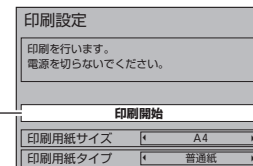
②アドレス(URL)を入力する
(文字入力☞72～75ページ)

③▲▼で「確定」を選び、「決定」を押す

アドレス
アドレスを入力してください。
アクトビラサイト以外は正常に表示されない場合や、予期しない情報・有害情報などを含む場合があります。
http://○○○○.ne.jp/cominsoon/index.html
確定

## アクトビラの画面を印刷する

①印刷したいホームページを見ているときに
上記の「ネット操作パネル」から◀▶で「印刷」を選び、「決定」を押す

②設定内容を確認し、
▲▼で「印刷開始」を選び、
「決定」を押す

●印刷開始時に「プリンターが見つかりませんでした。」と表示された場合は、
プリンターの電源を確認してから、再度印刷開始してください。

お知らせ

●アクトビラやTSUTAYA TVなどのテレビ用コンテンツ以外のホームページは、正確に表示されないことがあります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれる場合があります。
●表示させるホームページを制限するには(☞69ページ)



# (お好みページを使う)

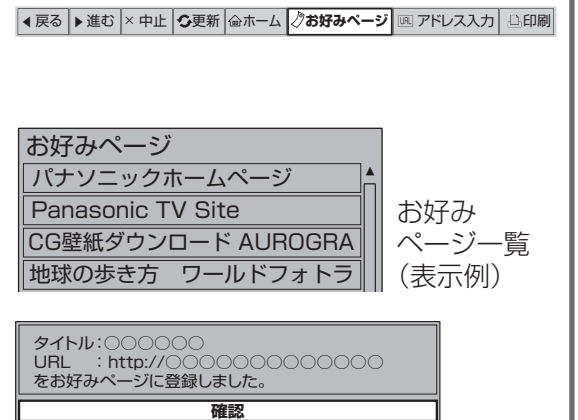
## 「お好みページ」に登録する(20件まで)

①登録したいホームページを見ているときに
70ページの「ネット操作パネル」から◀▶で「お好みページ」を選び、「決定」を押す

②青 を押す

お好みページ一覧(表示例)

③内容を確認して「決定」を押す

タイトル:○○○○○○
URL　:http://○○○○○○○○○○○○○
をお好みページに登録しました。
確認

●「これ以上登録できません。」と表示されたときは、不要なお好みページを選び、「黄」ボタンを押し、「はい」を選んで、「決定」を押すと削除されます。

## 「お好みページ」を呼び出す・編集する・削除する

①70ページの「ネット操作パネル」から◀▶で「お好みページ」を選び、「決定」を押す

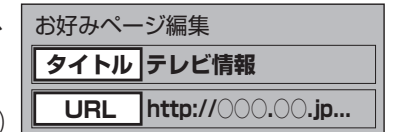
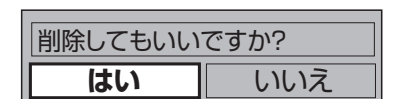
②お好みページ一覧から▲▼でページを選び、「決定」を押す
●ページが表示されます。

お好みページ一覧(表示例)

お好みページ
パナソニックホームページ
Panasonic TV Site
CG壁紙ダウンロード AUROGRA
地球の歩き方　ワールドフォトラ

タイトルを表示

■タイトルやURLを変更するとき
1)お好みページ一覧から変更したいページを▲▼で選び、「緑」ボタンを押す。
2)▲▼で「タイトル」または「URL」を選び、「決定」を押す。
3)文字を削除し、入力し直す。(文字入力☞72～75ページ)
4)「決定」を押す。
5)確認したら「戻る」を押す。

お好みページ編集
タイトル　テレビ情報
URL　http://○○○.○○.jp...

■削除するとき
1)お好みページ一覧から削除したいページを▲▼で選び、「黄」ボタンを押す。
2)確認画面で◀▶を押して「はい」を選び、「決定」を押す。
3)確認したら「戻る」を押す。

お知らせ

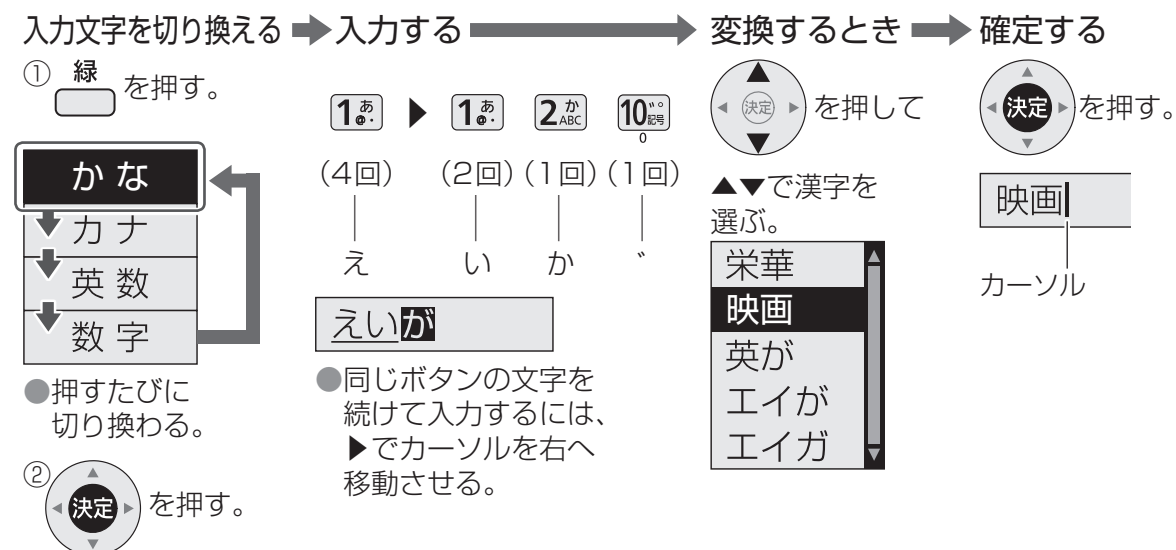
●登録したホームページが提供者の都合でなくなったり、アドレス(URL)が変更された場合は表示されません。
●「個人情報リセット」(?ガイド742)を行うと、すべて削除されます。

# 文字を入力する

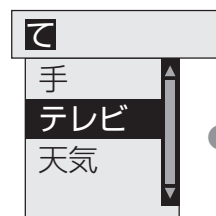
文字入力方法には２種類あります。

## リモコンボタン(携帯電話)方法（工場出荷時）

リモコンの数字ボタンを使い、
携帯電話と同じような操作で入力します。

●文字入力一覧表（☞75ページ）

■文節を分けて変換するとき
▲▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。　えいが

■記号を入力するとき
「きごう」と入力して▲▼を押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき
（「予測方式」／「通常方式」の切り換えは☞74ページ）
①1文字入力すると候補を表示。
②▼▲で選び、「決定」を押す。

●「緑」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき
英数モード(半角)で入力し、▲▼で変換する。

■文字を追加するとき 追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。

■文字を削除するとき 削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。



## 画面キーボード方法（文字入力方法の選択☞74ページ）

| 改行 | ー | ゃ | ぁ | わ | ら | や | ま | は | な | た | さ | か | あ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 空白 | 「 | ゅ | ぃ | を | り | ゆ | み | ひ | に | ち | し | き | い |
| キーボード移動 | 」 | ょ | ぅ | ん | る | よ | む | ふ | ぬ | つ | す | く | う |
| 入力位置移動 | ! | っ | ぇ | 、 | れ | ゛ | め | へ | ね | て | せ | け | え |
| | ? | ゎ | ぉ | 。 | ろ | ゜ | も | ほ | の | と | そ | こ | お |

画面上にキーボードを表示して◀▶▲▼で文字や項目を選び、入力します。

●キーボードを消すときは、「赤」ボタンを押す。

●キーボードの位置を移動させるときは、◀▶▲▼で「キーボード移動」を選び、「決定」を押す。（左下または右上に移動）

入力文字を切り換える ➡ 入力する ➡ 変換するとき ➡ 終了する

緑 を押す。

かな
カナ
英数

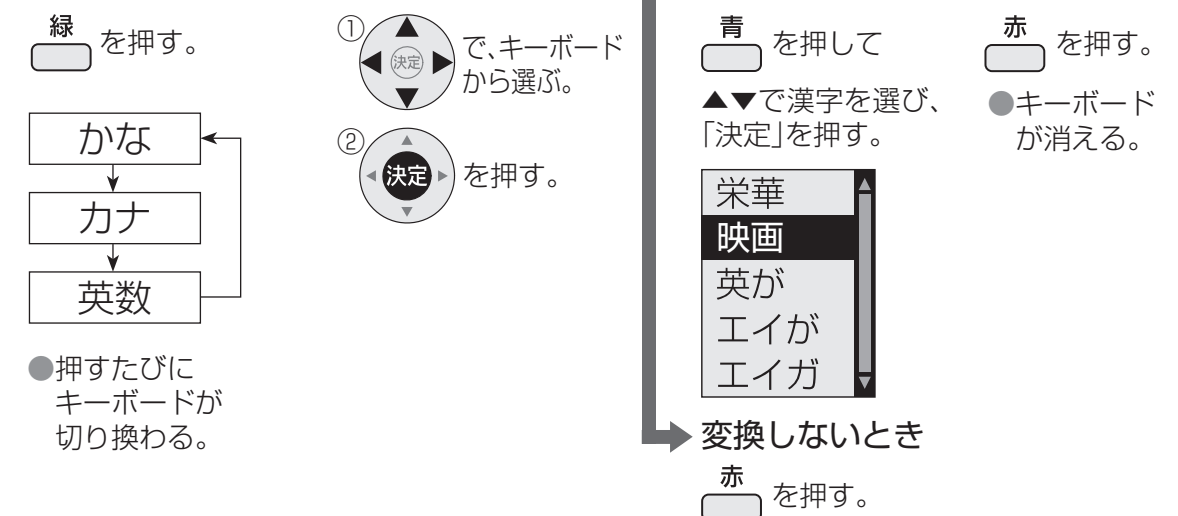
●押すたびにキーボードが切り換わる。

① 決定 で、キーボードから選ぶ。
② 決定 を押す。

青 を押して
▲▼で漢字を選び、「決定」を押す。

栄華
映画
英が
エイが
エイガ

赤 を押す。
●キーボードが消える。

変換しないとき
赤 を押す。

■文節を分けて変換するとき
「青」ボタンで変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。　えいが

■記号を入力するとき
「きごう」と入力して「青」ボタンを押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき（「予測方式」／「通常方式」の切り換えは☞74ページ）
①文字を選び、「決定」を押すと、キーボード上に候補を表示。
②◀▶▲▼で選び、「決定」を押す。

●「青」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき
英数モード(半角)で入力し、「青」ボタンを押して変換する。

■文字を追加するとき ①キーボードの「入力位置移動」を選び、「決定」を押す。
②追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、「決定」を押す。
③文字を入力する。

■文字を削除するとき 上記「文字を追加するとき」①のあと、削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

# 文字を入力する（つづき）

## 文字入力方法を選ぶ

① メニュー を押す

②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す

VIErA ビエラ メニュー
画質を調整する / 音声を調整する / 番組を探す/予約する / 設定する / エコナビ
3D設定 / 画面の設定 / 音声の設定 / システム設定 / 初期設定

④▲▼で「文字入力設定」を選び、「決定」を押す

システム設定
字幕の設定 / 制限項目設定 / 文字入力設定 / 選局対象 すべて

⑤▲▼で「入力方法」を選び、◀▶で「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選ぶ

文字入力設定
入力方法 リモコンボタン
変換方式 通常方式

画面上にキーボードを表示させて入力したいときは「画面キーボード」を選ぶ（☞73ページ）

（終わったら 戻る を数回押す）

## 変換方式を選ぶ

① メニュー を押す

②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す

VIErA ビエラ メニュー
画質を調整する / 音声を調整する / 番組を探す/予約する / 設定する / エコナビ
3D設定 / 画面の設定 / 音声の設定 / システム設定 / 初期設定

④▲▼で「文字入力設定」を選び、「決定」を押す

システム設定
字幕の設定 / 制限項目設定 / 文字入力設定 / 選局対象 すべて

⑤▲▼で「変換方式」を選び、◀▶で「通常方式」または「予測方式」を選ぶ

文字入力設定
入力方法 リモコンボタン
変換方式 通常方式

1文字の入力で変換候補を表示したいときは「予測方式」を選ぶ（☞72、73ページ）

（終わったら 戻る を数回押す）



## リモコンボタン方法での文字入力一覧表

| ボタン | かな | カナ | 英数 | 数字 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 あ @. | あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1 | ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1 | @ . / : ˜ _ 1 | 1 |
| 2 か ABC | か き く け こ 2 | カ キ ク ケ コ 2 | a b c A B C 2 | 2 |
| 3 さ DEF | さ し す せ そ 3 | サ シ ス セ ソ 3 | d e f D E F 3 | 3 |
| 4 た GHI | た ち つ て と っ 4 | タ チ ツ テ ト ッ 4 | g h i G H I 4 | 4 |
| 5 な JKL | な に ぬ ね の 5 | ナ ニ ヌ ネ ノ 5 | j k l J K L 5 | 5 |
| 6 は MNO | は ひ ふ へ ほ 6 | ハ ヒ フ ヘ ホ 6 | m n o M N O 6 | 6 |
| 7 ま PQRS | ま み む め も 7 | マ ミ ム メ モ 7 | p q r s P Q R S 7 | 7 |
| 8 や TUV | や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8 | ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8 | t u v T U V 8 | 8 |
| 9 ら WXYZ | ら り る れ ろ 9 | ラ リ ル レ ロ 9 | w x y z W X Y Z 9 | 9 |
| 10 ゛゜ 記号 0 | 、 。 ? ! ・ （ ） 0 | 、 。 ? ! ・ （ ） 0 | ─ , ; ’ ” ? ! （ ） & ¥ 0 | 0 |
| 11 わをん ␣ * | わ を ん ゎ ー スペース | ワ ヲ ン ヮ ー スペース | スペース | * |
| 12 改行 # | 改行 | 改行 | 改行 | # |

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは 1 を2回押す）
未確定の文字があるときに 12 を押すと、表の逆順で文字が変わります。

●濁点（゛）や半濁点（゜）を入力するときは、文字に続けて 10 を押す。

# お部屋ジャンプリンクを使う

電子説明書の使いかた（☞6ページ）

対応機種：お部屋ジャンプリンクに対応した当社製ディーガ

**まず、ご確認を。**
●接続はお済みですか?（☞64、66ページ、接続ガイド9）

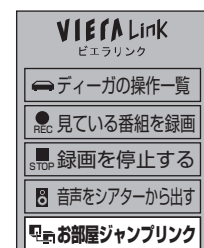
テレビ画面に戻る

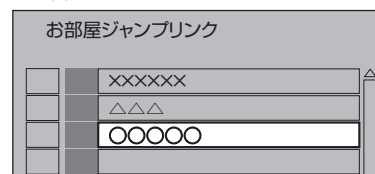
## ディーガの映像を再生する

●ディーガに保存している映像を再生するには、ディーガへの登録が必要な場合があります。
詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。

**1** ビエラリンク を押す

**2** 「お部屋ジャンプリンク」を選択し、「決定」を押す

「ビエラリンク」メニュー

**3** 再生したいディーガを選択し、「決定」を押す

「お部屋ジャンプリンクサーバー一覧」画面

●選択したディーガの画面を表示します。
●以降の操作はディーガの取扱説明書をご覧ください。

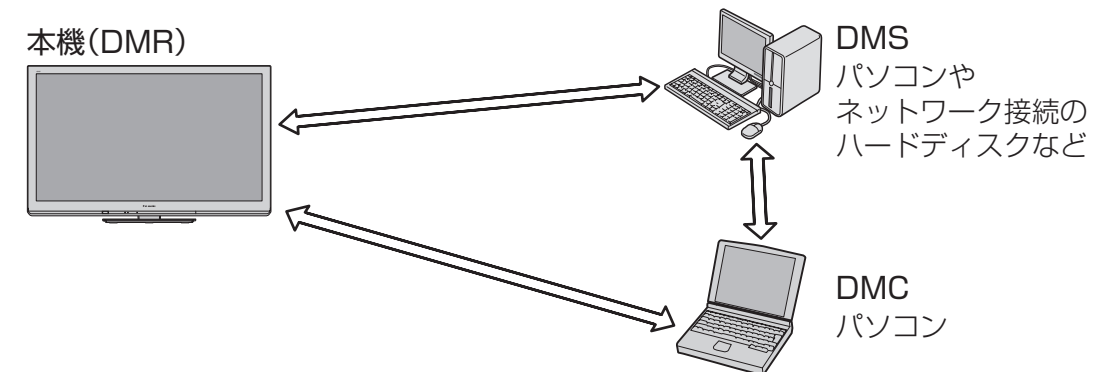
（終わったら 元の画面 を押す）

### お知らせ

●お部屋ジャンプリンクで再生できるコンテンツについては、以下のホームページでご覧になれます。(2011年1月現在)
http://panasonic.jp/support/ を開く。
「お部屋ジャンプリンク」→接続サポート情報の「再生コンテンツ対応表」を選ぶ。(無線LAN接続の場合、暗号化設定をしていないときは、再生できないコンテンツがあります。)
●映像を視聴中に「サブメニュー」ボタンを押すと、再生操作パネルが表示されます。
●本機とディーガ間の接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
●画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。

録画予約について（?ガイド251）

## パソコンなどの操作で再生する(DMR機能)

DMC(デジタルメディアコントローラー)の操作で、DMS(デジタルメディアサーバー)に保存している映像や写真、音楽を本機[DMR(デジタルメディアレンダラー)]の画面で再生できます。

●まず「お部屋ジャンプリンク リモート制御」を「オン」にしてください。
（☞66ページ、?ガイド797）
●再生の操作は、DMCで行います。
※DMCで本機の音量を調整したいときは「お部屋ジャンプリンク リモート音量制御」を「オン」にしてください。
（☞66ページ、?ガイド797）
●DMCとDMSが同じパソコンでも機能を使うことができます。
●DMCとして動作確認済の機器はWindows®7のパソコンです。
(2011年1月現在)
●再生できるコンテンツの種類については、以下のホームページで確認できます。
(2011年1月現在)
http://panasonic.jp/support/ を開く。
「お部屋ジャンプリンク」→接続サポート情報の「再生コンテンツ対応表」を選ぶ。

# プリンターで印刷する

**まず、ご確認を。**
●接続はお済みですか?(☞64、66ページ、接続ガイド9)
●かんたんネットワーク設定はお済みですか?(☞42、83ページ)

テレビ画面に戻る

## 印刷できるものについて

■SDメモリーカードの情報(?ガイド575)
SDメモリーカードに保存された写真を印刷できます。

■データ放送(BML※)の情報
データ放送の番組によっては、印刷について表示される場合があります。そのときは、画面に表示される説明や手順に従って操作すると、情報を印刷できます。
※「BML」とは、データ放送の文字情報記述言語です。

■アクトビラの情報
アクトビラの役立つ情報やインターネットの画面を印刷できます。(☞70ページ)

■電子説明書の情報
電子説明書の情報を印刷できます。

お知らせ

●テレビ番組の画面やDVD／ビデオソフトの画像は印刷できません。
●本機の画面の色合いと印刷結果は多少異なることがあります。
●本機で使用できるプリンターは、予告なく変更になる場合があります。
●印刷やプリンターに関するエラーメッセージなどは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
●交換用インクカートリッジについては、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
●印刷の種類(アクトビラやデータ放送からの一部の印刷)や接続するプリンターによっては、印刷設定通りの結果にならない場合があります。
●印刷設定などで指定した用紙サイズと同じサイズの用紙をプリンターにセットしてください。用紙サイズが一致しない場合は、印刷内容が一部印字されなかったり、用紙の一部に印刷されたり、縮小して印刷されることがあります。
●文字かすれなど印字品質への悪影響や、動作上の不具合などを防止するために、印刷用紙はプリンターごとに決められた推奨品をお使いください。(詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。)



# くらし機器を使う

電子説明書の使いかた(☞6ページ)

## くらし機器からの通知を受ける

テレビドアホンなどからの通知が表示されたら「決定」を押す

●「くらし機器映像の自動表示」を「する」に設定していると、自動的に画像を表示します。(?ガイド773)

確認したら 戻る を押す

●「戻る」を押さなかったときは、最大3分以内に表示が消えます。

例:テレビドアホン

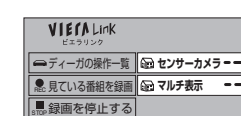
通知

くらし機器の画像を表示
(「決定」を押すと拡大)

## くらし機器の画像を見る

**1** ビエラ リンク を押す

**2** くらし機器を選び、「決定」を押す

●マルチ表示は、くらし機器一覧(ビエラリンク設定)画面(?ガイド782)で「マルチ表示」が「可」になっている機器のみです。
●以降の操作は各くらし機器の取扱説明書をご覧ください。
(終わったら 元の画面 を押す)

例:センサーカメラの場合
例:マルチ表示の場合

●選択したくらし機器の画像を表示します。

## くらし機器からの通知や画像について

●約1秒ごとに更新しながら画像が表示されます。(動画ではありません)
H.264対応センサーカメラの場合は、全画面表示時に動画と音声が出ます。
●ネットワークの状態や設定によって正常に動作しない場合があります。また、長時間連続で、くらし機器からの映像を再生した場合は、ネットワークの状態などによって途中で動画／画像が止まる場合があります。
●本機からの応答はできません。
●画像の表示中は、チャンネルや入力の切り換え、メニュー操作はできません。
●本機の電源を入れた直後は、通知や画像が表示されないことがあります。
約1分(DHCP機能付きのルーターを使用していないときは約3分)お待ちください。
●「通知時の表示サイズ」を「全画面」に設定時は、画面全体に拡大して表示されます。(?ガイド773)
●2画面での視聴中にくらし機器からの動画／画像を表示すると、1画面になります。
●ドアホン側で応答したときは、ドアホンから送られてくる画像が消え、元の画面に戻ります。
●以下の場合、くらし機器の画像を確認したあとに「戻る」を押すと、テレビ画面に戻ります。
•USBハードディスク再生中 •番組表表示中 •インターネット使用中
•お部屋ジャンプリンク視聴中 •SDメモリーカードの動画や画像表示中 •データ放送表示中

# メニュー一覧

## 操作のしかた

例:「接続機器関連設定」

メニュー □ を押す ➡ 「設定する」を選び、「決定」を押す ➡ 「初期設定」を選び、「決定」を押す ➡ 「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す

3D設定
画面の設定
音声の設定
システム設定
初期設定
情報を見る

決定
決定

かんたん設置設定
かんたんネットワーク設定
設置設定
ネットワーク関連設定
省エネ設定
接続機器関連設定

| メニュー | 内容 | 参照 |
|---|---|---|
| 画質を調整する | 番組に合わせて、画質をお好みで調整する。(映像メニュー･ピクチャー･黒レベル･色の濃さ･色あい･シャープネス･色温度･ビビッド･色域自動切換･超解像･シネマスムース･NR･HDオプティマイザー･明るさオート･テクニカル) | ?301 |
| 音声を調整する | 番組に合わせて、音声をお好みで調整する。(音声メニュー･バス･トレブル･バランス･サラウンド･音量オート･イコライザー･低音補正･音量補正) | ?311 |
| 番組を探す/予約する | 見たい番組を探したり、録画予約する。(番組表で･注目番組一覧･今放送中から･ジャンル別に･キーワードで･人名で･時間指定予約で･予約一覧) | ?405 |
| 設定する | | |
| 3D設定 | 3D映像の設定をする。(3D自動切換･3D信号入力通知･2D→3D変換効果･3D奥行き設定･左右反転･斜め線フィルター･3D視聴に関するお願い) | 50ページ ?440 |
| 画面の設定 | 画面の垂直(上下)の位置やサイズを微調整する。(垂直位置/サイズ[PC画面調整]･水平表示領域･HD表示領域･セルフワイド･ID-1検出･ED2検出･3次元Y/C分離･480p色マトリックス･ブランク輝度設定･サイドカット固定･ナノドリフト･デジタルシネマリアリティ･24pフィルムダイレクト･3Dリフレッシュレート) | ?360 |
| 音声の設定 | イヤホンの音声、2画面の音声、音声ガイドの設定をする。(スピーカーとイヤホン音声の同時出力･ヘッドホン/イヤホン音量･2画面時のスピーカー音声出力･2画面時のイヤホン音声出力･音声ガイドの設定) | ?365 ?411 |
| システム設定 | | |
| 字幕の設定 | 字幕や文字スーパーを表示する。(字幕･字幕言語･文字スーパー･文字スーパー言語) | ?380 |
| 制限項目設定 | 視聴できる番組や、インターネットで表示するホームページを制限する。(視聴可能年齢･ブラウザ制限･暗証番号変更･暗証番号削除) | ?397 |
| 文字入力設定 | 文字入力の方法を選ぶ。(入力方法･変換方式) | 74ページ |
| 選局対象 | チャンネル順送りボタンで表示できるチャンネルを選ぶ。 | ?380 |
| 右画面操作 | 2画面のとき、右画面操作の状態を継続する。 | ?380 |
| タイトル表示 | 選局時に、番組のタイトルを表示する。 | ?380 |
| 時計表示 | 画面に時刻を表示する。 | ?380 |
| 表示の設定 | メニューの表示のしかたを選ぶ。(アニメーション) | ?380 |
| 録画･視聴設定 | 次回以降の放送を自動的に予約したり、USBハードディスクやSDメモリーカードの録画に関する設定を行う。(探して毎回予約･録画ボタン設定･オートチャプター) | ?348 |



ガイド ? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

| メニュー | 内容 | 参照 |
|---|---|---|
| 設定する(つづき) | | |
| 初期設定 | | |
| かんたん設置設定(「決定」を3秒以上押す) | 引っ越したときなど、設置設定を画面に従って順にやり直す。 | 42、82ページ |
| かんたんネットワーク設定(「決定」を3秒以上押す) | 引っ越したときなど、ネットワーク設定を画面に従って順にやり直す。 | 42、83ページ |
| 設置設定(「決定」を3秒以上押す) | 受信する放送局の修正やアンテナレベルの調整などを行う。(受信対象設定･チャンネル設定･番組表設定･地域設定･受信設定･クイックスタート･B-CASカードテスト) | ?703 |
| ネットワーク関連設定(「決定」を3秒以上押す) | ネットワーク機器を接続するときの設定を行う。[接続テスト･LAN接続形態･アクセスポイント接続設定･IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定･ネットワーク連携設定･くらし機器設定･ネットワークプリンター設定･ひかりTV設定] | ?798 |
| 省エネ設定 | 使わないときに自動的に電源を切ったり、パネルの焼き付きを防止する。(無信号自動オフ･無操作自動オフ･無操作画面自動オフ･USB HDD機能待機) | ?350 |
| 接続機器関連設定 | ビエラリンク(HDMI)対応機器や外部機器を接続したときの設定を行う。[ビエラリンク(HDMI)設定･USB HDD機器一覧･HDMI RGBレンジ設定･HDMI画質連動設定･HDMI音声入力設定･ビデオ入力表示書換･ビデオ2音声入出力設定･デジタル音声出力･モニター音声出力停止設定･入力自動スキップ･PCスキップ･HDMIスキップ] | 55,57,61ページ ?823 |
| 自動更新設定 | デジタル放送からの情報ダウンロードの方法を選んだり、ソフトウェアの更新確認を行う。(放送ダウンロード予約･ソフトウェアの更新通知･ソフトウェアの更新確認) | ?750 |
| 設定リセット(「決定」を3秒以上押す) | 廃棄時などに個人情報をすべて削除する。SDメモリーカードのフォーマットをする。(個人情報リセット･SDカードのフォーマット) | ?742 |
| 情報を見る | デジタル放送からのお知らせや、本機などの情報を見る。(放送メール･B-CASカード･SDカード･ID表示･ボード･ダビング履歴) | ?160 |
| エコナビ | | |
| エコナビ | 本機および周辺機器を制御して消費電力を低減する。 | ?866 |
| エコナビ表示 | エコナビ動作時の表示をする。 | ?867 |
| 放送メール | 未読の情報があるときのみ表示。 | ?160 |
| ネットで使い方ガイド | インターネット上の使い方ガイドを見る。(インターネットの接続とIPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定が必要) | ?201 |
| 画面モード設定 | 画面サイズを選ぶ。●ハイビジョン映像の場合(フル、サイドカットセルフワイド、サイドカットノーマル、サイドカットジャスト、サイドカットズーム、サイドカットフル)●ハイビジョン映像以外の場合(セルフワイド、ノーマル、ジャスト、ズーム、フル) | ?921 |

# メニュー一覧（つづき）

※かんたん設置設定、かんたんネットワーク設定の内容は、「画質を調整する」や初期設定の「設置設定」と「ネットワーク関連設定」で個別に変更することができます。（☞80ページ）
※設定する必要がない項目は、画面の表示に従って次の項目に進むことができます。

## 「かんたん設置設定」の内容

| 項目 | 内容 | 設定項目 |
|---|---|---|
| 接続確認画面（お買い上げ後、最初の設定時にのみ表示されます） | 画面の表示に従って、アンテナ線の接続、B-CASカードの挿入、接続機器を確認してください。 | — |
| 画質調整設定画面 | ご家庭用：映像メニューを「スタンダード」に設定します。<br>店頭用　：映像メニューを「ダイナミック」に設定します。 | 映像メニュー |
| 郵便番号入力/県域設定/市外局番設定 | 画面に従って、お住まいの郵便番号、都道府県、市外局番を入力してください。 | 地域設定 |
| B-CASテスト | B-CASカードのテストを行います。<br>正しく終了すると、デジタル放送の設定ができます。 | B-CASカードテスト |
| 地上波放送設定 | リモコンの［地上］ボタンで地上デジタル放送に切り換えるか、地上アナログ放送に切り換えるか選択します。 | 受信対象設定 |
| 地上アナログ放送のチャンネル設定 | （「地上波放送設定」で「地上アナログ」を選んだときのみ表示されます。）<br>地上アナログ放送のチャンネル設定を行います。 | チャンネル設定 |
| 地上デジタル放送のチャンネル設定 | （「地上波放送設定」で「地上デジタル」を選んだときのみ表示されます。）<br>地上デジタル放送のチャンネル設定を行います。 | チャンネル設定 |
| 衛星アンテナ電源設定 | 衛星アンテナ電源の設定と、受信状態の確認を行います。<br>確認の結果によっては、アンテナ自体の調整や再設定が必要になることがあります。 | 受信設定 |
| かんたん設置設定終了 | 設定の結果を表示します。<br>（続けてかんたんネットワーク設定に進みます。） | — |

## 「かんたんネットワーク設定」の内容

| 項目 | 内容 | 設定項目 |
|---|---|---|
| お知らせ | ネットワークへの接続形式（有線LAN、無線LAN）を選んでください。<br>有線LANを選択すると、「接続確認」に進みます。<br>無線LANを選択すると、次に「無線LANアダプターの確認」に進みます。 | LAN接続形態 |
| 無線LANアダプターの確認 | 無線LANアダプターの接続状態を確認し、結果を表示します。<br>未接続のときは、無線LANアダプターを接続して次の設定に進んでください。 | — |
| 接続方式の選択/設定 | アクセスポイント（無線LAN親機）への接続方式を選択し、接続を設定します。画面の表示に従って設定してください。<br>（設定が終了している場合は、設定済みのアクセスポイントの一覧と、設定内容が表示されます。） | アクセスポイント接続設定 |
| 接続確認 | インターネットの接続状態を表示します。結果によっては、設定画面（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS、プロキシアドレス、プロキシポート、Gガイド受信機能）に進みます。<br>この設定を終了すると、インターネットやインターネットからのGガイド受信機能を使うことができます。 | 接続テスト、IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定、番組表設定（通信によるGガイド受信） |
| くらし機器 | 登録モードになっているくらし機器を1台ずつ登録します。<br>（くらし機器を登録モードにする操作については、くらし機器の取扱説明書をご覧ください。）<br>この設定を終了すると、くらし機器を使うことができます。 | くらし機器設定 |
| プリンター | プリンターの設定をします。<br>（1台のみ本機に登録できます。）<br>この設定を終了すると、ネットワークプリンターを使うことができます。 | ネットワークプリンター設定 |
| 設定終了 | かんたんネットワーク設定を終了します。 | — |

# 故障かな！?

電子説明書の「困ったとき」も
あわせてご覧ください。

●映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった
- 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。
  万が一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源ボタンで「切」にして、5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。
  ※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。

●電源が入らない
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？（☞38ページ）
- リモコンの場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか？（☞30ページ）

●電源ランプが点滅する
- テレビ本体の電源ボタンで「切」にして、5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。
  （リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。）
  上記の操作で直らないときは、故障の可能性があります。販売店または98ページの連絡先にご相談ください。

●リモコンで操作できない
- チャンネルボタンを押したとき、リモコンの放送切換ボタンが点滅していますか？
  （☞29ページ）
- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
  （☞29ページ）
- リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？
  （☞30ページ）
- 受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。
  →本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。
  （☞30ページ）

●音声ガイドが実際と異なる読み上げを行う
- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

●インターネットに接続できない
- 有線、無線の切り換えはできていますか？（?ガイド763）
- 設定した無線LANアダプターを外して、別の無線LANアダプターを接続したときは、再度設定してください。

●無線方式11n(5 GHz)対応のアクセスポイントを使用時、映像が途切れたり、接続が切れる
- アクセスポイントの無線方式を11n(5 GHz)に設定していますか？
  （詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。）
- 電波を使う機器が近くにないか、確認してください。
  （電子レンジ、デジタルコードレス電話機など）

デジタル放送からのダウンロードにより、常に制御プログラムを最新の状態にしてください。
**テレビの視聴後は、リモコンで電源を「切」にすることをおすすめします。**
リモコンで電源「切」の間に、最新の制御プログラムが自動受信されます。
（?ガイド750）



# 使用上のご注意

## ■USBハードディスク・SDメモリーカードに関する注意事項

●たばこの煙や殺虫剤の煙、ほこりなどがUSBハードディスクの内部に入ると、故障の原因となります。

●USBハードディスクの動作中（再生・録画中など）に、テレビ本体の電源を切ったり、USBケーブルを抜いたり、振動や衝撃（移動、回転など）、静電気を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。

●SDメモリーカードの動作中（再生・録画中など）に、テレビ本体の電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたり、振動や衝撃、静電気を与えると、録画した番組や保存した静止画などが消えたり、故障の原因となります。

＜テレビ本体で電源を切るときは＞

手順①リモコンの［■ 停止］を押して録画や再生を停止する
手順②録画ランプ（☞30ページ）が消えているか、
　　または橙色点灯中であることを確認する
手順③テレビ本体の電源を切る

## ■録画に関する注意事項

●録画時間の目安について（連続録画の場合）

| | 当社製ハードディスク（DY-HD500） | SDメモリーカード | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 2 GB | 8 GB | 16 GB | 48 GB | 64 GB |
| BSデジタル HD放送（最高24 Mbps） | 約43時間 | 約8分 | 約40分 | 約1時間20分 | 約4時間 | 約5時間 |
| BSデジタル SD放送（最高12 Mbps） | 約86時間 | 約16分 | 約1時間20分 | 約2時間40分 | 約8時間 | 約11時間 |
| 地上デジタル HD放送（最高17 Mbps） | 約60時間 | 約9分 | 約50分 | 約1時間50分 | 約6時間 | 約8時間 |

- 録画時間は放送の転送レートによって異なります。
- 録画可能時間は理論値によって計算しているため、実際と異なる場合があります。
- SDメモリーカードはファイルシステムなどの管理情報を保存している領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。
  本機やパソコン、一部のソフトウェアでは、表示される値は小さくなります。
- SDメモリーカードは短い時間の録画を繰り返すと記録可能な時間が短くなる場合があります。

●何らかの不具合により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

●あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

# 商標などについて

●SDXCロゴはSD-3C,LLC.の商標です。

●CP8 PATENT

●HDAVI Control™は商標です。

●RealD 3Dは、RealD社の商標です。

●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。

●DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

●"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

●本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)を参照ください。

●ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

●Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。

●米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。
当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn"©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.

●富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2011

●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



# お手入れについて

■キャビネットやディスプレイパネル表面の汚れは柔らかい布(綿・ネル地・クリーニングクロスなど)で軽くふき取ってください

- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- 市販のクリーニングクロス(テレビ用)をご使用の際、下に記載したものは使用しないでください。ひび割れなどの原因になることがあります。
  ※成分表示に流動パラフィンや界面活性剤と記載のあるもの、ウェットタイプ、クリーニング液を使うもの
- ひどい汚れは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

■スプレー洗剤などは直接かけないでください

- 水が内部に入ると、故障の原因になります。

## キャビネットについて

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください

- また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。

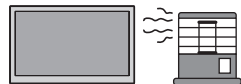
## ディスプレイパネルについて

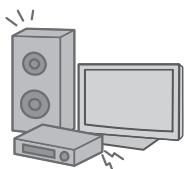
■ディスプレイパネル表面は特殊な加工をしています。

- かたい布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
- ディスプレイパネルは、ガラス製です。強い力や衝撃を加えないでください。

# 上手な使いかた

## 設置されるとき

■直射日光を避け、熱器具から離す
- キャビネットの変形や故障の原因になります。

■本機を設置するとき
- 振動がなく、本機の質量に耐えられる場所に設置する。
指定の取り付けユニットをご使用ください。

■機器相互のかんしょうに注意する
- プラズマテレビの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。
（発生した場合はディスプレイ本体から十分離してご使用ください。）

■接続は電源を“切”にしてから行う
- 各機器の説明書に従って、接続してください。
（オーディオ機器、録画機器、オーディオアンプなど）

■本機を移動されるとき
- ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

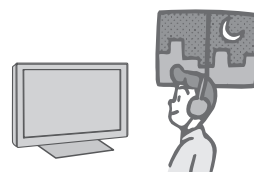
■アンテナは定期的に点検を行う
- 風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
映りが悪くなったら、販売店にご相談を。

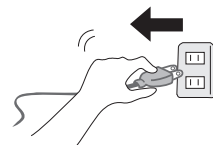
■良好な画面で見るために
- アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

■見る距離と部屋の明るさは
- 画面の縦の長さの約3倍程度、また新聞が楽に読める明るさで。

■赤外線通信機器をご使用になるとき
- 赤外線通信機器（赤外線コードレスヘッドホンや赤外線ワイヤレスマイクなど）をご使用になると、通信障害（ノイズなど）が発生する場合がありますので、影響のない所まで本機より離すかプラズマテレビの光が入らないように機器の受信部を設置してください。

## ご使用になるとき

■適度の音量にして隣り近所へ配慮する

- 特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。

■長時間ご使用にならないときは
- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
リモコンで電源を切った場合は約 0.1 W、本体の電源を切った場合は約 0.07 Wの電力を消費しております。

■本機は残像が発生することがあります。
- 画面モードを「ノーマル」（映像の横縦比 4：3）で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。
画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。（ふだんはブランク輝度設定（?ガイド362）を「高」でご覧ください。）
静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されます。

■テレビ本体の一部が熱くなることがあります。
- 前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

■本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
そのままご使用になると故障の原因になります。
- 部屋の温度になじむまで本体の電源を「切」にしておいてください。
（約2～3時間）
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所（湯気が立ち込めている場所など）には設置しないでください。

■テレビ本体や内部から音が聞こえる場合があります。
- 内部から音がする
電源を入れると、プラズマディスプレイパネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- テレビから時々、「ピシッ」と音がする
画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。
- テレビ内部から「カチッ」と音がする
番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。
- テレビ本体から「ヒュンヒュン」と音がする
本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載しておりますが、夜など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。

# 安全上のご注意 （必ずお守りください）



人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

## ⚠ 警告

### 異常・故障について

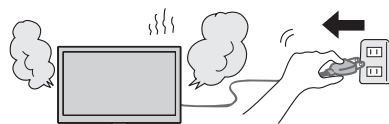
**異常・故障時は直ちに使用を中止してください**

電源プラグを抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください
- ・煙が出たり、異常な臭いや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水などの液体や異物が入った
- ・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- ●お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- ●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

### 水ぬれについて

水ぬれ禁止

■上に花びん、コップなどを置かないでください

火災・感電の原因になります。

水場使用禁止

■風呂場などで使用しないでください

火災・感電の原因になります。

### 誤飲防止について

■メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。
- ●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### 異物について

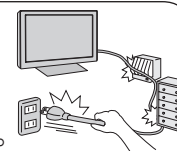
■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

火災・感電の原因になります。
- ●特にお子様にはご注意ください。

## ⚠ 警告

### 電源コード・電源プラグについて

■破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）火災・感電・ショートなどの原因になります。
- ●修理は、販売店にご依頼ください。

■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください

■本機に付属のもの以外は使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。
- ●修理は、販売店にご依頼ください。

■交流 100 V以外で使用しないでください

■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください

■たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。

ぬれ手禁止

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

感電の原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
- ●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 設置について

■不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

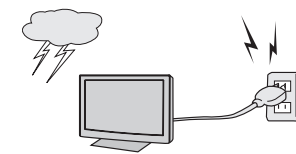
■壁掛け設置工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡・けがの原因になります。
- ●指定の取り付け金具をご使用ください。

### 雷について

接触禁止

■雷が鳴りだしたときは、アンテナ線や本機には触れないでください

感電の原因になります。

### 分解禁止について

分解禁止

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- ●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

**高圧注意**

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)



## ⚠ 注意

### 本機の取り扱いについて

**■強い力や衝撃を加えないでください**

ディスプレイパネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

**■乗らないでください**
**■ぶらさがらないでください**

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

**■上に物を置かないでください**

落下してけがの原因になることがあります。

**■本機の回転範囲に手や物を置かないでください**
**■付属のスタンドは本機以外には使用しないでください**

けがの原因になることがあります。

**■接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください**

火災・感電の原因になることがあります。

**■接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください**

火災・感電・けがの原因になることがあります。

### 設置について

**■通風孔をふさがないでください**
**■据置きスタンド使用時は本機下面と床面との空間をふさがないでください**
**■風通しの悪い狭い所で使用しないでください**
**■あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください**

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

**■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください**

火災・感電の原因になることがあります。

**■付属の転倒・落下防止部品を使用して固定してください**
**■ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください**

けがの原因になることがあります。
●転倒･落下防止処置は37ページ参照。

**■本機の上面、左右、後面は10 cm以上の間隔をおいて据えつけてください**

火災の原因になることがあります。

**■据置きスタンドは、指定の手順以外では取り外さないでください**

倒れたりしてけがの原因になることがあります。(35ページ参照)

(工事専門業者様へ)

**■壁掛け金具を使用するときは、工事説明書に従ってお取り付けください**

落下してけがの原因になることがあります。



## ⚠ 注意

### 電池の取り扱いについて

**■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください**

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

**■極性(プラス⊕とマイナス⊖)を逆に入れないでください**

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。(29ページ参照)

### 移動について

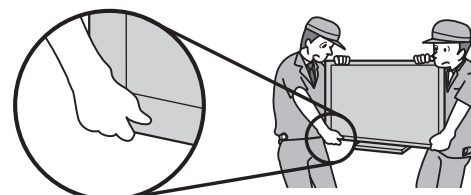
**■移動させる前に接続線などをはずしてください**
**(電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線や転倒・落下防止部品)**

電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

**■開梱や持ち運びは２人以上で行ってください**

落下してけがの原因になることがあります。

**■運搬や移動をする場合は、指定した個所を保持して行ってください**

落下してけがの原因になることがあります。

### 電源プラグについて

電源プラグを抜く

**■長期間使用しないときはコンセントから抜いてください**

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。

**■電源プラグを持って抜いてください**

電源コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

### お手入れについて

**■通風孔に付着したゴミをこまめに取り除いてください**

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。
●湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。なお、内部の掃除依頼、費用については、販売店または98ページの連絡先にご相談ください。

電源プラグを抜く

**■お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください**

感電の原因になることがあります。

### アンテナについて

**■アンテナ工事は、販売店にご相談ください**

アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
●送配電線から離れた場所に設置してください。
●BS、CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

# 安全上のご注意 （必ずお守りください）



## ⚠ 注意

### 3D映像の視聴について

**■光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dグラスを使用しないでください**

病状悪化の原因になることがあります。

**■3Dグラスで視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください**

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- ●適度な休憩をとってください。
- ●3D映像の見え方には個人差がありますので、「3D奥行き設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

**■3D映画などをご覧になる場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとってください**

**■3Dゲームやパソコンなどの双方向にやり取りできる機器の3D映像をご覧になる場合は、30～60分を目安に適度に休憩をとってください**

長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。

**■3Dグラスを使用しているときに誤ってテレビ画面や人をたたかないでください**

3D映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因になることがあります。

**■3Dの映像を見るときは3Dグラスをご使用ください**

**■3Dグラスは、両目を水平に近い状態で視聴してください**

**■近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで3Dグラスをご使用ください**

**■3D映像を視聴中に、はっきりと2重に像が見えたら使用を中止してください**

長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。

**■画面の有効高さの3倍以上の視距離で見てください**

（推奨距離）：46V型 1.7 m以上<br>
　　　　　　 50V型 1.9 m以上

推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因になることがあります。
映画のように上下に黒帯がある場合は、映像部分の高さに対して3倍以上の視距離でご覧ください。（上記推奨距離よりも短くなります。）



## ⚠ 注意

### 3Dグラス（別売品）の使用について

**■3Dグラスでの視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にしてください**

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- ●お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れが無いか、ご注意ください。

**■3Dグラスに異常・故障があったときは直ちに使用を中止してください**

そのまま使用するとけがや目の疲れ、体調不良の原因になることがあります。

**■3Dグラスをかけたまま移動しないでください**

周りが暗くなり、転倒などによるけがの原因になることがあります。

**■3Dグラスは、指定の用途以外には使用しないでください**

**■3Dグラスを割れた状態で使用しないでください**

けがや目の疲れの原因になることがあります。

**■3Dグラスを使用するときは周囲に壊れやすいものを置かないでください**

3D映像を実際の物に間違えて身体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因になることがあります。

**■肌に異常を感じたら3Dグラスの使用を中止してください**

ごくまれに塗料や材質でアレルギーの原因になることがあります。

**■鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみを感じたら3Dグラスの使用を中止してください**

長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因になることがあります。

# Quick Reference Guide

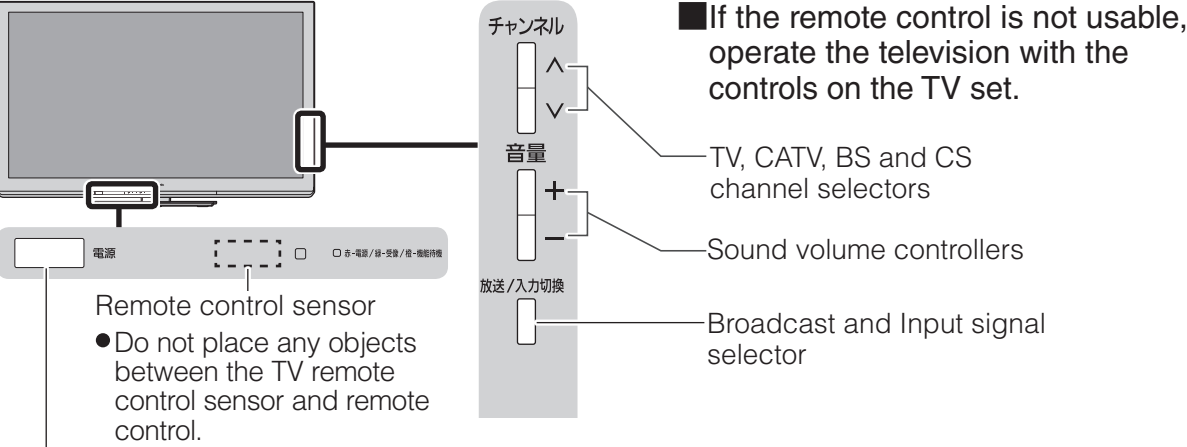
## Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance, what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.
- The instructions and illustrations indicated below are for the TH-P50GT3.

**■If the remote control is not usable, operate the television with the controls on the TV set.**

- TV, CATV, BS and CS channel selectors
- Sound volume controllers
- Broadcast and Input signal selector

Remote control sensor

- Do not place any objects between the TV remote control sensor and remote control.

**■First, push the Power to turn on.**

➡ Operate your Remote control pointed to the Remote control sensor.
(Within about 7meters in front of the TV set.)

Turn On or Off

**EPG button**
Electronic Programme Guide(EPG) provides an on-screen listing of the programmes currently broadcast.

Select a broadcast

Select a channel

Original screen button
Lets you change from the EPG and menu screens back to the broadcast screen for the selected channel.

Control the Sound volume

**Audio selector button**
While watching a multilingual programme, press the button to select a language.



# 仕様

●このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

| テレビ本体 | | | |
|---|---|---|---|
| 品番 | | TH-P50GT3(50V型) | TH-P46GT3(46V型) |
| 種類 | | 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ | |
| 使用電源 | | AC100 V　50/60 Hz | |
| 消費電力 | | 415 W | 380 W |
| | | 本体電源「切」時　約 0.07 W、リモコンで電源「切」時　約 0.1 W(データ取得時※は除く)<br>(クイックスタート「入」設定時、データ取得時※、またはUSBハードディスク予約録画実行時　最大約 18 W)<br>※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき | |
| 年間消費電力量 | | 154 kWh/年(スタンダード時) | 145 kWh/年(スタンダード時) |
| 区分名 | | DH1(FHD、プラズマ、付加機能1) | |
| 受信可能放送 | | VHF：ch1～12/UHF：ch13～62/CATV：c13～c63/BSデジタル<br>110度CSデジタル/地上デジタル(CATVパススルー対応) ※ワンセグ放送は除く | |
| 音声実用最大出力 | | 20 W(10 W+10 W)JEITA<br>スピーカー：フルレンジ 3.5 cm×14.0 cm 角型 2個 | |
| プラズマディスプレイパネル | | アスペクト比(16：9)　駆動方式　AC型 | |
| | | 50V型 | 46V型 |
| 画素数 | | 2,073,600画素(横1,920×縦1,080)[ドット数 5,760×1,080] | |
| 画面寸法 | | 幅　110.6 cm　高さ 62.2 cm<br>対角 126.9 cm | 幅　101.9 cm　高さ 57.3 cm<br>対角 116.9 cm |
| 動作使用条件 | | 周囲温度：0 ℃～40 ℃、相対湿度：20%～80%(結露なきこと) | |
| 接続端子 | NTSC関連 | ●ビデオ入力1～2　映像：1 V[p-p](75 Ω)　音声：左・右　0.5 V[rms]<br>●音声出力　音声：左・右　0.5 V[rms](ビデオ入力2と兼用) | |
| | D端子ビデオ関連 | ●D4映像〔Y：1 V[p-p](75 Ω)、PB/CB：0.7 V[p-p](75 Ω)、PR/CR：0.7 V[p-p](75 Ω)〕<br>音声：左・右 0.5 V[rms](音声はビデオ入力1と兼用)<br>入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式 | |
| | 衛星関連 | ●BS・110度CS-IF入力(75 Ω)　兼　衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力 | |
| | パソコン入力 | ●RGB(ミニD-sub15P) 音声：左・右 0.5 V[rms](音声入力はビデオ入力2と兼用)<br>表示画素数、対応信号について(?ガイド113) | |
| | HDMI入力 | ●HDMI端子 2系統：HDMI 1.4<br>(HDMI 1端子：HDMI 1.4 ARC[オーディオリターンチャンネル]対応)<br>(本機はビエラリンク[HDMI]Ver.5に対応しています。)対応信号について(☞54ページ) | |
| | その他 | ●光デジタル音声出力端子：－18 dBm 660 nm<br>●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)　●ヘッドホン/イヤホン端子(16～32 Ω推奨)<br>●SDメモリーカード挿入口(SDXCメモリーカード対応)<br>●USB端子 3系統(DC5 V　MAX500 mA)(☞60ページ) | |
| 外形寸法 | 据置きスタンド含む | 幅　120.4 cm　高さ 77.9 cm<br>奥行 33.5 cm | 幅　111.8 cm　高さ 73.0 cm<br>奥行 33.5 cm |
| | 本体のみ | 幅　120.4 cm　高さ 74.4 cm<br>奥行　5.4 cm(下部最大 6.9 cm) | 幅　111.8 cm　高さ 69.5 cm<br>奥行　5.4 cm(下部最大 6.9 cm) |
| 質量 | 据置きスタンド含む | 約 30.5 kg | 約 27.5 kg |
| | 本体のみ | 約 26.5 kg | 約 23.5 kg |
| キャビネット材質 | | 前面：樹脂、背面：金属 | |
| 角度調整範囲 | | 左右：約 10° | |

●年間消費電力量：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
●区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分の名称です。
●テレビのV型(50V/46V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

| リモコン(品番:N2QAYB000589) | 使用電源 | DC3 V (単3形乾電池2コ) | 操作距離 | 約 7 m以内 (テレビ正面距離) |
|---|---|---|---|---|
| | 質量 | 約 150 g (乾電池含) | 操作範囲 | 左右各 約30° 以内<br>上下各 約20° 以内 |

# 保証とアフターサービス



使いかた・お手入れ・修理 などは…

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

| | |
|---|---|
| 販売店名 | |
| 電話 | (　　) 　－ |
| お買い上げ日 | 年　月　日 |

**修理を依頼されるときは**

84ページの故障かな !? と電子説明書(トップページ)の困ったときに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- ●製品名　地上･BS･110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ
- ●品　番　TH-
- ●故障の状況　できるだけ具体的に

**●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし…　●プラズマディスプレイパネルは2年間

●プラズマディスプレイパネルの焼付きは除く

**●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 診断・修理・調整・点検などの費用 |
| 部品代 | 部品および補助材料代 |
| 出張料 | 技術者を派遣する費用 |

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

## ■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

**●使いかた・お手入れなどのご相談は…**

パナソニック VIERA(ビエラ)ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-981

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

**●修理に関するご相談は………………**

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-554

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

**【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】**

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## ■各地域の修理ご相談窓口　※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

| 地区 | 窓口 | 電話 | 所在地 |
|---|---|---|---|
| 北海道地区 | 札　幌 | ☎ (011)894-1251 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 |
| | 旭　川 | ☎ (0166)22-3011 | 旭川市2条通16丁目1166 |
| | 帯　広 | ☎ (0155)33-8477 | 帯広市西20条北2丁目23-3 |
| | 函　館 | ☎ (0138)48-6631 | 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） |
| 東北地区 | 青　森 | ☎ (017)775-0326 | 青森市大字浜田字豊田364 |
| | 秋　田 | ☎ (018)868-7008 | 秋田市外旭川字小谷地3-1 |
| | 岩　手 | ☎ (019)645-6130 | 盛岡市厨川5丁目1-43 |
| | 宮　城 | ☎ (022)387-1117 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 |
| | 山　形 | ☎ (023)641-8100 | 山形市平清水1丁目1-75 |
| | 福　島 | ☎ (024)991-9308 | 郡山市亀田1丁目51-15 |
| 首都圏地区 | 栃　木 | ☎ (028)689-2555 | 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 |
| | 群　馬 | ☎ (027)254-2075 | 前橋市箱田町325-1 |
| | 茨　城 | ☎ (029)864-8756 | つくば市筑穂3丁目15-3 |
| | 埼　玉 | ☎ (048)728-8960 | 桶川市赤堀2丁目4-2 |
| | 千　葉 | ☎ (043)208-6034 | 千葉市中央区末広5丁目9-5 |
| | 東　京 | ☎ (03)5477-9700 | 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 |
| | 山　梨 | ☎ (055)222-5822 | 甲府市宝1丁目4-13 |
| | 神奈川 | ☎ (045)847-9720 | 横浜市港南区日野5丁目3-16 |
| | 新　潟 | ☎ (025)286-0180 | 新潟市東区東明1丁目8-14 |
| 中部地区 | 石　川 | ☎ (076)280-6608 | 金沢市玉鉾2丁目266番地 |
| | 富　山 | ☎ (076)424-2549 | 富山市根塚町1丁目1-4 |
| | 福　井 | ☎ (0776)21-0622 | 福井市問屋町2丁目14 |
| | 長　野 | ☎ (0263)86-9209 | 松本市寿北7丁目3-11 |
| | 静　岡 | ☎ (054)287-9000 | 静岡市駿河区高松2丁目24-24 |
| | 愛　知 | ☎ (052)819-0225 | 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 |
| | 岐　阜 | ☎ (058)278-6720 | 岐阜市中鶉4丁目42 |
| | 高　山 | ☎ (0577)33-0613 | 高山市花岡町3丁目82 |
| | 三　重 | ☎ (059)254-5520 | 津市久居野村町字山神421 |
| 近畿地区 | 滋　賀 | ☎ (077)582-5021 | 守山市水保町1166番地の1 |
| | 京　都 | ☎ (075)646-2123 | 京都市南区上鳥羽中河原3番地 |
| | 大　阪 | ☎ (06)7730-8888 | 大阪市城東区関目2丁目15-5 |
| | 奈　良 | ☎ (0743)59-2770 | 大和郡山市筒井町800番地 |
| | 和歌山 | ☎ (073)475-2984 | 和歌山市中島499-1 |
| | 兵　庫 | ☎ (078)796-3140 | 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 |
| 中国地区 | 鳥　取 | ☎ (0857)26-9695 | 鳥取市安長295-1 |
| | 米　子 | ☎ (0859)34-2129 | 米子市米原4丁目2-33 |
| | 松　江 | ☎ (0852)23-1128 | 松江市平成町182番地14 |
| | 出　雲 | ☎ (0853)21-3133 | 出雲市渡橋町416 |
| | 浜　田 | ☎ (0855)22-6629 | 浜田市下府町327-93 |
| | 岡　山 | ☎ (086)242-6236 | 岡山市北区田中138-110 |
| | 広　島 | ☎ (082)295-5011 | 広島市西区南観音1丁目13-5 |
| | 山　口 | ☎ (083)973-2720 | 山口市小郡下郷220-1 |
| 四国地区 | 香　川 | ☎ (087)868-6388 | 高松市勅使町152-2 |
| | 徳　島 | ☎ (088)624-0253 | 徳島市沖浜2丁目36 |
| | 高　知 | ☎ (088)834-3142 | 高知市仲田町2-16 |
| | 愛　媛 | ☎ (089)905-7544 | 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 |
| 九州地区 | 福　岡 | ☎ (092)593-8002 | 春日市春日公園3丁目48 |
| | 佐　賀 | ☎ (0952)26-9151 | 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 |
| | 長　崎 | ☎ (095)830-1658 | 長崎市東町1919-1 |
| | 大　分 | ☎ (097)556-3815 | 大分市萩原4丁目8-35 |
| | 宮　崎 | ☎ (0985)63-1213 | 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 |
| | 熊　本 | ☎ (096)367-6067 | 熊本市健軍本町12-3 |
| | 天　草 | ☎ (0969)22-3125 | 天草市港町18-11 |
| | 鹿児島 | ☎ (099)250-5657 | 鹿児島市与次郎1丁目5-33 |
| | 大　島 | ☎ (0997)53-5101 | 奄美市名瀬朝仁町11-2 |
| 沖縄地区 | 沖　縄 | ☎ (098)877-1207 | 浦添市城間4丁目23-11 |

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　1210